

資料編

| 添付資料 | | 掲載頁 |
|------|---|-----|
| 1 | 「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に向けた人口動態分析・将来人口推計について | 172 |
| 2 | トレンド調査結果 | 188 |
| | 共通部分アンケート報告書 | 188 |
| (1) | 地域住民代表者アンケート報告書 | 198 |
| (2) | 農業代表者アンケート報告書 | 230 |
| (3) | 商工業代表者アンケート報告書 | 254 |
| (4) | 小中学生アンケート報告書 | 280 |
| (5) | 転入者アンケート報告書 | 290 |
| (6) | 転出者アンケート報告書 | 306 |
| 3 | 高根沢町定住人口増加対策協議会 委員名簿 | 320 |

注)「2 トrend調査結果」における回答理由・自由回答等は、原則として原文のまま掲載しています。

「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に向けた

人口動態分析・将来人口推計について

実施期間：2014年10月27日～11月13日

注)・本資料は、2014年10月20日内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局発『「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に向けた人口動向分析・将来人口推計について』に基づきながら、高根沢町版の調査分析を行った資料です。

・「分析の目的」、「基礎データ」、「分析項目」などの詳細な説明については、『「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に向けた人口動向分析・将来人口推計について』をご参照ください。

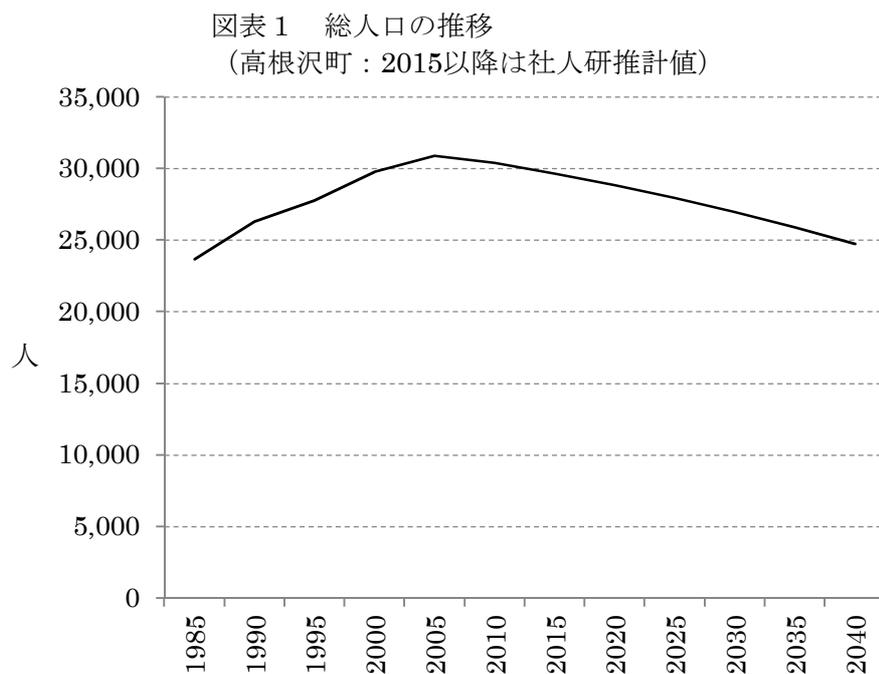
「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に向けた人口動態分析・将来人口推計について

(※2014. 10. 20 まち・ひと・しごと創生本部発資料に基づき、高根沢町版として推計した資料)

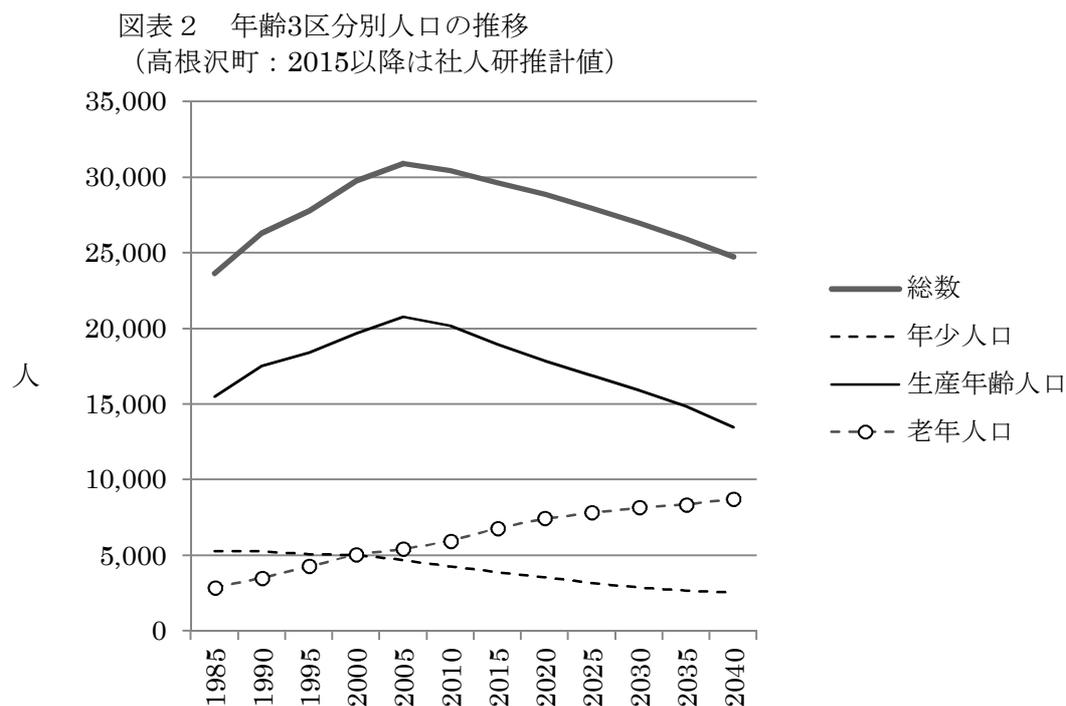
1. 人口動向分析

(1) 時系列による人口動向分析

(i) 総人口の推移

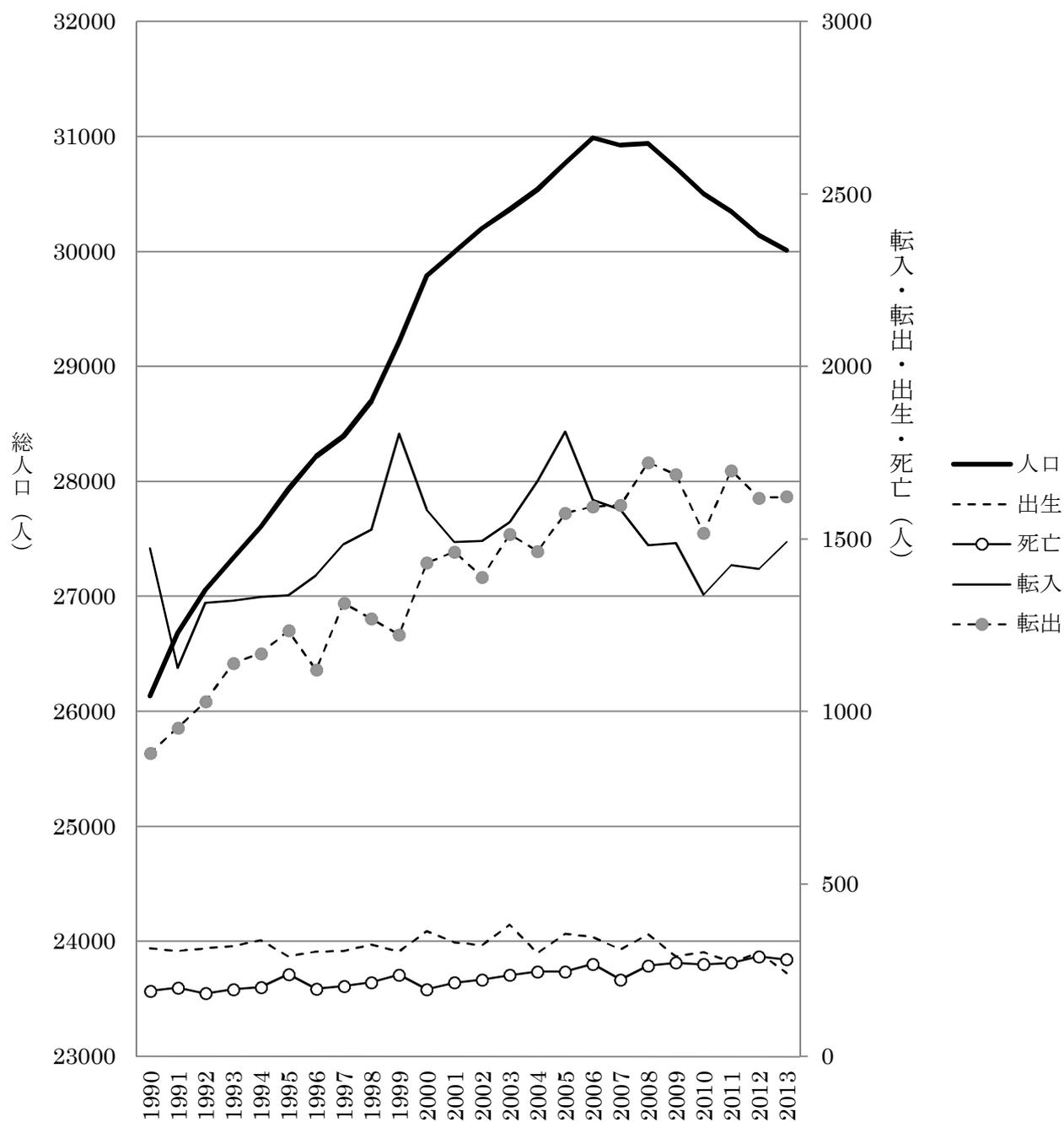


(ii) 年齢3区分別人口の推移と将来推計



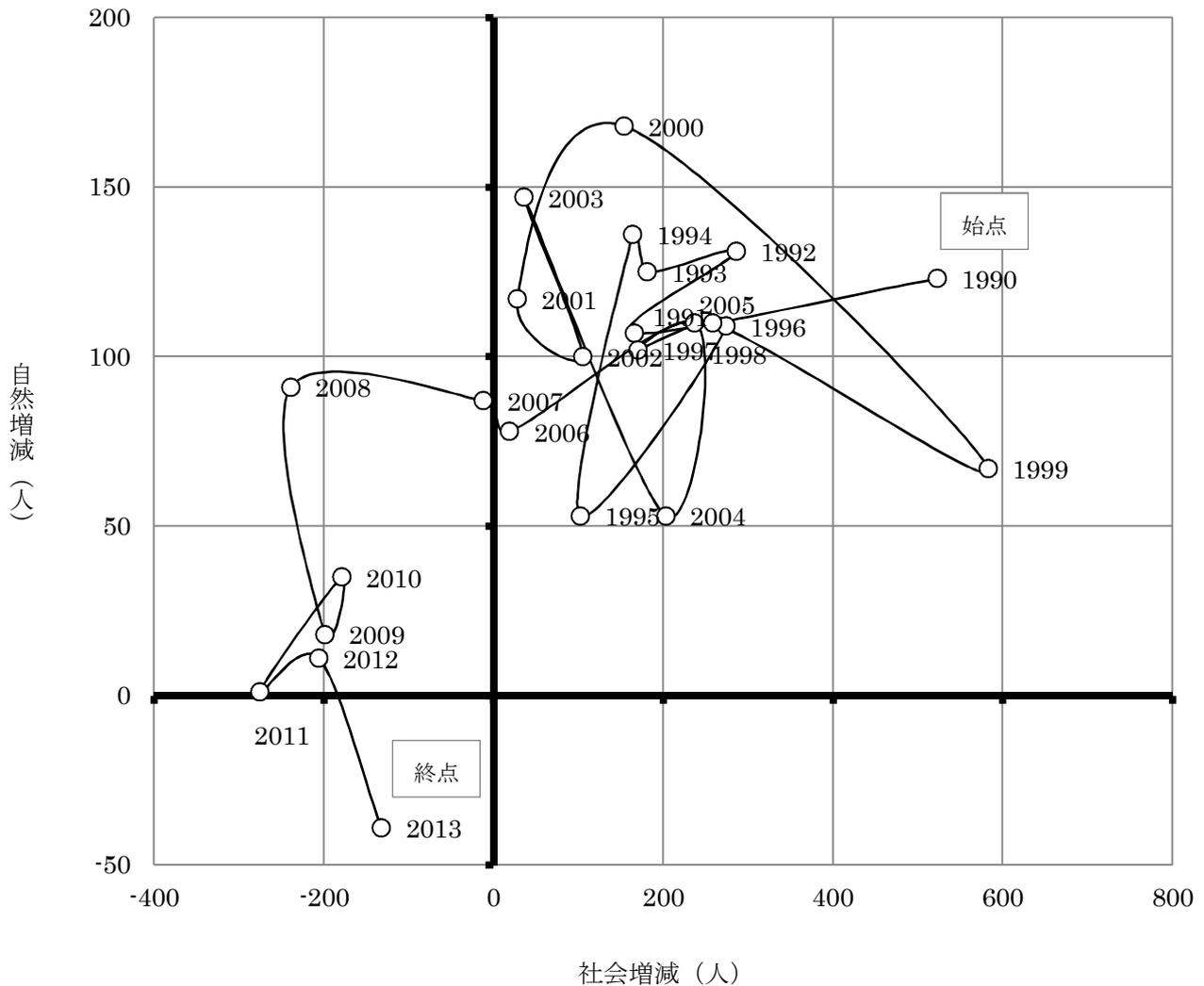
(iii) 出生・死亡・転入・転出の推移 (高根沢町)

図表3 出生・死亡・転入・転出 (高根沢町)



(iv) 総人口に与えてきた自然増減と社会増減の影響

図表4 総人口に与えてきた自然増減と社会増減の影響



(1) 総人口の推移 (図表 1 (P173 参照))

- ・高根沢町では、2006-2008 年にかけて、人口が増加したが、現在では減少に転じています。
- ・社人研の推計によれば、今後、人口は緩やかに減少を続け、2040 年には、25 千人（現在から約 19%減少）になるものと推計されています。

(2) 年齢 3 区分別人口の推移 (図表 2 (P173 参照))

- ・高根沢町では、生産年齢人口の増加が続いてきたが、2006 年をピークに減少に転じました。
- ・年少人口は、1990 年代後半から減少し、2000 年代には、老年人口を下回りました。
- ・一方、老年人口は、生産年齢人口が順次老年期に入り、また、平均余命が延びたことから、一貫して増加を続けています。

(3) 出生・死亡、転入・転出の推移 (図表 3 (P174 参照))

- ・高根沢町は、「自然増減」については、出生世代の流入等が、出生率低下をカバーし、概ね一定数を維持してきましたが、2008 年以降、緩やかに減少に転じています。一方、死亡数は老年人口の増加を反映し増加、2013 年には出生数を逆転、「自然減」の時代に入っています。
- ・「社会増減」については、2006 年まで社会増を続けてきたものの、2007 年以降は転入と転出が逆転し、「社会減」となっています。

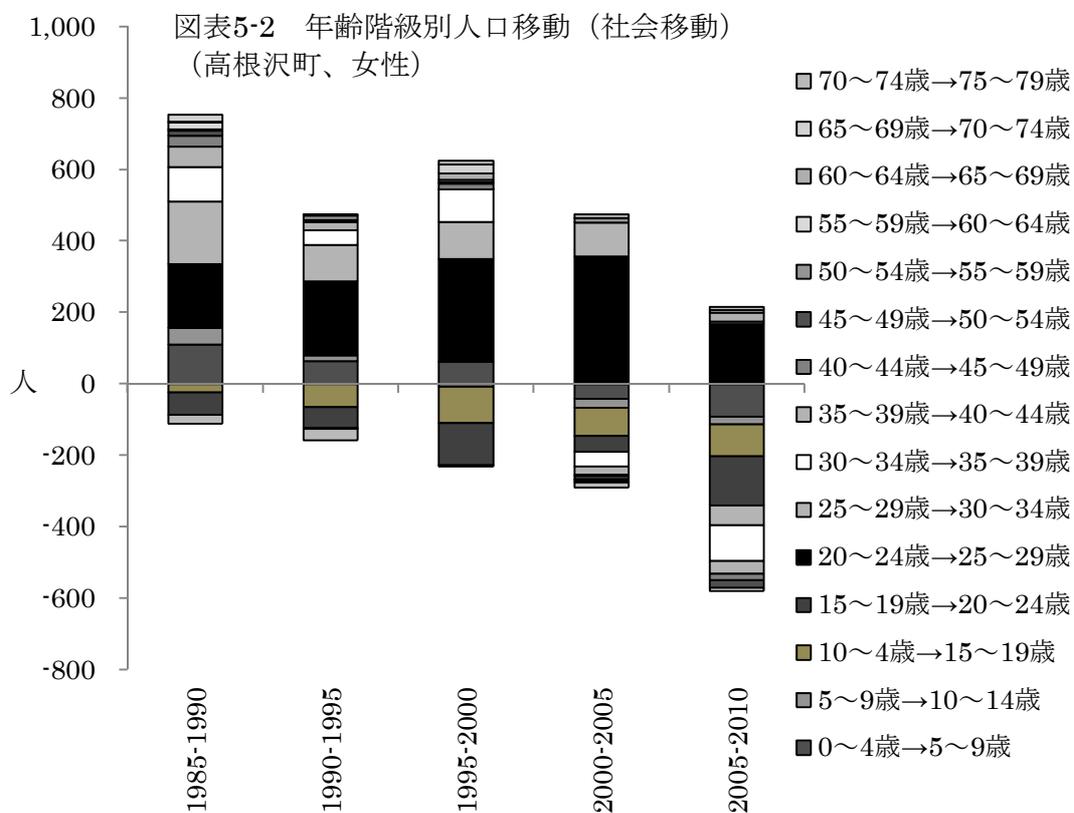
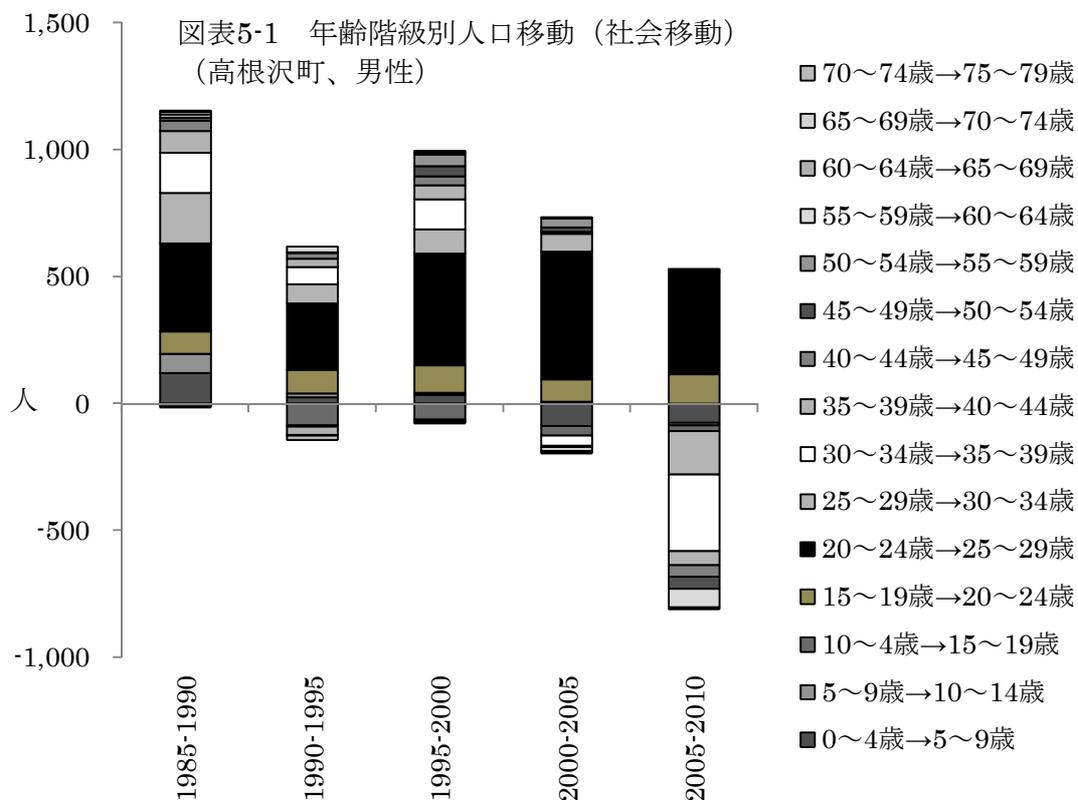
(4) 総人口の推移に与えてきた自然増減と社会増減の影響 (図表 4 (P175 参照))

- ・安定した社会増を背景に、2000 年代の後半までは人口が増加していました。
- ・人口のピークである 2006~2008 年までは、転入超過が続きましたが、2007 以降、転出超過に転じ、同要因に伴う母親世代人口の減少による出生数の減少もあり、2013 年以降は「自然減」の時代に入ったため、「社会減」と合わせて、人口減少局面に入りつつあります。

(5) 年齢階級別の人口移動の状況 (図表 5-1、5-2 (P177 参照))

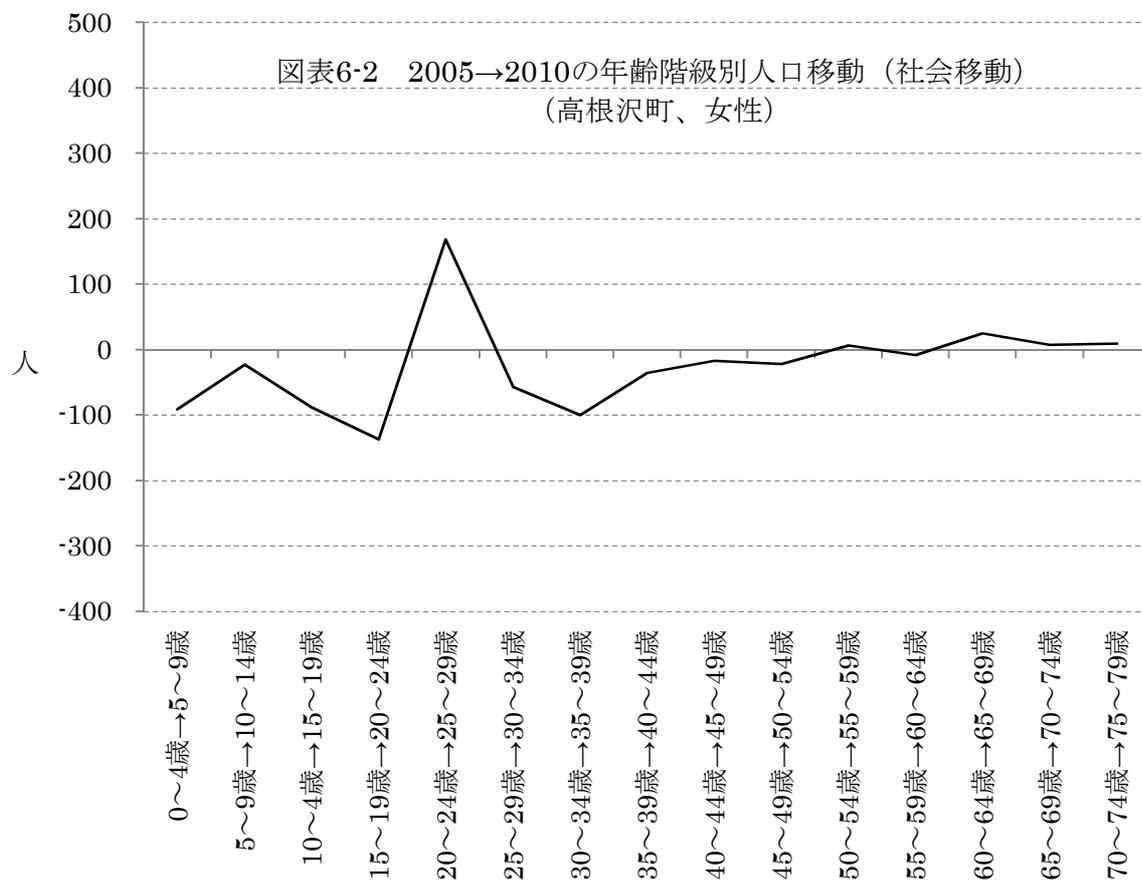
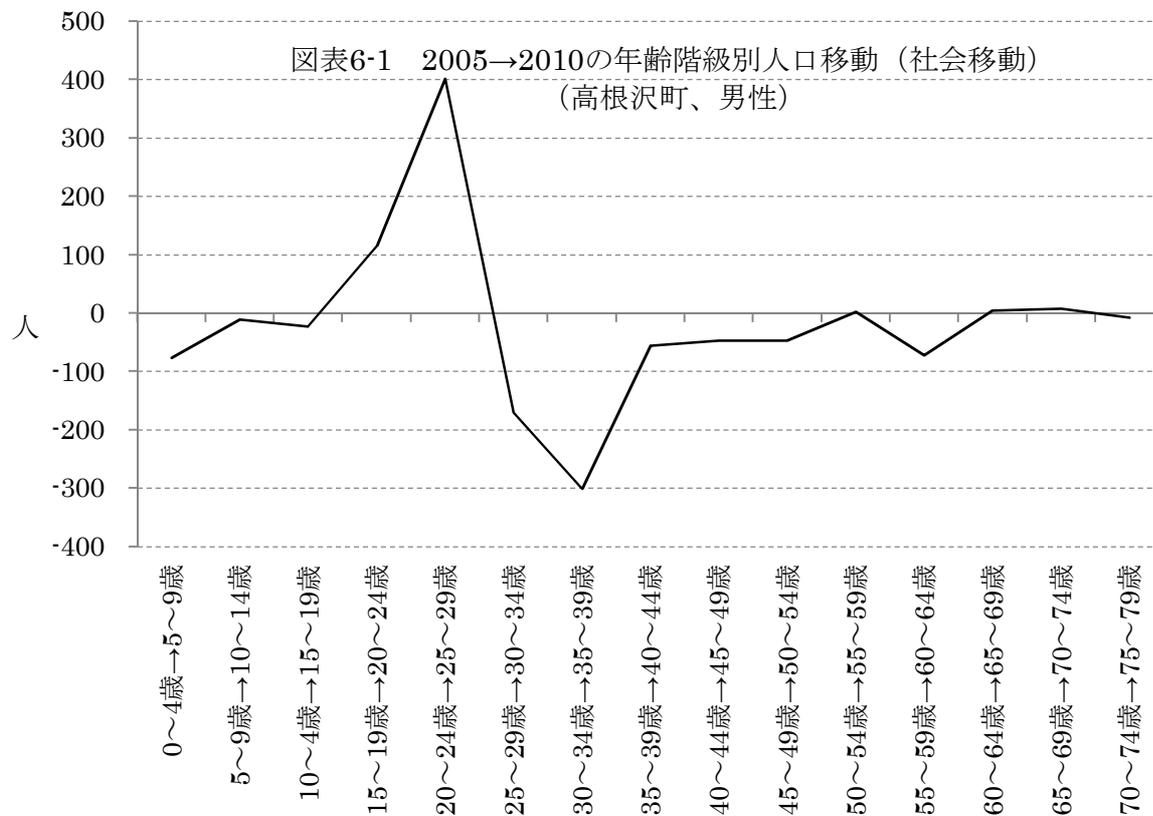
- ・高根沢町では、長期的に「社会増」の傾向が続いてきました。依然として、20 歳代の転入超過が高いレベルにありますが、近年 30 代の転出超過が増加したことにより、社会減となっています。結婚や出産を契機に、周辺市町村に住居を構える者が多いことが背景にあると考えられます。
- ・30 代を中心とした周辺市町村への転出が多く、この傾向が今後も一定程度継続すると仮定されていること、また、母親世代人口の減少、低出生率の継続により、出生数の減少が続くとともに、老年人口の中でも高齢化が進み、死亡数の増加傾向が続くと見通されていることから、「社会減」と「自然減」が相まって進む見通しです。

(v) 年齢階級別の人口移動（社会移動）の状況

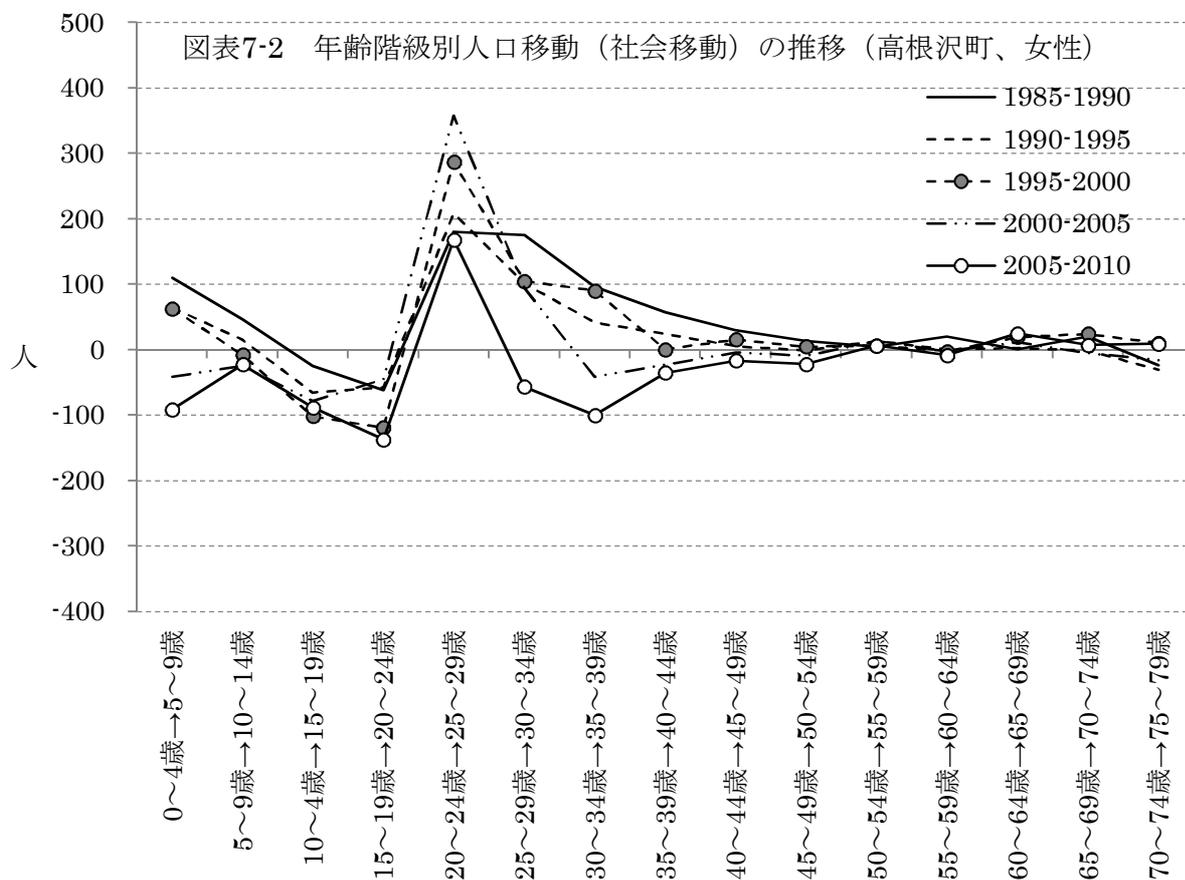
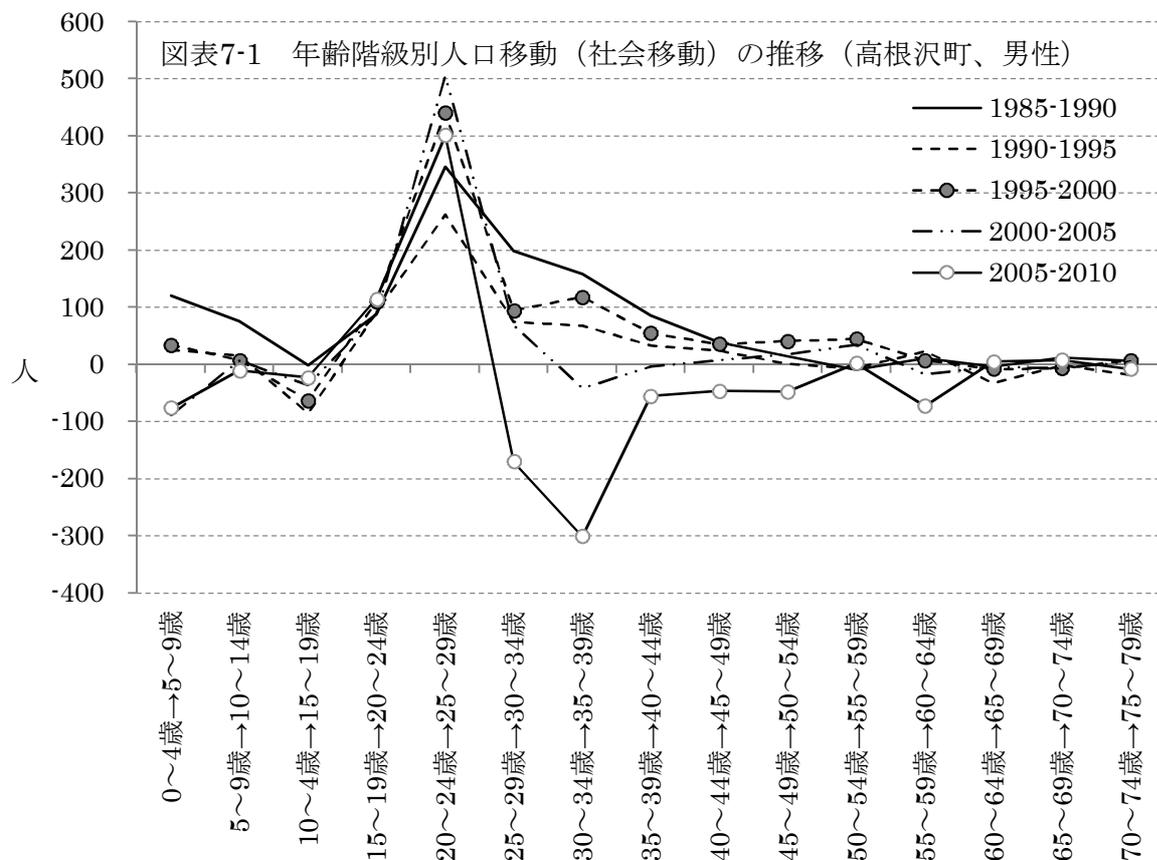


(2) 年齢階級別の人口移動（社会移動）分析

(i) 性別年齢階級別の人口移動（社会移動）の最近の状況



(ii) 性別年齢階級別の人口移動（社会移動）人口移動の状況の長期的傾向



■分析及び考察

(1) 性別・年齢階級別人口移動（社会移動）の最近の状況（図表 6-1、6-2（P178 参照））

- ・高根沢町の男性においては、15～19 歳から 20～24 歳になるとき、及び、20～24 歳から 25～29 歳になるときに大幅な転入超過となっています。
- ・一方で、25～29 歳から 30～34 歳になるとき、及び、30～34 歳から 35～39 歳になるときに、逆に、大幅な転出超過となっています。
- ・これらは、結婚や家族の出産等、家族が増えることに伴う転居の影響によるものが主な要因です。

- ・高根沢町の女性においては、20～24 歳から 25～29 歳になるときに大幅な転入超過となっています。
- ・一方で、25～29 歳から 30～34 歳になるとき、及び、30～34 歳から 35～39 歳になるときに、逆に、大幅な転出超過となっています。
- ・これらは、結婚や家族の出産等、家族が増えることに伴う転居の影響によるものが主な要因です。。

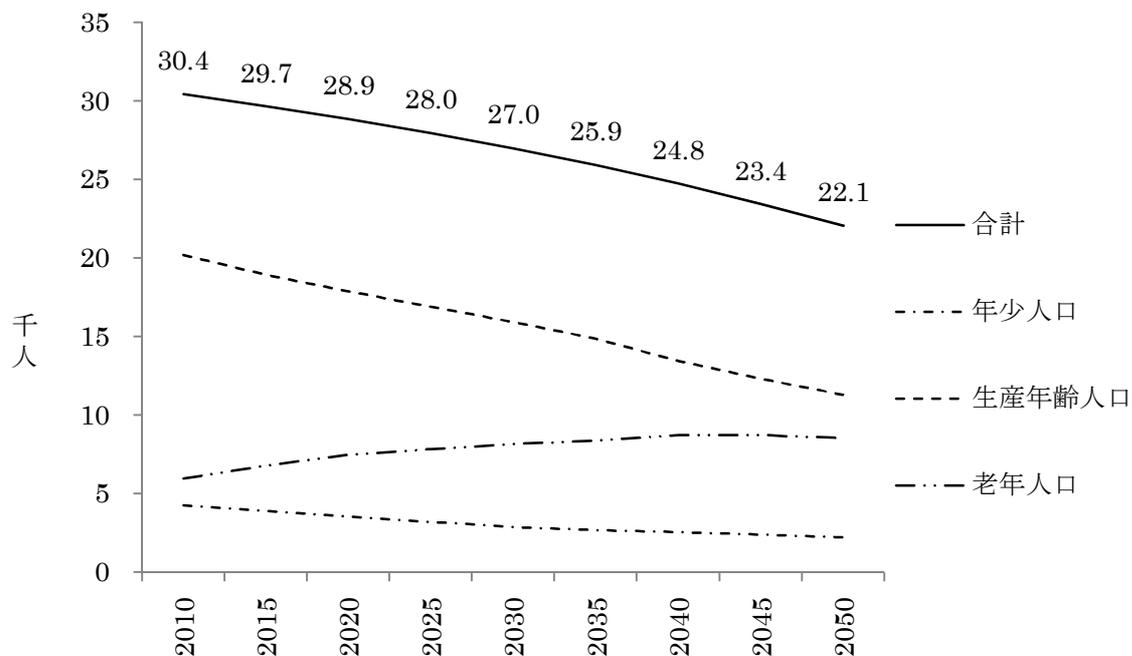
(2) 年齢階級別の人口移動（社会移動）の状況の長期的動向（図表 7-1、7-2（P179 参照））

- ・男女ともにみられた 20 代の大幅な転入超過は、概ね維持されています。
- ・一方で、30 代にみられる転出超過は、2005 年以降、拡大しています。
- ・この近年の動きについては、住宅開発の鈍化に伴い、住宅確保が難しくなっていることが主な要因です。

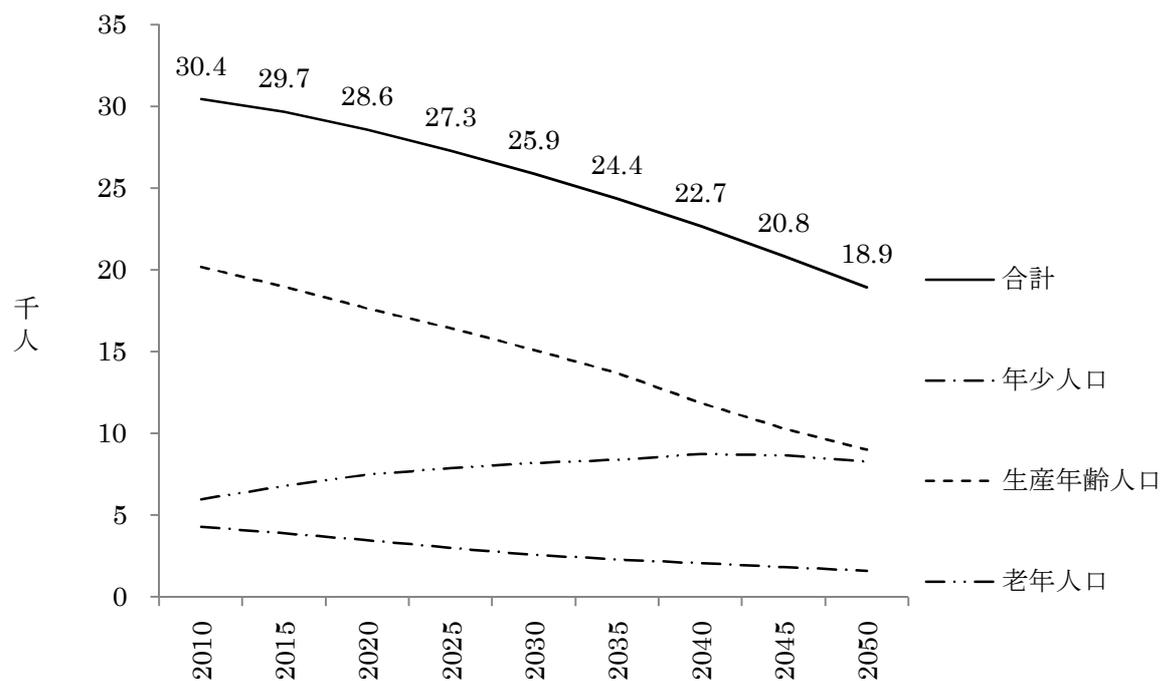
2. 将来人口推計

(1) 将来人口推計

パターン1 図表 8-1 社会移動率が、今後一定程度縮小すると仮定した推計
(社人研推計準拠)

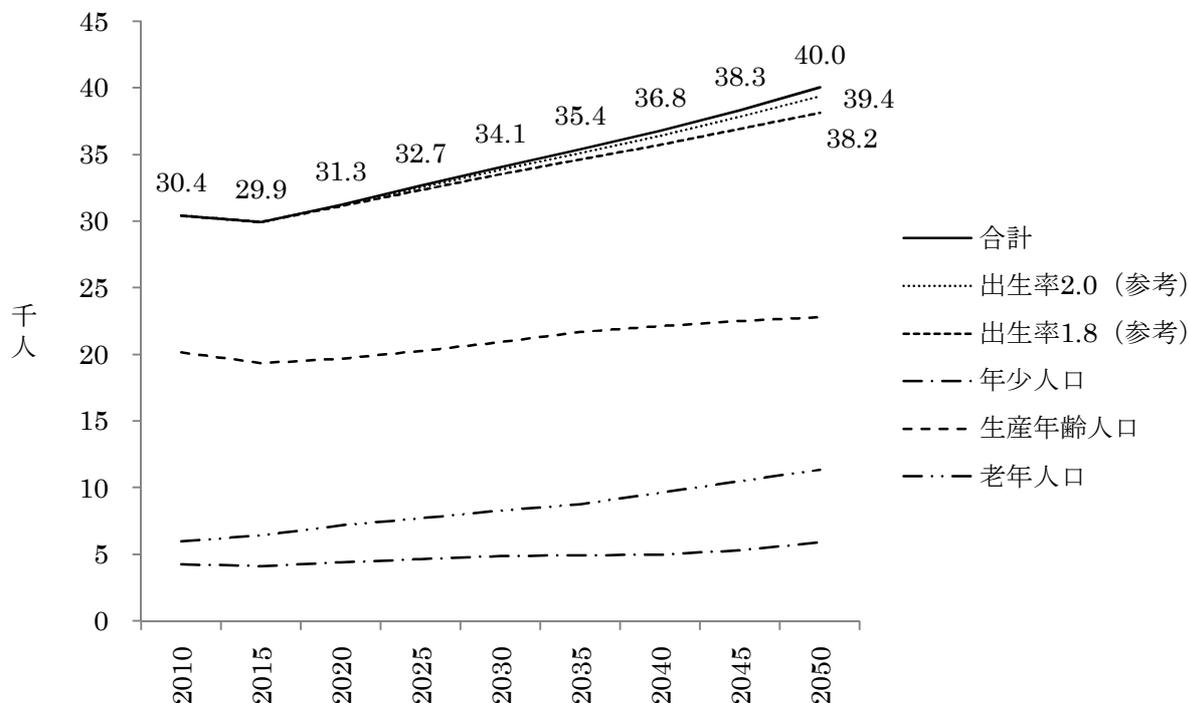


パターン2 図表 8-2 総移動数が、2010～2015年の推計値と概ね同水準でそれ以降も推移すると仮定した推計 (日本創生会議準拠)



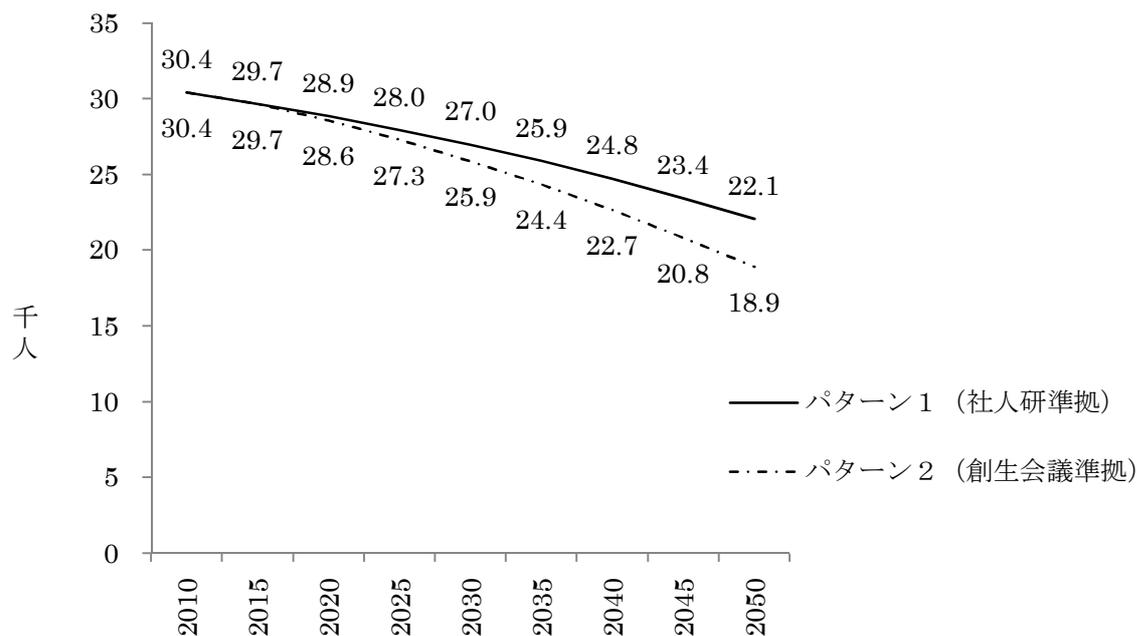
パターン3 図表8-3 地方公共団体に独自に出生や移動の過程を設けた推計

- 合計特殊出生率が10年後(2025)に2.1まで上昇(現状1.57)、社会移動率が1995-2000の水準に回復し、域外への再流出を10年かけて防止した場合



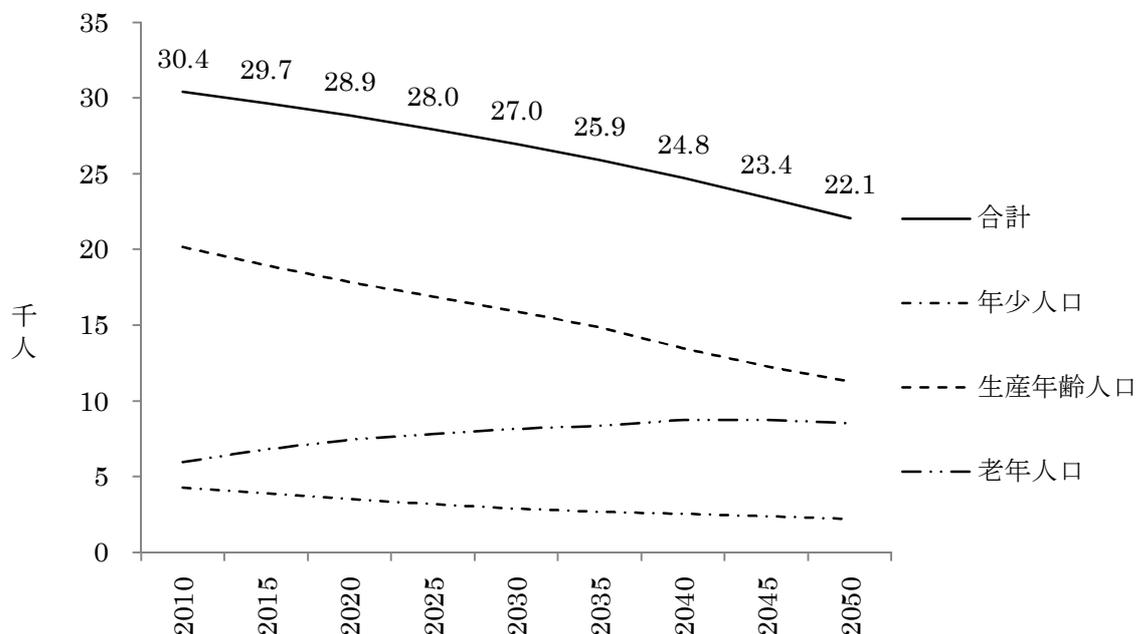
(i) パターン1とパターン2の総人口の比較

図表9 パターン1とパターン2の総人口推計の比較



(ii) 人口減少段階の分析

図表 10 人口の減少段階（高根沢町、パターン1）



図表 11 高根沢町の人口減少段階（単位：千人）

| | 2010 | 2040 | 2010年を100とした場合 の2040年の指数 | 人口減少段階 |
|--------|------|------|-----------------------------|--------|
| 老年人口 | 6.0 | 8.7 | 146 | 1 |
| 生産年齢人口 | 20.2 | 13.5 | 67 | |
| 年少人口 | 4.3 | 2.5 | 59 | |

※人口減少段階（第1段階：老年人口の増加、第2段階：老年人口の維持・微減、第3段階：老年人口の減少）

■分析及び考察

(1) パターン1とパターン2の総人口の比較（図表9（P182参照））

・パターン1（社人研推計準拠）とパターン2（日本創成会議推計準拠）による2040年の総人口は、それぞれ約25千人、約23千人となっており、約2千人の差が生じています。

・高根沢町は、人口が転出超過基調に転じ、全国の総移動数が平成22（2010）年から平成27（2015）年までと概ね同水準で推移するとの仮定に基づくパターン2の推計では、人口減少が一層進む見通しとなっています。

(2) 人口減少段階

・パターン1（社人研推計準拠）によると、高根沢町の人口減少段階は、「第1段階」に該当します。

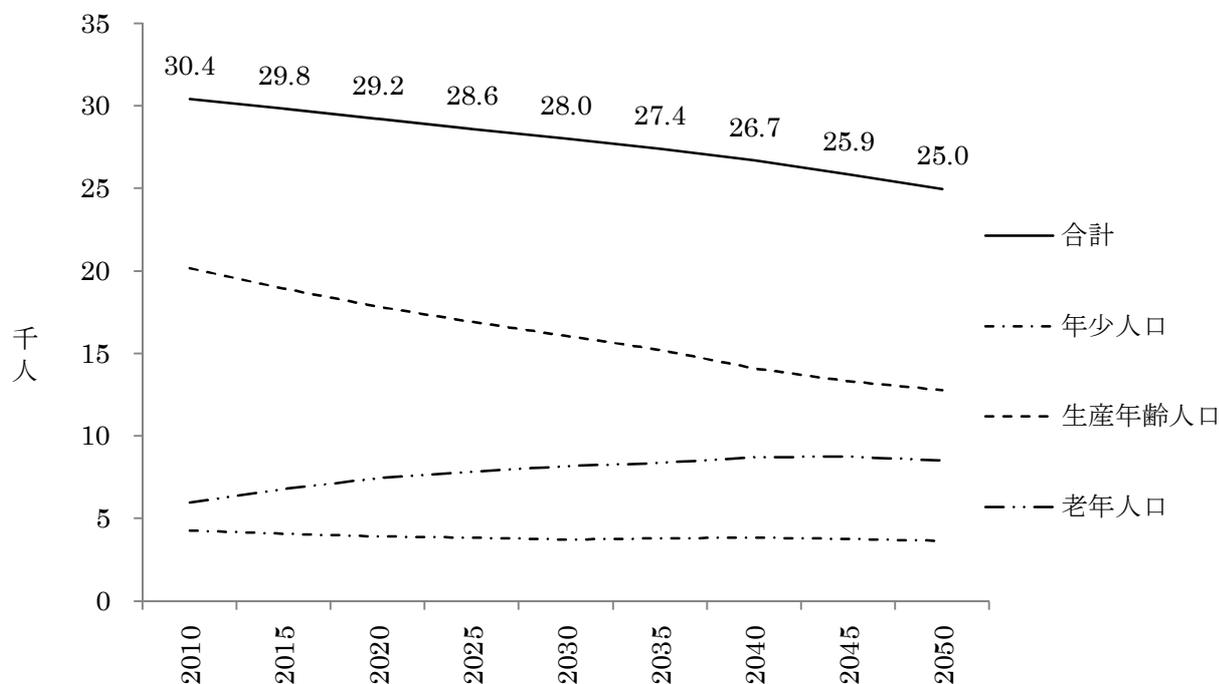
(3) 人口減少率

・パターン1（社人研推計準拠）によると、2040年には、高根沢町では、2010年と比較して人口が81%（19%の人口減少）になると推計されています。

(2) 将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度の分析

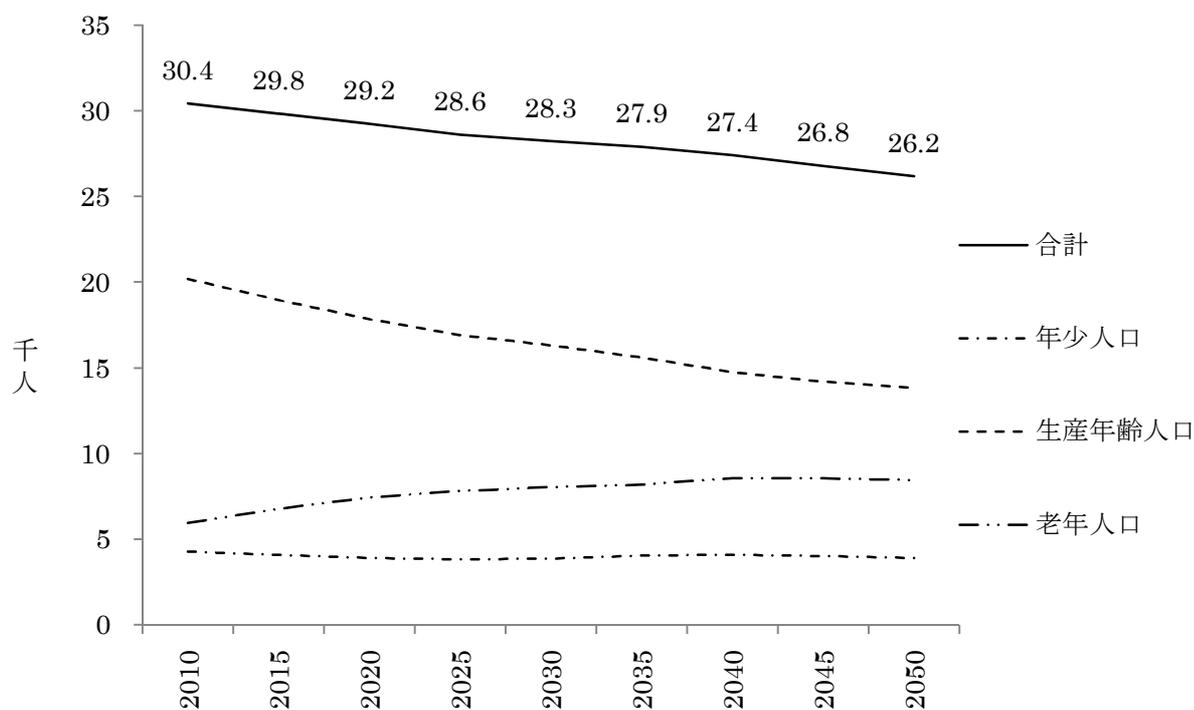
シミュレーション1 図表 12-1

社人研推計をベースに、合計特殊出生率が2030年までに2.1に上昇すると仮定



シミュレーション2 図表 12-2

シミュレーション1に加えて、2030年以降、純移動率がゼロで推移すると仮定



(i) 自然増減、社会増減の影響度の分析

図表 13 自然増減、社会増減の影響度（高根沢町）

| | 2040 推計人口（千人） | | ※ 影響度 |
|-----------------------------|---------------|----------|----------|
| パターン1（図表 8-1（P181 参照）） | 24.8 | | |
| シミュレーション1（図表 12-1（P184 参照）） | 26.7 | | |
| シミュレーション2（図表 12-2（P184 参照）） | 27.4 | | |
| シミュ1/パタ1 | 107.9% | 自然増減の影響度 | 3 |
| シミュ2/シミュ1 | 102.7% | 社会増減の影響度 | 2 |

※自然増減の影響度（「1」=100%未満、「2」=100～105%、「3」=105～110%、「4」=110～115%、「5」=115%以上の増加）

※社会増減の影響度（「1」=100%未満、「2」=100～110%、「3」=110～120%、「4」=120～130%、「5」=130%以上の増加）

(iii) 人口構造の分析

図表 14 推計結果ごとの人口増減（高根沢町）（単位：千人）

| | | 総人口 | 0-14 歳人口 | (0-4 歳人口) | 15-64 歳人口 | 65 歳以上人口 | 20-39 歳女性人口 |
|------|--------------------------------|------|----------|-----------|-----------|----------|-------------|
| 2010 | 現状値 | 30.4 | 4.3 | 1.4 | 20.2 | 6.0 | 3.7 |
| 2040 | パターン1 | 24.8 | 2.5 | 0.9 | 13.5 | 8.7 | 2.3 |
| | シミュレーション1 | 26.7 | 3.8 | 1.3 | 14.1 | 8.7 | 2.4 |
| | シミュレーション2 | 27.4 | 4.1 | 1.3 | 14.8 | 8.6 | 2.5 |
| | パターン2 （図表 8-1 （P181 参照）） | 22.7 | 2.1 | 0.7 | 11.9 | 8.7 | 2.0 |

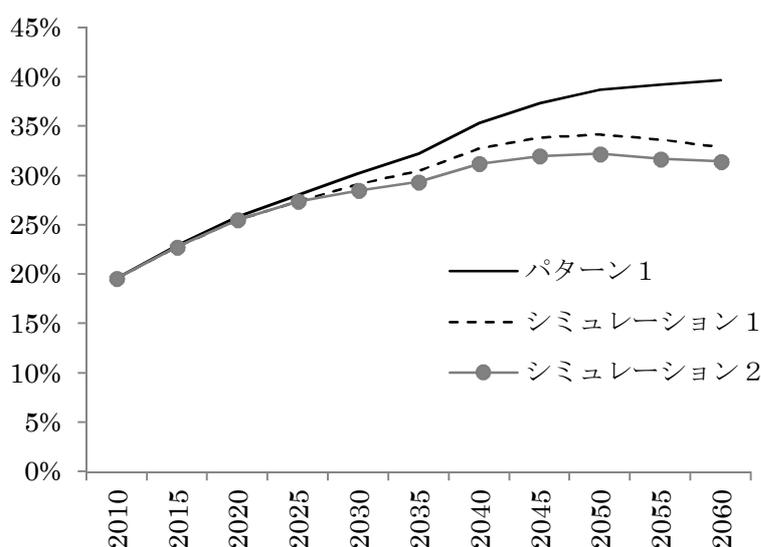
| | | 総人口 | 0-14 歳人口 | (0-4 歳人口) | 15-64 歳人口 | 65 歳以上人口 | 20-39 歳女性人口 |
|------------------------------|-----------|--------|----------|-----------|-----------|----------|-------------|
| 2010 → 2040 増減 率 | パターン1 | -18.7% | -40.6% | -39.9% | -33.3% | 46.5% | -38.2% |
| | シミュレーション1 | -12.3% | -10.1% | -5.8% | -30.1% | 46.5% | -33.6% |
| | シミュレーション2 | -9.9% | -4.4% | -6.5% | -26.9% | 43.4% | -33.1% |
| | パターン2 | -25.5% | -51.8% | -47.8% | -41.2% | 46.6% | -44.5% |

(iv) 老年人口比率の変化（長期推計）

図表 15-1 2010年から2040年までの総人口・年齢3区分別人口比率

| 千人・比率 | | 2010 | 2015 | 2020 | 2025 | 2030 | 2035 | 2040 | 2045 | 2050 | 2055 | 2060 |
|-------------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| パターン ン1 | 総人口（千人） | 30.4 | 29.7 | 28.9 | 28.0 | 27.0 | 25.9 | 24.8 | 23.4 | 22.1 | 20.7 | 19.3 |
| | 年少人口 | 14.1% | 13.2% | 12.3% | 11.4% | 10.7% | 10.3% | 10.3% | 10.2% | 10.1% | 10.0% | 9.9% |
| | 生産年齢人口 | 66.3% | 63.9% | 61.9% | 60.5% | 59.0% | 57.4% | 54.4% | 52.4% | 51.2% | 50.8% | 50.4% |
| | 65歳以上人口 | 19.6% | 22.9% | 25.8% | 28.0% | 30.3% | 32.3% | 35.3% | 37.3% | 38.7% | 39.2% | 39.7% |
| | 75歳以上人口 | 10.6% | 11.6% | 12.8% | 15.3% | 17.8% | 19.5% | 20.9% | 22.2% | 24.6% | 26.2% | 26.9% |
| シミュ レーシ ョン1 | 総人口（千人） | 30.4 | 29.8 | 29.2 | 28.6 | 28.0 | 27.4 | 26.7 | 25.9 | 25.0 | 24.1 | 23.3 |
| | 年少人口 | 14.1% | 13.7% | 13.4% | 13.5% | 13.4% | 13.9% | 14.4% | 14.7% | 14.7% | 14.7% | 15.0% |
| | 生産年齢人口 | 66.3% | 63.5% | 61.1% | 59.1% | 57.4% | 55.5% | 52.8% | 51.5% | 51.1% | 51.6% | 52.1% |
| | 65歳以上人口 | 19.6% | 22.8% | 25.5% | 27.4% | 29.2% | 30.5% | 32.7% | 33.8% | 34.2% | 33.7% | 32.9% |
| | 75歳以上人口 | 10.6% | 11.5% | 12.7% | 15.0% | 17.2% | 18.4% | 19.4% | 20.1% | 21.8% | 22.4% | 22.3% |
| シミュ レーシ ョン2 | 総人口（千人） | 30.4 | 29.8 | 29.2 | 28.6 | 28.3 | 27.9 | 27.4 | 26.8 | 26.2 | 25.6 | 25.1 |
| | 年少人口 | 14.1% | 13.7% | 13.4% | 13.5% | 13.8% | 14.6% | 14.9% | 15.1% | 15.0% | 15.3% | 15.8% |
| | 生産年齢人口 | 66.3% | 63.5% | 61.1% | 59.1% | 57.7% | 56.0% | 53.8% | 52.9% | 52.8% | 53.0% | 52.7% |
| | 65歳以上人口 | 19.6% | 22.8% | 25.5% | 27.4% | 28.5% | 29.4% | 31.2% | 32.0% | 32.2% | 31.7% | 31.4% |
| | 75歳以上人口 | 10.6% | 11.5% | 12.7% | 15.0% | 16.6% | 17.4% | 18.0% | 18.4% | 19.8% | 20.2% | 20.0% |

図表 15-2 老年人口比率の長期推移(高根沢町)



■分析及び考察

(1) 自然増減、社会増減の影響度の分析（図表 13（P185 参照））

・高根沢町は、自然増減の影響度が「3（影響度 105～110%）」、社会増減の影響度が「2（影響度 100～110%）」となっており、本分析に基づく限りにおいて、出生率の上昇につながる施策及び人口の社会増をもたらす施策に取り組むことが、人口減少度合いを抑えること、さらには歯止めをかける上で効果的です。

・ただし、本分析（シミュレーション2（図表 12-2（P184 参照）））は、高根沢町の特徴である、20代の転入超過という、プラスの要素も切り捨てて、ネットで社会増減の影響を測定するものです。実態に即して、高根沢町独自にシミュレーション（パターン3（図表 8-3（P182 参照））：転入は過去実績通り、一方転出はゼロ）を行い、20代に流入した人口の転出防止が最も効果的であるという結果を得ました。

(2) 総人口の分析

・出生率が上昇した場合には、2040年に総人口が約27千人弱（図表 12-1（P184 参照））、出生率が上昇し、かつ人口移動が均衡した場合には、2040年に総人口が約27千人強（図表 12-2（P184 参照））と推計されます。

・パターン1（図表 8-1（P181 参照））に比べると、それぞれ約2千人、約3千人多くなることがわかります。

(3) 人口構造の分析

・年齢3区分ごとにみると、パターン1（図表 8-1（P181 参照））と比較して、シミュレーション1、2（図表 12-1、12-2（P184 参照））ともに「0～14歳」人口の減少率が小さくなります。

・一方、「15～64歳人口」と「65歳以上人口」、「20～39歳女性」は、パターン1とシミュレーション1、2との間でそれほど大きな差はみられません。

(4) 老年人口比率の変化（長期推計）（図表 15-1（P136 参照））

・パターン1とシミュレーション1、2について、2040年時点の仮定を2060年まで延長して推計すると、パターン1では、2050年以降伸び率が鈍化し、高原状態に近づきます。

・一方、シミュレーション1においては、2030年までに出生率が上昇するとの仮定によって、人口構造の高齢化抑制の効果が2050年頃に現れ始め、34%程度でピークになり、その後、低下します。

・また、シミュレーション2における、2030年までに出生率が上昇し、かつ人口移動が均衡するとの仮定によって、人口構造の高齢化抑制の効果が2045～50年頃から現れ始め、32%程度でピークになり、その後、低下します。したがって、その効果は、シミュレーション1よりもやや高いことがわかります。

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る

各代表者アンケート調査

共通質問項目結果

実施期間：2014年8月4日～8月15日

対象者：97名

回答数：81名（回答率：約84%）

目次

1.町の強み（他市町と比較して優れている点）・・・・・・・・ 190

2.町の弱み（他市町と比較して劣っている点）・・・・・・・・ 191

3.定住人口対策における町の方針に対するあなたの考え・・・192

4.町の土地利用に対するあなたの考え・・・・・・・・・・・・ 193

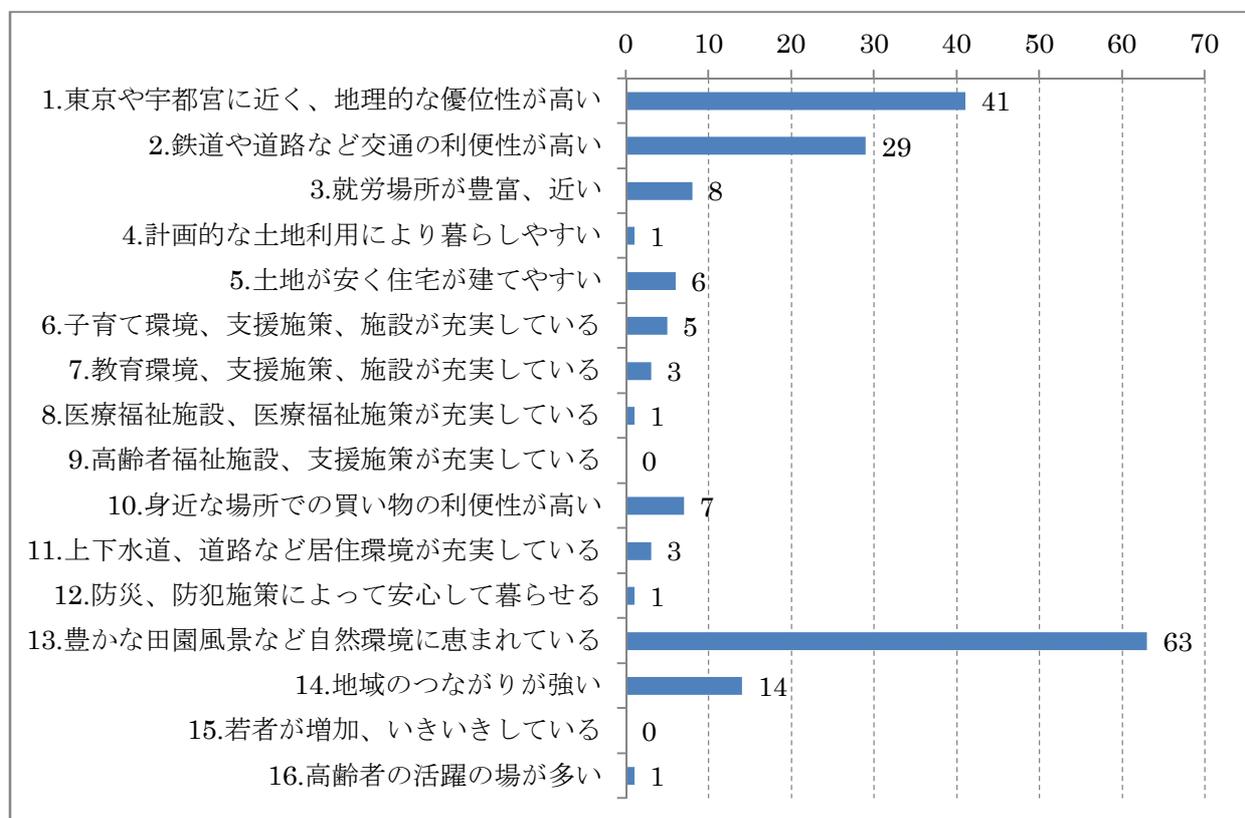
5.属性別クロス集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 194

1. 町の強み（他市町と比較して優れている点）〔問1：3つまで選択可能〕

町の強みとして、回答者が最も多くあげたのが、「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている(63)」となっている。次いで、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い(41)」「2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い (29)」で、自然環境に関する評価が最も高く、次いで、立地条件、及び交通インフラに関しての評価が高い。

高根沢町の強みとしては、豊かな自然環境と東京、宇都宮市に近いといった地理的優位性が両立している点と言える。この強みは住環境整備にとって非常に魅力的なポイントのひとつとなりうる。

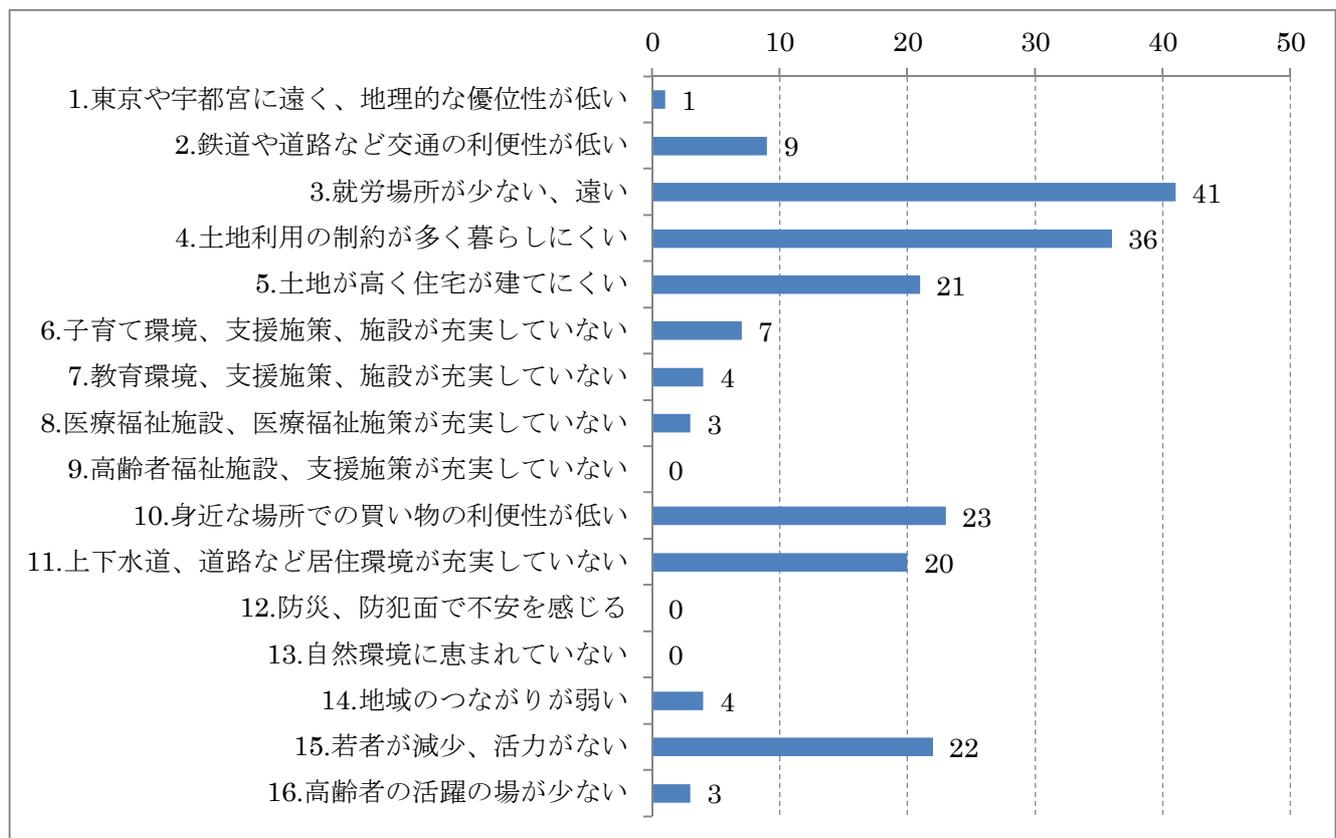
(単位：人 以下同様)



2. 町の弱み（他市町と比較して劣っている点） [問2：3つまで選択可能]

町の弱みとして、回答者が最も多くあげたのが、「3. 就労場所が少ない、遠い（41）」となっている。次いで、「4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい（36）」「10. 身近な場所での買い物の利便性が低い（23）」で、就労環境、住宅環境、生活インフラなどに関する評価が低い。

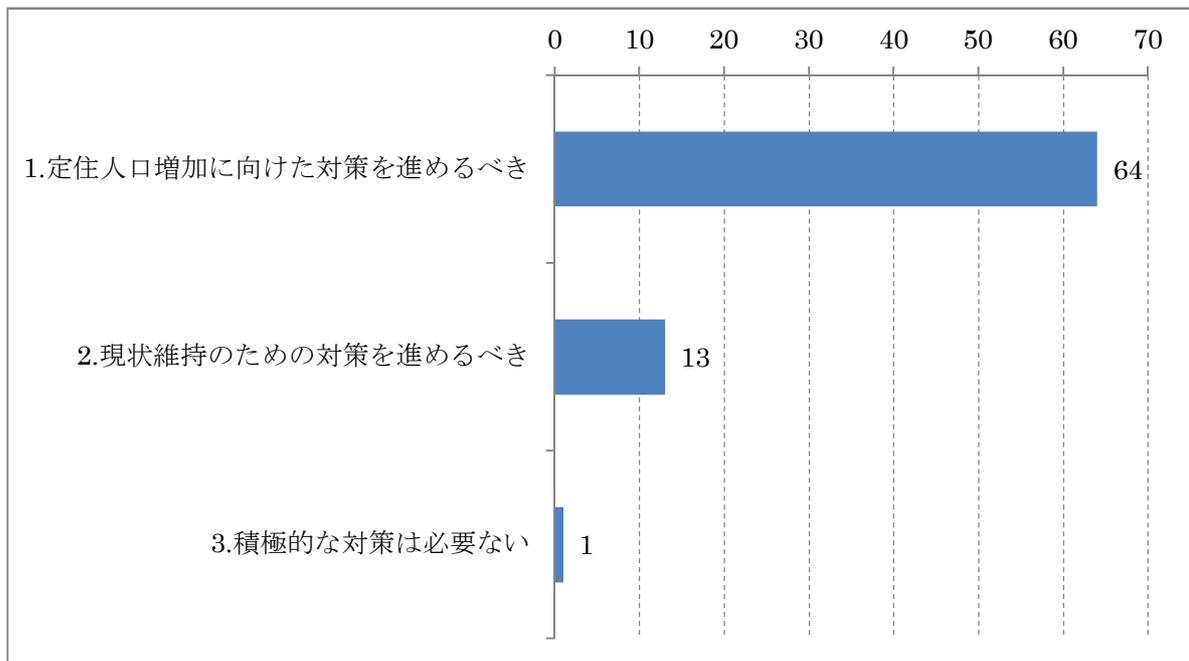
高根沢町のさらなる魅力向上のために、町内での就労場所の充実と柔軟な土地利用が可能な環境が求められている。



3. 定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え [問3：1つ選択]

定住人口増加対策における町の方針に対する考えとしては、「定住人口増加に向けた対策を進めるべき（64）」が大半を占めた。

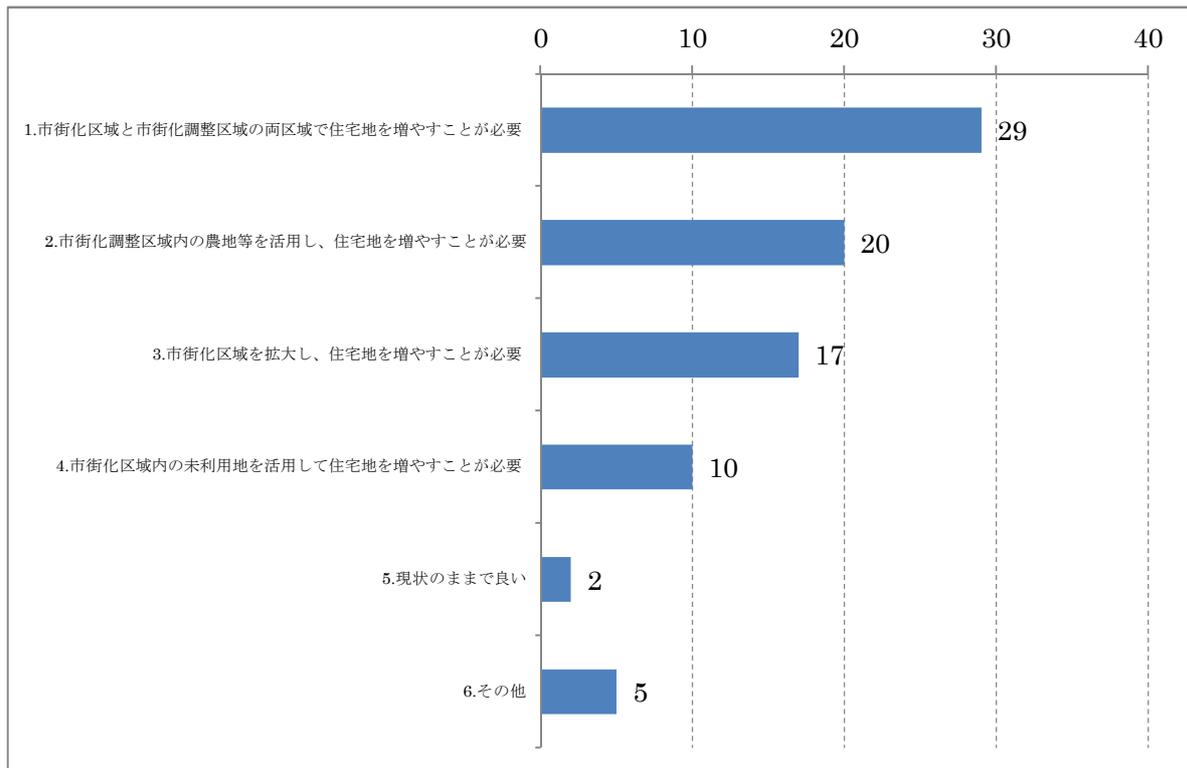
問1～2の強みを活かし、弱みを克服する定住人口増加策が望まれる。



4. 町の土地利用に対するあなたの考え [問4: 1つ選択]

町の都市利用に対する考えとしては、「1 市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要 (29)」が最も多かった。

問2でもご意見があった通り、土地利用の制限を見直し、開発が一地域に偏らないよう、バランスの良い住宅地整備が望まれている。



5. 属性別クロス集計

共通設問に関し、属性別にクロス集計を行った

1. 町の強み（他市町と比較して優れている点）〔問1：3つまで選択可能〕

回答数/属性回答総数

| | 地域住民代表 | 農業者 | 商工業者 |
|-------------------------|--------|-------|-------|
| 1.東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い | 25.7% | 14.3% | 20.9% |
| 2.鉄道や道路など交通の利便性が高い | 19.0% | 11.4% | 11.6% |
| 3.就労場所が豊富、近い | 3.8% | 0.0% | 9.3% |
| 4.計画的な土地利用により暮らしやすい | 0.0% | 0.0% | 2.3% |
| 5.土地が安く住宅が建てやすい | 2.9% | 5.7% | 2.3% |
| 6.子育て環境、支援施策、施設が充実している | 1.0% | 5.7% | 4.7% |
| 7.教育環境、支援施策、施設が充実している | 0.0% | 5.7% | 2.3% |
| 8.医療福祉施設、医療福祉施策が充実している | 1.0% | 0.0% | 0.0% |
| 9.高齢者福祉施設、支援施策が充実している | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 10.身近な場所での買い物の利便性が高い | 4.8% | 0.0% | 4.7% |
| 11.上下水道、道路など居住環境が充実している | 1.9% | 0.0% | 2.3% |
| 12.防災、防犯施策によって安心して暮らせる | 1.0% | 0.0% | 0.0% |
| 13.豊かな田園風景など自然環境に恵まれている | 32.4% | 42.9% | 32.6% |
| 14.地域のつながりが強い | 6.7% | 11.4% | 7.0% |
| 15.若者が増加、いきいきしている | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 16.高齢者の活躍の場が多い | 0.0% | 2.9% | 0.0% |
| 回答計 | 100% | 100% | 100% |

2. 町の弱み（他市町と比較して劣っている点） [問2：3つまで選択可能]

回答数/属性回答総数

| | 地域住民代表 | 農業者 | 商工業者 |
|--------------------------|--------|-------|-------|
| 1.東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い | 0.9% | 0.0% | 0.0% |
| 2.鉄道や道路など交通の利便性が低い | 3.4% | 5.9% | 6.8% |
| 3.就労場所が少ない、遠い | 23.3% | 35.3% | 4.5% |
| 4.土地利用の制約が多く暮らしにくい | 18.1% | 20.6% | 18.2% |
| 5.土地が高く住宅が建てにくい | 9.5% | 5.9% | 18.2% |
| 6.子育て環境、支援施策、施設が充実していない | 3.4% | 2.9% | 4.5% |
| 7.教育環境、支援施策、施設が充実していない | 3.4% | 0.0% | 0.0% |
| 8.医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない | 0.9% | 0.0% | 4.5% |
| 9.高齢者福祉施設、支援施策が充実していない | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 10.身近な場所での買い物の利便性が低い | 10.3% | 8.8% | 18.2% |
| 11.上下水道、道路など居住環境が充実していない | 9.5% | 8.8% | 13.6% |
| 12.防災、防犯面で不安を感じる | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 13.自然環境に恵まれていない | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 14.地域のつながりが弱い | 3.4% | 0.0% | 0.0% |
| 15.若者が減少、活力がない | 12.1% | 8.8% | 11.4% |
| 16.高齢者の活躍の場が少ない | 1.7% | 2.9% | 0.0% |
| 計 | 100% | 100% | 100% |

3. 定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え [問3：1つ選択]

回答数/属性回答総数

| | 地域住民代表 | 農業者 | 商工業者 |
|----------------------|--------|-------|-------|
| 1.定住人口増加に向けた対策を進めるべき | 82.6% | 80.0% | 82.4% |
| 2.現状維持のための対策を進めるべき | 17.4% | 13.3% | 17.6% |
| 3.積極的な対策は必要ない | 0.0% | 6.7% | 0.0% |
| 計 | 100% | 100% | 100% |

4. 町の土地利用に対するあなたの考え [問4:1つ選択]

回答数/属性回答総数

| | 地域住民代表 | 農業者 | 商工業者 |
|----------------------------------|--------|-------|-------|
| 1.市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要 | 27.1% | 53.3% | 40.0% |
| 2.市街化調整区域内の農地等を活用し、住宅地を増やすことが必要 | 27.1% | 13.3% | 25.0% |
| 3.市街化区域を拡大し、住宅地を増やすことが必要 | 22.9% | 13.3% | 20.0% |
| 4.市街化区域内の未利用地を活用して住宅地を増やすことが必要 | 14.6% | 6.7% | 10.0% |
| 5.現状のままで良い | 4.2% | 0.0% | 0.0% |
| 6.その他 | 4.2% | 13.3% | 5.0% |
| 計 | 100% | 100% | 100% |

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る

地域住民代表アンケート調査結果

実施期間：2014年8月4日～8月15日

対象者：地域住民代表者54名

回答数：47名（回答率：約87%）

目次

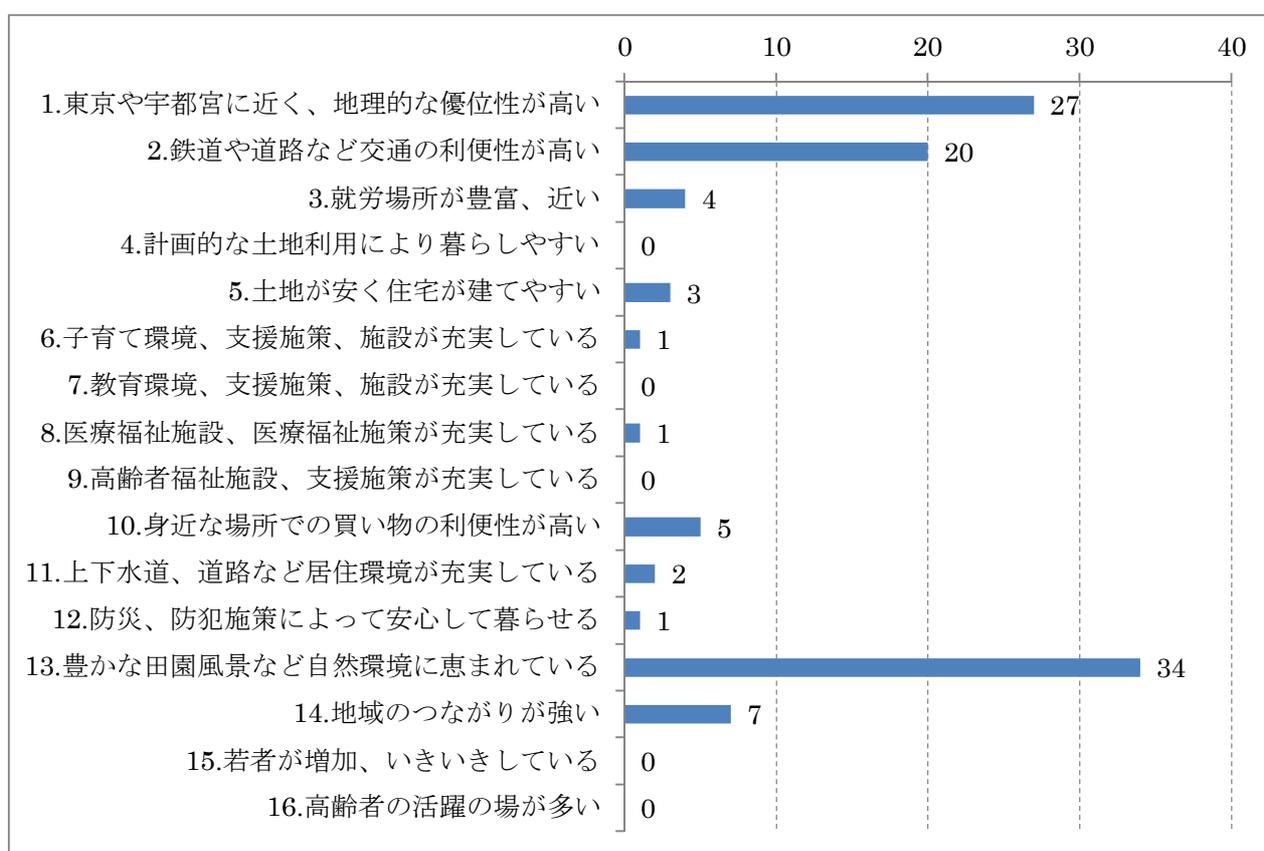
| | |
|---|-----|
| 1.町の強み（他市町と比較して優れている点）・・・・・・・・・・ | 200 |
| 2.町の弱み（他市町と比較して劣っている点）・・・・・・・・・・ | 204 |
| 3.定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え・・ | 209 |
| 4.町の土地利用に対するあなたの考え・・・・・・・・・・ | 215 |
| 5-1.新たな自治の仕組みについて・・・・・・・・・・ | 219 |
| 5-2 地域コミュニティ（行政区）を維持・発展させる 取組みについて・・・・・・・・・・ | 220 |
| 6.小学校区別クロス集計・・・・・・・・・・ | 221 |
| アンケート調査票・・・・・・・・・・ | 224 |

1. 町の強み（他市町と比較して優れている点）〔問1：3つまで選択可能〕

町の強みとして、回答者が最も多くあげたのが、「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている(34)」となっている。次いで、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い(27)」「2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い(20)」で、自然、立地条件、及び交通利便性に関する評価が高い。

選択肢13の選択理由としては、田園風景の美しさに加え、地元の安全でおいしい農産物が豊富であること、住環境として魅力的であること、選択肢1、選択肢2の選択理由としては、東京や宇都宮までの交通アクセスの良さがあげられた。

(単位：人 以下同様)



○その理由 [問 1.自由回答]

| No | 選択肢 1 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高いを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | デマンド交通便数を増加すればなおさら良い。 |
| 2 | 自動車でも宇都宮市内に便利。 |
| 3 | 東京や宇都宮には近くて住むには良い距離と思うが。 |
| 4 | 地理的には優位であるがそれを生かしているか。 |
| 5 | 県道が整備されており、JR 駅、IC にアクセスが良い（10～30 分）。 |
| 6 | 首都圏への通勤が可能である。 |
| 7 | 都市への進出が比較的楽である。 |
| 8 | 当町の立地的な強みは鉄道、道路網の充実であり、これは絶対的メリットである。まずは、この利便性を大いに PR すべきであると思います。 |
| 9 | 本町は鉄道、国道等の道路交通網が恵まれている。 |
| 10 | 新幹線を利用すれば都内への通勤も可能。 |
| 11 | 宇都宮市は県都であり商工業の中心であるため、就労機会がある。 |
| 12 | 鉄道や道路を利用した場合、首都圏おおむね 100 キロ以内に入っていて、通勤の面では可能であり、物流の面では有利であるとともに経済的である。 |
| 13 | 周りが田や畑、裏山にかこまれ、自然に暮らすことが出来、空気がきれいで住みやすいと思います。 |

| No | 選択肢 2 鉄道や道路など交通の利便性が高いを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 全くその通りで鉄道、道路の交通事情は良いのだが。 |
| 2 | 鉄道、駅はあるがそれを有効に使っていない。 |
| 3 | 町には東北線が走り、宝積寺駅利用で気軽に東京にも行ける。また、国道 4 号線も近くを走り、環境的にも良いと思います。 |
| 4 | 電車利用しやすい。車でも国道 4 号線が通っているので便利。 |
| 5 | 電車を利用すれば宇都宮まで 10 分程度で行くことができる。ただし、駅より離れた地区は駅周辺に駐車場がないので車を利用している。 |
| 6 | 電車を利用した場合、宝積寺駅から宇都宮駅まで 10 分程度で行くことができ、東京都内への新幹線通勤が可能である。 |
| 7 | 宇都宮へ通勤しても約 30 分から 40 分程度で行ける |

| No | 選択肢 2 鉄道や道路など交通の利便性が高いを選んだ理由（前頁続き） |
|----|--|
| 8 | 国道 4 号線や宇都宮線が通行していて利便性が高い |
| 9 | 電車を利用した場合、宝積寺駅から宇都宮駅まで 10 分程度で行くことができ、東京都内への新幹線通勤が可能である。南は宇都宮駅まで 10 分。北方向面で矢板駅までは約 20 分で行くことができ、通う場合や就職面や買い物や通学などの面で有利であるし、利便性が高い。 |
| 10 | 電車に加え清原工業団地、芳賀工業団地、本田技術研究所へ鬼怒川を渡らずに通勤できる |

| No | 選択肢 3 就労場所が豊富、近いを選んだ理由 |
|----|----------------------------|
| 1 | 隣接地に工業団地があり働く企業がある |
| 2 | 近くに清原工業団地、平出工業団地、芳賀工業団地がある |
| 3 | 工業団地が近い |

| No | 選択肢 13 豊かな田園風景など自然環境に恵まれているを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 各小学校に付属している施設が良い（例：きのこのもりなど）。 |
| 2 | 騒音や近隣とのトラブルが少ない。 |
| 3 | 自然が魅力。 |
| 4 | 自然が豊かで田園風景など環境は良いのだが。 |
| 5 | 東西丘の牧場などや北南に長い田園など自然に恵まれた環境にある。 |
| 6 | 豊かな田園風景など。 |
| 7 | 地域を生かした農産物（加工品含）オリジナル特産物の販路の探究と拡大 |
| 8 | 自給自足に最適の条件が揃っている。 |
| 9 | 様々な意見はたくさんあると思うが、当町の都市計画や農振計画による線引きは秩序ある土地利用計画であると私は考えます。人口を増やすための諸施策の乱用は生活インフラ負担など、将来の財政基盤に大きなダメージを与えるものと思います。 |
| 10 | 国庫補助事業で水田の区画整理が完成して約 30 年、町の約 6 割が農地で比較的平坦で特に稲作の環境が素晴らしい。 |
| 11 | 御料牧場など自然環境に恵まれているので住みやすい。 |
| 12 | 田園風景の中を散策し、深呼吸すると、都会勤務のストレスが解消される。 |
| 13 | 生活するにあたり緑が多くみられ安らぐしまた近くに鬼怒川もあり自然環境が良い。 |

| | |
|----|--|
| No | 選択肢 13 豊かな田園風景など自然環境に恵まれているを選んだ理由（前頁続き） |
| 14 | 農業関係者は作業（生産）しやすい。 |
| 15 | 高根沢は歌にもあるようにたんたん田んぼの高根沢、県内でも有数の米どころでもあることは県内でも知られているところである。その知名度を利用してコメのブランド米をつくり、県内はもとより、日本、世界にアピールする。ただし、おいしいコメでなければ駄目である。 |
| 16 | 自然環境に恵まれ、町も農業振興に力を入れている。しかしもっと高根沢ならではの特産物を作り上げることが必要ではと思う。合わせて、加工、販売するような6次産業の工夫があれば。 |
| 17 | 自然豊かで子供たちがのびのびと自然に接しながら生活できる。 |

| | |
|----|---|
| No | 選択肢 14 地域のつながりが強いを選んだ理由 |
| 1 | 集落の行事への参加率が高い。 |
| 2 | 住んでいる地域が農村集落のためか、一つにまとまっていると思いますが、若手層が都市に流失して仲間が少なくなっているのが気になります。 |
| 3 | 特に行政区内のつながりが良い。 |

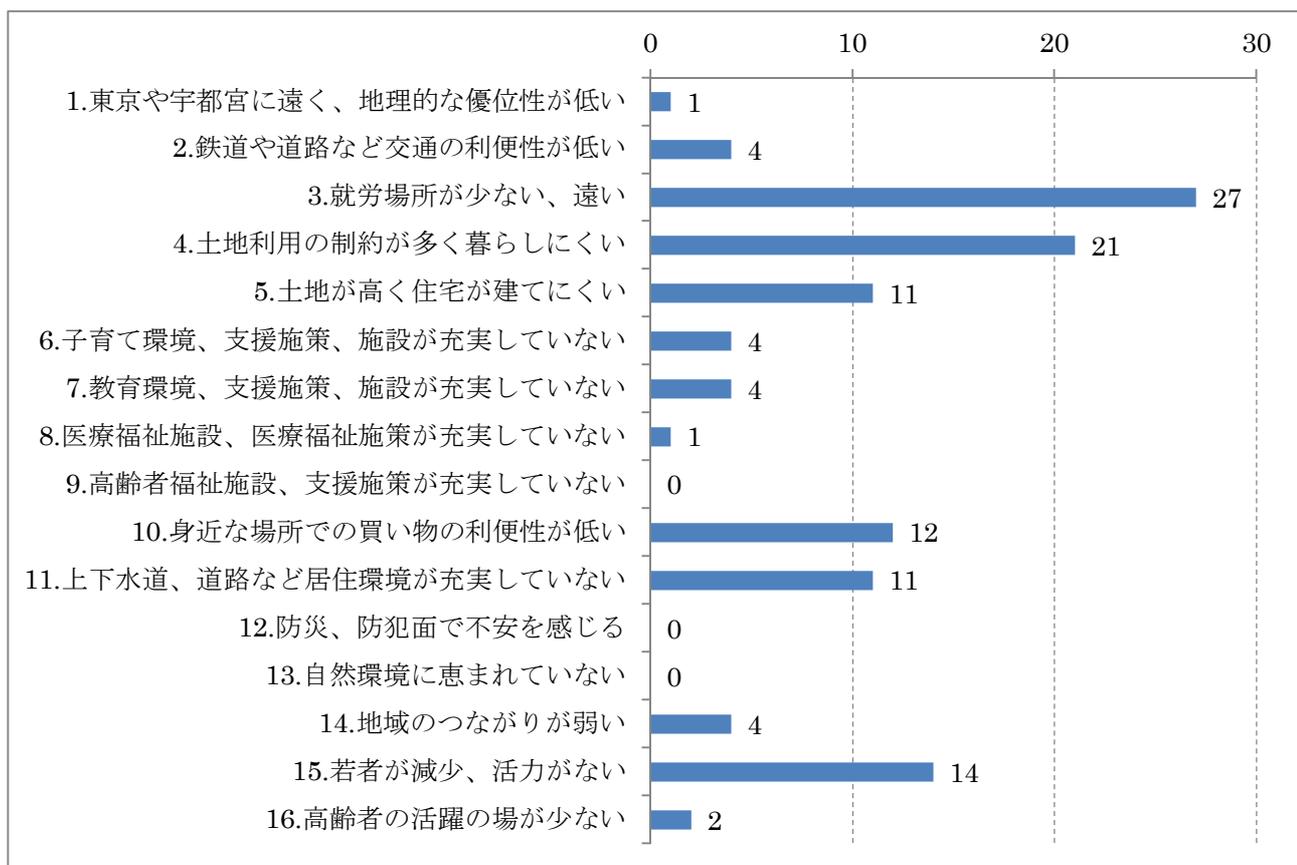
○お気づきの点

| | |
|---|--|
| 1 | 元気あっぴむら温泉の知名度をさらにあげるため体力づくり大会の実施、例えば、マラソン大会、自転車競技、森林浴等他市町村及び全国的にPRする。 |
| 2 | 私は県外の友達に自己紹介するときは必ず宮内庁御料牧場のあるまち・高根沢と切り出します。住環境に恵まれ、緑豊かな町が大好きです。 |
| 3 | 高根沢ブランド米をアピールすべき。 |
| 4 | 高根沢町はこれが素晴らしいと言える（町外に対し）ものがない。町が綺麗だよとか教育費が無料だよとか、医療費が安い（無料）。若者からの意見を聞くことも大事だと思います。 |

2. 町の弱み（他市町と比較して劣っている点） [問2：3つまで選択可能]

町の弱みとして、回答者が最も多くあげたのが、「3. 就労場所が少ない、遠い (27)」「4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい (21)」「15. 若者が減少、活力がない (14)」で、労働環境、住宅環境、などに関する評価が低い。

選択肢3の選択理由としては、町内の雇用環境が整っていないこと、選択肢4の選択理由としては、土地利用の制限や近隣市町と比べて土地代が高いこと、選択肢15の選択理由としても、選択肢4と同様に、雇用の場が少ないことなどの意見があげられた。



○その理由〔問 2.自由回答〕

| No | 選択肢 2 鉄道や道路など交通の利便性が低いを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 地理的に鬼怒川を渡るための橋の制約があり、利便性に欠ける。国道 4 号線に抜けるのに宝積寺北側の幹線道がない。 |
| 2 | 宝積寺駅など利用する場合、駐車場が少ない。 |
| 3 | 交通の便が悪く、車がないと全く生活できない。仕事、買い物、医療などすべての生活において。 |

| No | 選択肢 3 就労場所が少ない、遠いを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 多数を雇用する可能性が高い事業所（工場等）が少ない。 |
| 2 | 他市町への就労が多く通勤時間などが負担を感じる。 |
| 3 | 町内の実家に住みたくても仕事がない（生活していけない）。 |
| 4 | 高根沢町内及び近くの市、町に住民が働く会社が少ない。 |
| 5 | 企業の誘致、雇用の充実を図る。 |
| 6 | 過ぎ去りし件を持ち出しても仕方ありませんが、かつて我が町で生産工場があった。「長府製作所」「松谷製作所」等、なぜ町へとどまってもらう努力をしなかったのか。 |
| 7 | 町内での就労者が少ない（職場としては宇都宮市、または東京周辺となる。会社の規模にもよるが町内から通勤できない人もいる。（寮、社宅利用者） |
| 8 | 就労場所（工場など）があれば就労者も人口も増加し、町が活気づきます。 |
| 9 | 地元で働ける場所があれば人も集まり経済効果も上がると思う。 |
| 10 | 町内では大きな企業だったキリンビール工場が撤退して大きな会社が少ない（私もキリンビールの関連会社にいて退社 59 歳にて）。 |
| 11 | 中小企業、零細企業はたくさんあるがやはり大企業、大手が来ることがあればよいのでは。 |
| 12 | 就労場所が少ないので人口が減少傾向にある。企業誘致のため造成をして企業が進出しやすい環境づくり。 |
| 13 | 就労場所が宇都宮に集中。宇都宮のベッドタウン化傾向。就労場所の確保が必要。 |

| NO | 選択肢 4 土地利用の制約が多く暮らしにくいを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 住宅だけでも建てるには大変なのに土地が高ければだれでも敬遠する。 |
| 2 | 空き家の活用が必要。 |
| 3 | 土地の転用が難しい。⇒土地の利用価値を高める。 |
| 4 | 市街化調整区域の規制を緩めないとますます若者が定着しない。 |
| 5 | 宝積寺、仁井田地区の市街化区域のみで、他に住宅を建てる土地がない。 |
| 6 | 計画的な土地利用は基本であります。農商工のバランスのとれたまちづくりは最も重要な基本です。そのため地域特別区を設けて開発すべきです。 |

| NO | 選択肢 4 土地利用の制約が多く暮らしにくいを選んだ理由 |
|----|--|
| 7 | さくら市に比べて、住宅の建設に関して審査が厳しいので、近隣地への人口移動がある。 |
| 8 | 土地利用などに制約、価格が高い理由で就学時に他市へ転居する方が多いと思う。 |
| 9 | 土地利用の制約が多く暮らしにくい。 |
| 10 | 町東部地区の開発がおくれている。 |

| NO | 選択肢 5 土地が高く住宅が建てにくいを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 住宅の建設費、リフォーム代金の助成など。 |
| 2 | 宝積寺市街地の整備は立ち遅れているように感じますが、個々の事業費投入は必要であります。しかし、農村部の整備振興策は遅れがあるものと私は感じます。私は農村部に住んでいるので、そう感じるのかもしれませんが、バランスのある予算執行、これも忘れてはならないと思います。 |
| 3 | 他市町に比べ土地の値段が高いので家が建てにくい。 |
| 4 | 都市計画法の指定により、一部の地域の市街化区域の土地が高くなり、指定のないさくら市で住宅地を購入する傾向にある。 |
| 5 | 農地の宅地化を進め、安い土地の供給をする。 |

| NO | 選択肢 6 子育て環境、支援施策、施設が充実していないを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 環境、支援施策、施設充実していると思うが、特別イメージとして弱い。子育て、教育は住むのに判断材料のひとつ。 |
| 2 | 他市町より子育てしやすい環境（経済的な面も含め、補助金なども含め）であれば町内に20～39歳の若い子育て世代が増加します。 |
| 3 | 子育て環境の整備が不十分であるため、少子化傾向にあり、人口減少となる。働いている時間における子供の支援、税金面での優遇措置など。 |
| 4 | 子どもたちが喜んで遊ぶことができる多目的施設がない。 |
| 5 | 子育てに対する支援（補助金）施設が不足していると。 |

| NO | 選択肢 10 身近な場所での買い物の利便性が低いを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 商業施設、サービス業施設若い人にとっては同じ住むなら利便性の高いところ、買い物サービスが受けられる所の近くが良いのでは。 |
| 2 | 大型店がない。 |
| 3 | 町内には大型店舗がなく、特に若者は買い物は他市町へ流れる。 |

| NO | 選択肢 10 身近な場所での買い物の利便性が低いを選んだ理由 |
|----|--|
| 4 | 宇都宮市、さくら市に流れているのが現実。若者や親子が楽しんで買い物できる商業施設がほしい。 |
| 5 | 食料品店（スーパー）はあるものの、医療、家電、家具、医療などの買い物は宇都宮市やさくら市の大型店に行っている状況である。 |
| 6 | 大型商業施設が町にできない。宇都宮、さくら市に集中している。 |

| NO | 選択肢 11 上下水道、道路など居住環境が充実していないを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 上下水道の整備が遅れている。一部の地域のみ整備済。 |
| 2 | 特に下水道のインフラ整備が進んでいない。 |
| 3 | 都市計画などの遅れで下水道整備が遅れているので住みにくい。 |
| 4 | 町中心部から清原、芳賀工業団地へ続く道路の強化・整備を行い、これら工業団地へ勤務する人たちのベッドタウンとして魅力を図る。 |

| NO | 選択肢 14 地域のつながりが弱いを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | これからは行政のみならず、その行政補完として、自治会活動をさらに充実、発展させていく必要があるのではないのでしょうか。今当町はその考え方で真剣に自治会活動を援助、育成する気になっているのでしょうか。ここは再度考え直してみしてほしいと思っています。 |

| NO | 選択肢 15 若者が減少、活力がないを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 少子化若者人口はどこでも同じだがIターン、Uターン2世、3世が少ない。IUターン、2世、3世が住むような施策。 |
| 2 | 町内での働き場所がなく、若い人間が定住しにくい。 |
| 3 | 高齢化、若者の流失で限界集落の現実が進んでいる。 |
| 4 | 就労場所が少なければ、若者は生きていくためには町外へでざるをえません。とにかく若者の働ける場所をお願いします。 |
| 5 | 県外に出て行っている。同居が少なくなっている。 |
| 6 | 町内の職場が少ないので首都圏周辺で働く人が多く、残るのは高齢者のみの家庭が多くなっている。 |
| 8 | 少子高齢化と他県（他の町など）での生活の若者が目立つ。農家では長男が同居しているのが少ない。 |

| NO | 選択肢 16 高齢者の活躍の場が少ないを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 60歳前後で退職してしまうと特別な資格、手に職を持っていなければ就労するところがなく生活が苦しい。 |
| 2 | 今後数年もしくは十数年のうちに、高齢化社会になることは間違いないので、少子化対策もさることながら、高齢者の活躍できる場など、高齢者対策も考える時期に来ている。 |

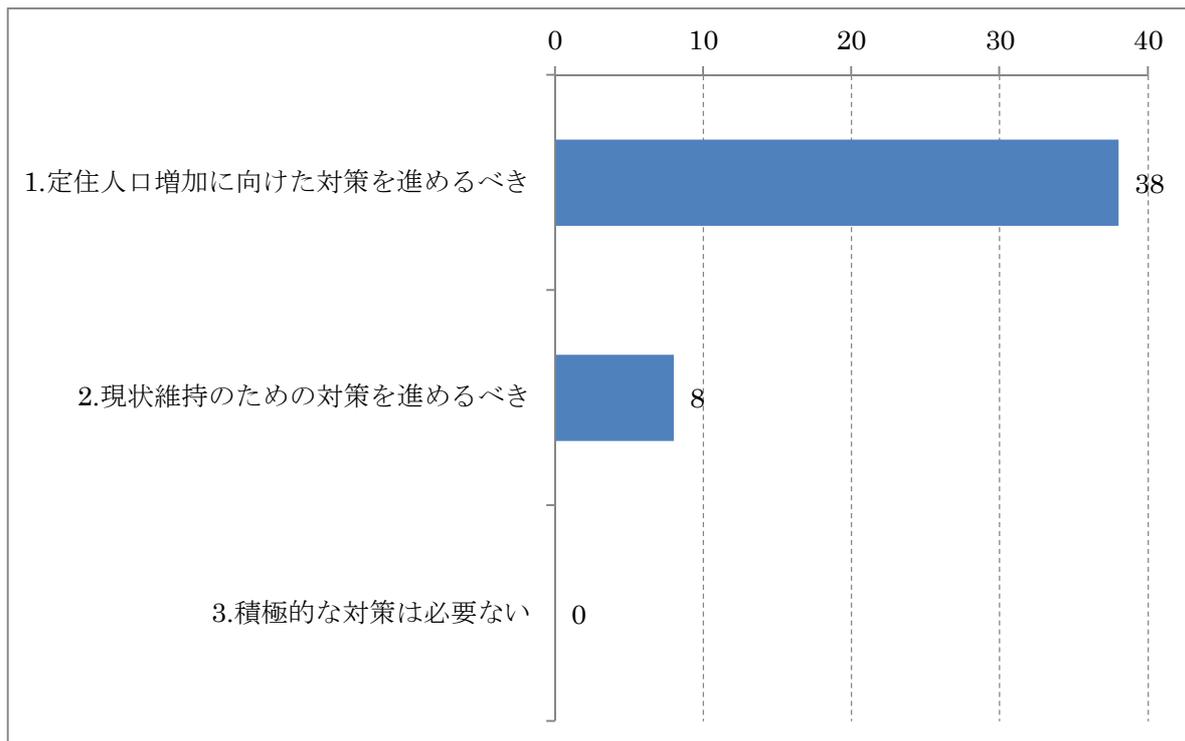
○お気づきの点

| | |
|---|---|
| 1 | 住んで良かった住みやすい住み心地が良いという言葉、口コミなどでないと増えない。イメージをよくする。ある程度の話題性、話題作りは必要。町のイメージが大事「魅力」。 |
| 2 | 例を見て分かるように、答えが出ているのではないので今後一つずつ解決していくよう、町の制約の見直しをする。 |
| 3 | 強みを活かすは賛成ですが弱みを克服こちらのほうが先決かと思います。 |
| 4 | 市街化調整区域の撤廃。 |
| 5 | 町の一般会計財政の税収の確保は個人の税だけでは十分とは言えません。法人町民税がいかに大きいかが、キリンビール工場撤退により誰もわかりやすいと思います。このことを検証してより良い街づくりをお願いします。 |
| 6 | 知名度が低い。高根沢といえば？ |
| 7 | 栃木県内 25 市町村あるわけですが、高根沢の売りは何かといった場合、インパクトが少し弱い感じがします。その売りを高根沢住民が見つげ出すとともに、共有するとともに一丸となってPRをして より良いイメージをつくり、定住人口増につなげる。 |
| 8 | 郷愁や望郷の念を抱かせる教育の面についても考える必要があるのでは。 |
| 9 | 駅が立派であるのに対し、周辺に商店、飲食店が少なく活気がない。 |

3. 定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え [問3：1つ選択]

定住人口増加対策における町の方針に対する考えとしては、「定住人口増加に向けた対策を進めるべき（38）」が大半を占めた。

ご意見・ご提言としては、魅力ある住環境としてのイメージUP、また結婚や子育て支援などの若者の生活支援の充実などがあげられた。



〇ご意見・ご提言

| | |
|---|--|
| 1 | 市街化調整区域の規制緩和政策が重要では。 |
| 2 | 1.結婚相談員の復活(一番の近道)①若者に出会いの場所が少ない(ボランティア精神)。②おせっかいおばさん、おじさんがまだいる。③豊かな田園風景などの自然環境が魅力。④町のPR推進に貢献できる。 2.加藤公博町長自らがトップセールスにあたる①町の立地条件、交通事情、自然環境等安全安心な快適な町のPRが必要。 |
| 3 | 1.町のイメージを作るべき。住んでみようか、よさそうだなとか話題になるもの。住むのに子供のことが気なるなら、環境づくり。子供の教育、施設、支援を充実させ、例えば教育の町高根沢といわれるようイメージを作る(子供を取り込む)。 2.住宅地、団地が整備され、県営、町営住宅など補助、支援体制ができています。住む環境ができています。整理されている(都市計画)。 3.高根沢町のシンボルとなる核となる建物庁舎がしっかり存在していること。行政、役所がしっかりしているな。しっかり対応されているなのイメージがわからない。課がバラバラな所在にあり、行政対応がしっかりした町と思われたいといけない。 |
| 4 | 結婚適齢期を過ぎて結婚しない未婚の男女が多いように感じる。今からでもやれる範囲での集団見合い等結婚に通じる道しるべを町をあげてやってほしい。子育て環境、支援対策にしてもここで育てたいと思うような成功した他県もあると聞いているので、積極的にそういうところの視察なども取り入れてみてはどうか。ここで住み育てたいという町にしなければならないためにも必要と考えるが。 |
| 5 | かつての高根沢町の人口増加の要因は光陽台、宝石台の開発がすべてであったのではなからうか。したがって今これに匹敵する開発が可能であろうか。4万人構想などと風呂敷を広げても、何もなしでは、絵に描いた餅と思える。市街地の未利用地の活用できるレベルではないだろう。そこでキンピール工場跡地の開発が思い浮かぶ。宇都宮のベルモールを想像してみよう。大型ショッピングモールが出来上がっている。いろんな施設があり多くの若者が集まってくる。多くのお金が落ちる。この地に第二のベルモールはできないものか。JR烏山線があり、利便性も規模もベルモールより条件が良い。可能であれば何より1万人の若者に受け入れられるだろう。もっとも大切なことは高根沢町をどうアピールするかであろう。それには恰好のものではなからうか。 |
| 6 | 人口増加は交通利便性。駅、国道4号線を活用。 住みやすい街にする。市街化調整区域などの規制、農地転用などの規制。 |
| 7 | 市街化調整区域の問題。 キンピール跡地の早期解決⇒「工業用地だから」は問題解決にはならない。商業用地、住宅地に早く転化すべきでは。 |
| 8 | なぜ人口移動が増加しているか、各年代、各層などから広く意見を聞き、対策を考えるべきと思う。 |

| | |
|----|---|
| 9 | <p>働く場所の提供。 住宅地の整備・提供。 住宅環境の整備（店舗、学校、医療など）。</p> |
| 10 | <p>人口増の施策は大切なものと思います。ただ私が心配しているのは単なる人口を増やすため安易なばらまきによる施策では後年度負担が将来に大きな影響が出ることです。当然、町長や職員はそこを十分理解しているものと思いますが、成果を焦るのではなく、時間をじっくりかけてあわてず、バランスをとって政策を立案してほしいと願っています、今住んでいる住民の満足度を高めるのが最優先であるものとは私は考えます。</p> |
| 11 | <p>農振や調整区域を緩和し住宅を建設しやすく就労場所の充実をすれば多少高価な土地でも住宅は建設できるし定住すると思う。 高齢者には多くの恩恵があると思うが幼児や小児の支援が少ないため若い女性が子供を産むための障害になっているのでは。</p> |
| 12 | <p>少子高齢化、限界集落という現状と2040年には全国の自治体が50%消滅するという見通しの中で、高根沢町が4万人構想を推進するには厳しい状況であるので現状維持を基本に進める必要がある。</p> |
| 13 | <p>高根沢町だけの問題ではありません。広域な地域あるいは県、国全体が取り組んでいただきたいことです。第一に若者を取り巻く生活環境が厳しいということです。正規労働者、非正規労働者のギャップも以前はありましたが正直賃金が安すぎる。昇給を知らない現代の若者であり残業代が出る会社なら多少許せるが、今は無報酬でサービス残業当たり前。これではアフター5を友達と会うとか、夜お酒でもとか、出会いの場もありません。これでは一日一日夜寝に帰るだけの生活。夢もありません。一言、国の政策として「長時間労働を禁止」の法律を作るべきです。</p> |
| 14 | <p>やはり就労場所の確保。 子育ての支援、若者向け住宅の補助。 保育所の無料化、子育て家庭への住宅費などの補助支援。</p> |
| 15 | <p>まずは現状維持のための対策を立案し、確実に推進すべき。人口減少化の要因は把握しているわけだからその歯止めにかかる。税の軽減化、子育て支援、福祉面の強化など、他の市町村と比較して優位性をアピールできる。町づくりが他市町への流出防止になると思うし、結果として、人口増加につながるかもしれない。そのためには財源が必要で、増収対策として町内への企業誘致は喫緊の課題だと思います。</p> |

| | |
|----|---|
| 16 | 人口を増加させることで、町民が高根沢に住んで良い町だと思うのでしょうか。人口が増えればそれだけインフラの整備、また箱もの施設の建設などが増加し、さらに数十年後には整備した施設などの補修・補強が必要となり、町の運営は大変厳しくなり、町民税を増加せざるを得ない状況になり、経済的にも若者世代を増加させることなどできない状況になります。芳賀町のように町内に工場用地提供による税収入があるが、工場働く多くの社員は宇都宮市に住んでいることから、インフラなどの整備は宇都宮市で実施されている。町民一人あたりの予算も安定し「町民が住んで良かった」と思えるような施策も実施できます。人口を増加させることだけではなく、町民が日本一高根沢町に住んで良かったと思えるような施策（運営）を望みます。 |
| 17 | 子どもが生まれた場合に1人目、2人目、3人目と段階を付けて町（国からも援助を含め）から助成金を支援して人口が増加するようにしてもらいたい。 |
| 18 | 今すぐ人口増加になることではないが私たちが子供のころは各家庭では3名くらいの出生率が普通であった。現状はむずかしいが出生率2程度になるよう町だけでなく、日本全体の問題として考え、少子化と人口減少に歯止めをかける政策（援助する）を進めてほしい。 |
| 19 | アパートは多くみられるが家族が増えて、手狭になれば一軒家を考える。そのための土地、費用補助、就学に対しての利点、企業誘致を積極的に行うべきでは。就農したい若者を呼べるような企画、または土地や施設援助をしてみてもは。とにかく長く住んで暮らしたいと思えるものにしてはどうか。 |
| 20 | 定住人口の増加はホンダ技術研究所職員などが独身寮を出て、宅地を購入できるような安価な住宅地を施策として実施すべきである。 |
| 21 | 現在、町に住んでいる3万人のための施策を推進することが必要と思う。現在、居住している人がこの町に住んでいてよかったと感じるような施策を実施することが、ひいては他の町に住んでいる人を呼び込み、人口増につながると思う。そのためには良好な環境づくり（上下水道、道路づくり）子供を産み育てられる、かつ働いていける児童福祉の充実。老人の住みやすい福祉社会の充実など現時点で各市町村の課題となっている施策を地道に推進していくべきと思う（予算の不足の中で優先順位をつけて）。 |
| 22 | 雇用の創出（産業振興）⇒働く場所がないところには人は集まらない。・Uターン支援策の強化⇒転出者の地元定着化・結婚支援策の充実⇒未婚化や晩婚化・高齢者福祉の充実⇒一人暮らしの高齢者・出生向上に向けた取り組み⇒出逢いの機会づくり支援策、不妊治療費助成、子育て支援、医療給付助成。・転出者の減少に向けた取り組み⇒トップセールスをはじめとした企業誘致や工業、商業、観光などの産業振興を振興する。・交流による定住人口増加のきっかけづくり⇒競技大会など大きなスポーツ大会、音楽、美術、文化などを開催し、交流により、高根沢町をまず肌で感じてもらうきっかけづくり。 |
| 23 | 他自治体と共生していくのか、または競争していくのかによって方策を立案すべきでは。小さな自治体だけの自助努力には限界があるのでは。 |

| | |
|----|--|
| 24 | 市街化区域を拡大して、道路の整備もされてできるなら大型ショッピング店もきていただければ定住者になると思います（住宅メーカーによると駅周辺は住むのには人気があるとのことです） |
| 25 | 若者の雇用拡大が図れる場の確保が一番である。そのためにもキリンビール跡地の再利用を早急に行うべきである。 |
| 26 | まずは、町の将来像をまず明確化することが必要。それも、将来を見通した具体的な方向性も視野に入れたものでなければならない。たとえば、宇都宮市を中心としてベッドタウンとして整備していくのか、それとも、依然として農業を中心とした町づくりをしていくのかなど、方向性を明確化していくことが必要。あいまいな、あるいはどっちつかずの形では大胆な発想は出てこない。具体的対策としてはハード面、ソフト面両面からのアプローチが必要であろう。たとえば、ハード面で言うなら、住民が土地を求めやすい配慮が必要であり、市街地における空地、空き家対策であったり、市街化調整区域を転換し宅地造成を進めるなどが必要である。また、就労先の確保では、キリンビールのような現在ある優良企業が町から退去しないための道路整備などを含めた対策と誘致が必要であろう。ソフト面で言えば、子育てしやすい環境の整備だけではなく制度面での優遇措置を講じるなど高根沢に住んで良かったと思える制度施策の構築も必要である。 |
| 27 | 宇都宮市のベッドタウンと書かれているが、本当にそうなのか検証してみる必要があるのでは。自分の中では、本田、芳賀、清原に通勤する人が鬼怒川の橋の渋滞を嫌い、川を超えた場所に宅地を求めた結果、人口が増加したとの認識でいます。現在がH19年の板戸大橋（テクノ街道）の完成や宇都宮テクノポリスのゆいの杜分譲により、昔ほどの魅力がなくなったのが人口減少のきっかけとなったのではないのでしょうか。 対策：町外から転入してきた30～40代の人たちの勤務地を調べ、これら地域へのアクセスしやすい道路環境を整備する（ex.電車道拡張）。 |
| 28 | 少子高齢化が進む現状を考えると、若者はなぜ定着しないのか？高齢者の生きがいは？ ①若者に定着してもらうには、1.教育費の無料化 2.子育て支援の更なる充実 3.コミュニティ施設の充実①たとえば、コミュニティ施設に行けば老若男女が和気あいあいと話し合いができる雰囲気や製氷機などが置いてあり、レジャー等にいつでも氷などが使用できるなど備品の充実。②高齢者の生きがいは、1.団塊世代が定年退職者が増えていく中で、個人の特技を活かせる環境（シルバーセンター以外）を作る。例えば、NPOを立ちあげるとか。 |
| 29 | 住みやすくするためには、税金は安く、医療機関がある程度整って、子供に対してできるだけの支援（補助金）を考慮してほしいです。又、親がスムーズに働けるようにそういう施設も十分にあってほしいです。 |
| 30 | 人口増加に向けた対策をとるにはまず、町の財政を確保する必要があると思います。思いきった対策をとるためには金がいる。 |

| | |
|----|--|
| 31 | 人口増減を見てみると、平成26年一年間では平田、宝積寺の二地区の増、前年増減でも同地区のみ増と他地区はすべて減少傾向と大変厳しい状況。就労場所の確保、住むところとしての住宅地の開発に見直しが必要。キリンビール跡地の活用もが、他人の土地。キリンビールの意向に制約を受け続けるため、就労場所、宅地確保のためには他の地域の開発が必要。 |
|----|--|

●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 地域住民代表者会議開催時における

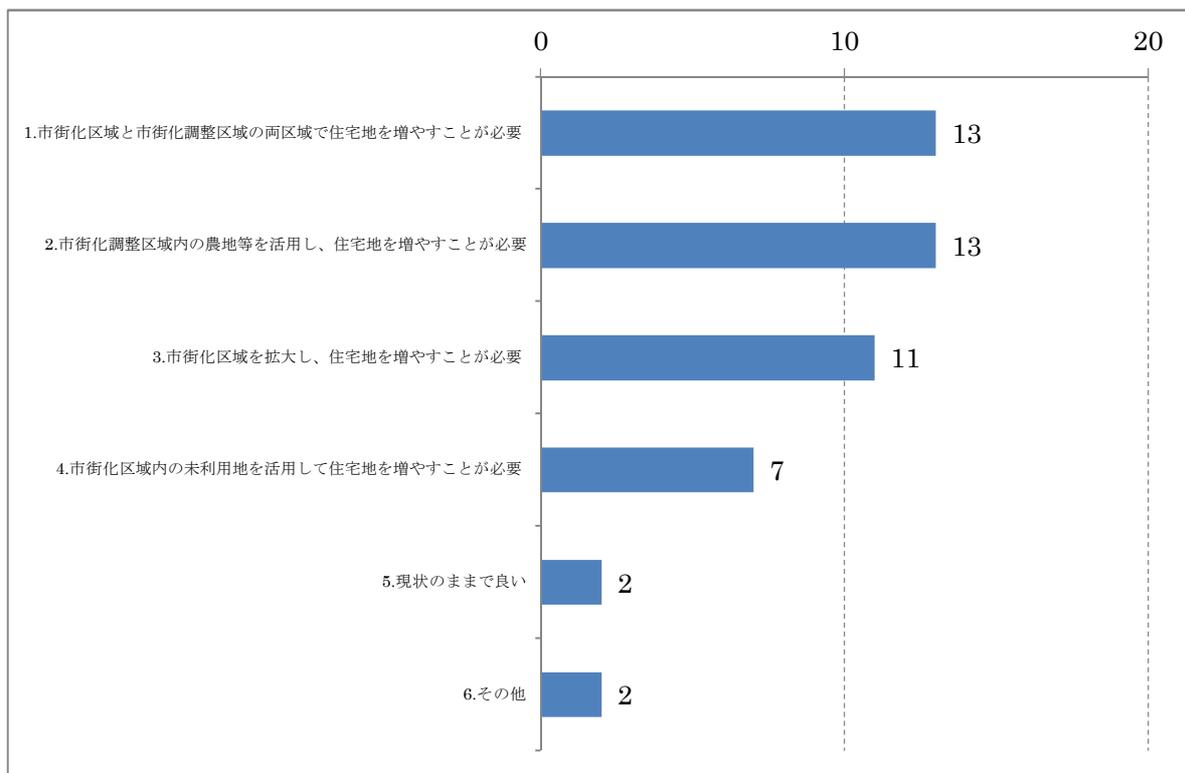
定住対策に関するご意見

- ・20代から30代の若い人を増やすということは、どうしてもインフラの整備が必要。しかしながら、10~20年後には補修が伴う。その予算をどう確保するのか、その予算を医療費無料などに充てたほうが人口増加に貢献するかもしれない。まずは税収を増やすためには町としてはどのように考えているのか。
- ・芳賀町の場合は、この町と違って税収があり、税収の割合に対して人口が少ないので、インフラ整備に要する費用が比較的少なくてすむ。旧河内町については、宇都宮のベッドタウンとして非常に多く人が住んでいて学校の整備等で財政的に厳しかったと聞いている。このような町の事例を参考にさせていただければ。
- ・人口を増やすためには、まず、高根沢の良さを知ってもらうことが必要。もう一つは、農村部にある程度地域を設けて、宅地化するというのも良いことでは。昔は、これをモザイク型にやったから問題があったので、区域を決めてやってはどうか。市街化調整区域では分家住宅以外は建てられないので、これでは、現状維持か減るしかない。医療費の無料化などは、市町村間の競争で収拾がつかなくなるおそれがあるので、御料牧場など町民のアイデンティティを活用・打ち出して人を呼び寄せることから始めたらどうか。
- ・平成18年から人口が減っていると資料に書かれているが、ここに書かれている少子・高齢化などは平成18年に始まったことではないので、他に具体的な要因があるはずなので、そこを分析するべきだと思う。
- ・人口を増やす方法として、空家の活用を進めて欲しい。
- ・少子化問題に関して、町では結婚適齢期にある独身者の把握はしているのか。また、町でやることではないかもしれないが、出会いの場を設けることで、子どもをもつ夫婦をつくるなど、何か町として対策はあるのか。

4. 町の土地利用に対するあなたの考え [問4: 1つ選択]

町の土地利用に対する考えとしては、「1 市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要 (13)」「2. 市街化調整区域内の農地等を活用し、住宅地を増やすことが必要 (13)」が同数で最も多かった。

ご意見・ご提言としては、地域住民の意見を取り入れながら、市街化調整区域の規制緩和やその後の開発計画の検討の必要性などがあげられた。



○ご意見・ご提言

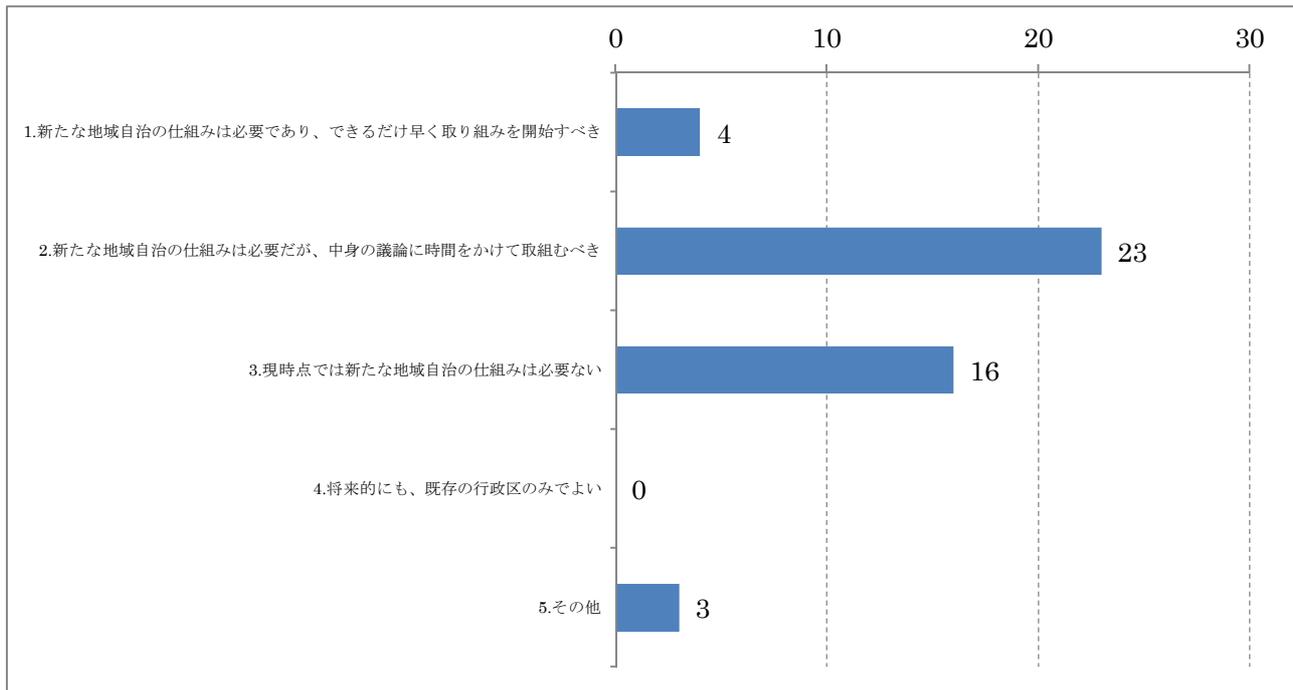
| | |
|---|---|
| 1 | 地銀と協力し、各種融資などの充実を推進する。 |
| 2 | 1. 将来にむけた都市計画に基づいて市街化区域の設定を 2. Iターン、Uターンの住まい支援・県営、町営住宅、支援体制税助成・市街化調整区域は農地取得の下限面積を下げる（もちろん対策を考えてのこと）。 3. 空き家住宅があるなら対策を。住宅以外の用途、交流施設体験宿泊施設とか農のある暮らしを求める移住者などに話題作りとしっかりした提言をできる行政。 |
| 3 | 優良かつ安価な宅地供給が条件となる。今までのような土地が高く住宅が建てにくくては増加しても意味がないように感じる。 |
| 4 | 市街化調整区域の定義は市街化を抑制すべき区域ではなかろうか。簡単ではなかろう。 |
| 5 | 土地の利用価値を高める。 |
| 6 | 旧家（空き家）の取り壊し費用の援助⇒定住者誘致（これから空き家の増加が予想される）空き家が多いと集落及び、町全体が元気なく、寂れて見え、貧相に感じられる。 まず町内道路をきれいにすること（誰もが認めるきれいさに）次は空地、空き家をなくして活気を与えること。 全町的取り組み。JA、商工業、学校 etc。 |
| 7 | 定住人口増のため、優良な宅地を安価で提供することは一見当たり前のような考え方がありますが、このため調整区域を開発することは本末転倒と私は考えます。私は従来から空き家対策を要望してきていますが、何ら施策には現れておりません。この利活用の考え方をしっかり決め次の施策として市街地の開発促進を講ずることがステップとしては当たり前のことでは無いでしょうか。いずれにせよ、私たちは行政の素人であります。行政にかかわれる方々が次々と諸施策を提案、提示していただき、素人の町民を交えた話し合いを充実していくことを最優先していただきたくお願いします。小さいながらも輝くまち 高根沢を共に創っていきたいものです。 |
| 8 | 田園住宅構想ではハードルが高く実現性が難しいので、別な法律で規制を緩めた土地利用を図るべきである。 |
| 9 | 企業の誘致、住宅地の確保、商店などの充実。 |

| | |
|----|--|
| 10 | 町主催による男女交流を図る（合コン）。結婚、出産の際、祝い金を支給（5～10万）。元気あっぴむらの利用価値を高め、集客をする（施設の充実、プール等）。 |
| 11 | 土地の有効利用で言いましたが、線引きがすべて悪いとは思いませんが規則とか規律は人のためにあるものです。ならぬものはならぬものの精神では窮屈です。いわゆる柔軟な対応ができるかという点です。何年か先、コミュニティの存在そのものが維持できなくなるのは市街化調整区域内の山間地又は農村集落と相場が決まっています。分家以外は家をたてることができないのですから、現状維持か減少以外にありません。調整区域内の安い土地に住宅を作ることができれば、現在より、より広く、より安く、住宅が得られるのではないのでしょうか。農振法、農地法、都市計画など法がありますが、これらを克服できるよう努力すべきです（法改正難しいと思いますが）。 |
| 12 | 土地を購入しやすい価格にするには市街化区域を拡大して土地を求めやすくする。 |
| 13 | 住宅地を増やすことによって安価に宅地が供給できるのであれば、項目3に賛成。 |
| 14 | 市街化調整区域は対象地区を絞ってはどうか。 人口増加とはいえ外国人居住的なのは反対。 空き家（賃貸）の利用を考えてはどうか（防犯、環境、防災対策も含めて）。 |
| 15 | 減反している土地を住宅地にすることができればよいのではないかと思います。そしてら改革していかないと良い土地利用ができないと思います。 |
| 16 | 農林業などの高齢化が進み、未利用地がこれから増えてくると思う。 市街化調整区域も住宅地に利用して安価に提供できれば、他の市や町への流動が防げるのではないかと。 |
| 17 | 人口増加を狙うなら単身者ではなく、家族世帯で定住を促進するために家を建てやすく緩和対策を取ってはどうか。 |
| 18 | 市街化区域内未利用地は土地区画整理事業がされていなくて、接道ができないなどの問題があると思う。それらを解消して住宅地の確保を図ること。市街化調整区域では後継者がいなく空き住宅が地域にもあると思うので、それらを有効利用できるような施策を講ずるべきと思う。 |
| 19 | 将来人口推計によると2050年には本町の人口が2万人前後と見込まれ、4万人にするには、新たな町を一つ作るような大規模な産業用地か住宅用地の造成を必要と考えるが、日本全体の方向としては、少子化、高齢化人口減少を見込まれ現状でも、高速インターとしての便利な工業団地で20か所も売れず、誘致に躍起になっていることを考えると非現実的と考える。現在の都市計画区域の中で効率的に誘導していくことが費用的にも現実的と考える。 |

| | |
|----|--|
| 20 | <p>法律に基づき、市街化区域を拡大し、住宅地を増やすことが必要。その場合、町が一括土地を取得し、土地造成をして町民に提供するなど、一般的な対応でなく、既成概念にとられない取り組みが必要と思われる。</p> <p>区画整理事業と合わせた住宅地の増強。区画エリアを畑や水田など取り込んで拡大し、住宅地を生み出し、安価に供給する。家を購入または新築したい人⇒候補地選定⇒一般的にまずどこに住むかを考える。①土地が安い②宅地周辺の道路が整備されている③駅まで近い④上下水道の完備⑤公共交通が発達している⑥税金が安いなどであり、以上あげた点などが満足すれば、必然的には人は定住すると思われる。</p> |
| 21 | <p>法改正。</p> <p>市町村への権限移譲。</p> |
| 22 | <p>宝積寺駅前の再開発が必要。また未利用地がまだ活用されずにたくさんあるように思う。アパート等の建築ではなく、ここが購入できるような対策が大切になる。</p> |
| 23 | <p>仮に現在の未利用地に一戸建て住宅を建て、世帯人数3名で定住した場合、市街化区域の人口はどのくらいになるのか試算してはどうか。市街化区域内の未利用地の地権者へ住宅建築促進のアンケートを送付し、促進同意を得た地権者に土地利用してもらい、一戸建て新築住宅で入居した場合、地権者と関係業者（ハウスメーカー、住宅建築業者、不動産業者等）へ町から補助金を出すとか、固定資産税を何年か軽減したらどうか。</p> |
| 24 | <p>土地の問題で言えば、必要なのは「安価な宅地の供給」に尽きる。若い人たちが購入するためには少しでも安いことが必要だと考える。</p> |
| 25 | <p>烏山バイパス沿いの宅地（光陽台、宝石台）と宝積寺駅との間が離れており、JR駅があるという優位性を街づくりに生かせていない。駅とバイパス沿いの宅地との間に新たな宅地を開発する必要がある。</p> |
| 26 | <p>未利用地にはなるべく建物がすぐ出来るよう、お願いしたい（何年もかかることが多い）。大会社を増やし、地元優先で雇用確保できるようにお願いしたいです。</p> |
| 27 | <p>東部地区の開発。調整区域の見直し。</p> |
| 28 | <p>市街化調整区域での土地開発が農地法の制限を受け、就労場所、住宅地等開発が大変困難、都市計画により線引きをする中で、市街化調整区域の制限を取り払う必要性を感じています。</p> |

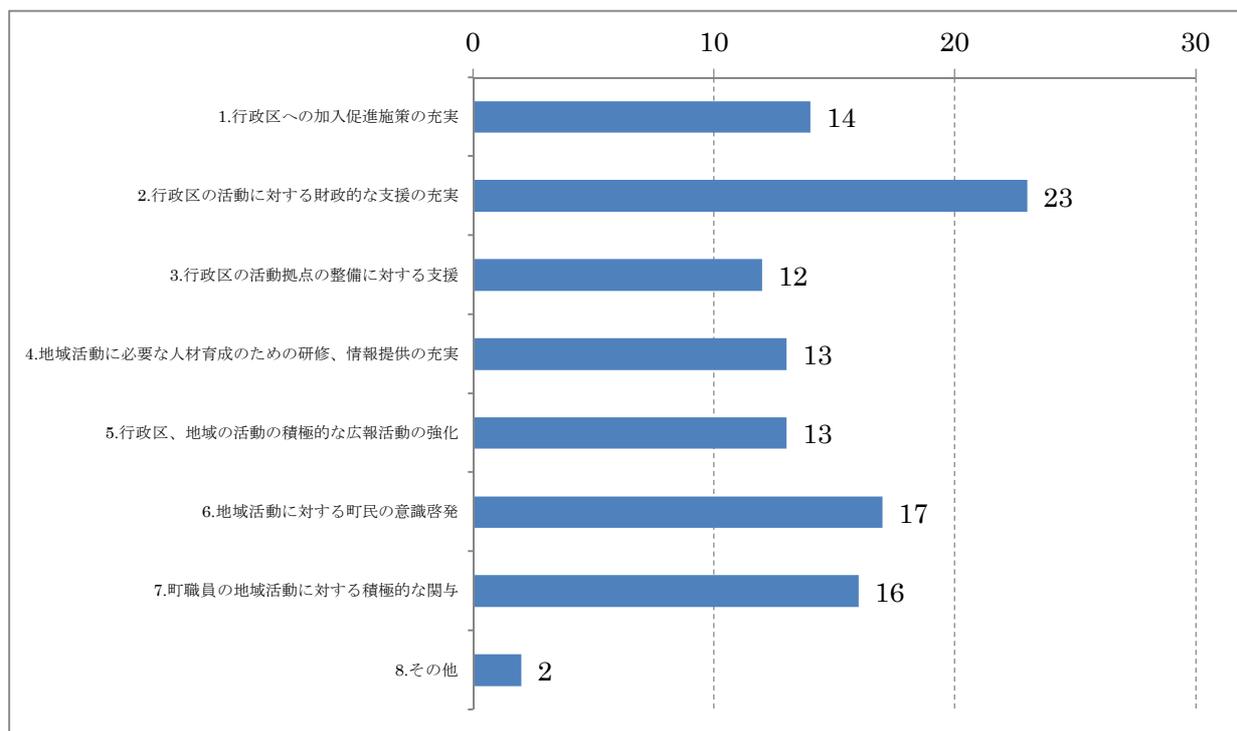
5-1. 新たな自治の仕組みについて [問 5 (1) : 1つ選択]

町の新たな自治の仕組みとして、回答者が最も多くあげたのが、「2. 新たな地域自治の仕組みは必要だが、中身の議論に時間をかけて取組むべき (23)」となっている。次いで、「3. 現時点では新たな地域自治の仕組みは必要ない (16)」で、回答事業者は性急な取組みよりも、じっくりと議論を重ね、取組みを検討することを希望している。



5-2. 地域コミュニティ（行政区）を維持・発展させる取組みについて [問5(2):3つまで選択可能]

将来に向けて事業を継続・発展させていくために必要な取組として、回答者が最も多くあげたのが、「2. 行政区の活動に対する財政的な支援の充実 (23)」となっている。次いで、「6. 地域活動に対する町民の意識啓発 (17)」「7. 町職員の地域活動に対する積極的な関与 (16)」で、財政面、人材面の強化が求められている。



●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 地域住民代表者会議開催時における

本調査全体に関するご意見

- 区長や経済関係者、農業関係者にアンケートを実施するとのことだが、長期間に渡る計画を作るのだから、我々大人の現実的な意見とこれからを担う中学生などの将来性のある意見を聴いたらどうか。
- 4万人に人口を増やすメリットについて教えていただきたい

6. 小学校区別クロス集計

地域代表者の回答に関しては、小学校区を、①阿久津・西小学校区と、②北、中央、東、上高根沢小学校区の二地域に大別してクロス集計を行った。

1. 町の強み（他市町と比較して優れている点）〔問1：3つまで選択可能〕

| | 回答者数 | | 回答者数 | |
|-------------------------|------------|------------------|------------|------------------|
| | 11 | | 24 | |
| | 回答数 | | 回答数/回答者数 | |
| | 阿久津・西小学校区計 | 北、中央、東、上高根沢小学校区計 | 阿久津・西小学校区計 | 北、中央、東、上高根沢小学校区計 |
| 1.東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い | 6 | 14 | 54.5% | 58.3% |
| 2.鉄道や道路など交通の利便性が高い | 8 | 10 | 72.7% | 41.7% |
| 3.就労場所が豊富、近い | 3 | 0 | 27.3% | 0.0% |
| 4.計画的な土地利用により暮らしやすい | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 5.土地が安く住宅が建てやすい | 0 | 2 | 0.0% | 8.3% |
| 6.子育て環境、支援施策、施設が充実している | 0 | 1 | 0.0% | 4.2% |
| 7.教育環境、支援施策、施設が充実している | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 8.医療福祉施設、医療福祉施策が充実している | 0 | 1 | 0.0% | 4.2% |
| 9.高齢者福祉施設、支援施策が充実している | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 10.身近な場所での買い物の利便性が高い | 2 | 2 | 18.2% | 8.3% |
| 11.上下水道、道路など居住環境が充実している | 0 | 1 | 0.0% | 4.2% |
| 12.防災、防犯施策によって安心して暮らせる | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 13.豊かな田園風景など自然環境に恵まれている | 6 | 19 | 54.5% | 79.2% |
| 14.地域のつながりが強い | 2 | 1 | 18.2% | 4.2% |
| 15.若者が増加、いきいきしている | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 16.高齢者の活躍の場が多い | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| | 27 | 51 | | |

2. 町の弱み（他市町と比較して劣っている点） [問2：3つまで選択可能]

| | | | 回答者数 | 回答者数 |
|--------------------------|------------|------------------|------------|------------------|
| | | | 11 | 24 |
| | 回答数 | 回答数 | 回答数/回答者数 | 回答数/回答者数 |
| | 阿久津・西小学校区計 | 北、中央、東、上高根沢小学校区計 | 阿久津・西小学校区計 | 北、中央、東、上高根沢小学校区計 |
| 1.東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 2.鉄道や道路など交通の利便性が低い | 0 | 1 | 0.0% | 4.2% |
| 3.就労場所が少ない、遠い | 6 | 14 | 54.5% | 58.3% |
| 4.土地利用の制約が多く暮らしにくい | 2 | 13 | 18.2% | 54.2% |
| 5.土地が高く住宅が建てにくい | 2 | 6 | 18.2% | 25.0% |
| 6.子育て環境、支援施策、施設が充実していない | 0 | 3 | 0.0% | 12.5% |
| 7.教育環境、支援施策、施設が充実していない | 0 | 3 | 0.0% | 12.5% |
| 8.医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない | 0 | 1 | 0.0% | 4.2% |
| 9.高齢者福祉施設、支援施策が充実していない | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 10.身近な場所での買い物の利便性が低い | 3 | 6 | 27.3% | 25.0% |
| 11.上下水道、道路など居住環境が充実していない | 7 | 2 | 63.6% | 8.3% |
| 12.防災、防犯面で不安を感じる | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 13.自然環境に恵まれていない | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 14.地域のつながりが弱い | 2 | 1 | 18.2% | 4.2% |
| 15.若者が減少、活力がない | 2 | 10 | 18.2% | 41.7% |
| 16.高齢者の活躍の場が少ない | 0 | 2 | 0.0% | 8.3% |

3. 定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え [問3：1つ選択]

| | | | 回答者数 | 回答者数 |
|----------------------|------------|------------------|------------|------------------|
| | | | 11 | 24 |
| | 回答数 | 回答数 | 回答数/回答者数 | 回答数/回答者数 |
| | 阿久津・西小学校区計 | 北、中央、東、上高根沢小学校区計 | 阿久津・西小学校区計 | 北、中央、東、上高根沢小学校区計 |
| 1.定住人口増加に向けた対策を進めるべき | 10 | 19 | 90.9% | 79.2% |
| 2.現状維持のための対策を進めるべき | 1 | 4 | 9.1% | 16.7% |
| 3.積極的な対策は必要ない | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% |

4. 町の土地利用に対するあなたの考え [問4：1つ選択]

| | | | 回答者数 | 回答者数 |
|----------------------------------|------------|------------------|------------|------------------|
| | | | 11 | 24 |
| | 回答数 | 回答数 | 回答数/回答者数 | 回答数/回答者数 |
| | 阿久津・西小学校区計 | 北、中央、東、上高根沢小学校区計 | 阿久津・西小学校区計 | 北、中央、東、上高根沢小学校区計 |
| 1.市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要 | 1 | 8 | 9.1% | 33.3% |
| 2.市街化調整区域内の農地等を活用し、住宅地を増やすことが必要 | 2 | 7 | 18.2% | 29.2% |
| 3.市街化区域を拡大し、住宅地を増やすことが必要 | 5 | 4 | 45.5% | 16.7% |
| 4.市街化区域内の未利用地を活用して住宅地を増やすことが必要 | 4 | 2 | 36.4% | 8.3% |
| 5.現状のままで良い | 0 | 1 | 0.0% | 4.2% |
| 6.その他 | 1 | 1 | 9.1% | 4.2% |

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る 地域住民代表者アンケート調査

高根沢町では、人口減少対策に取り組むため、「高根沢町定住人口増加プロジェクト～定住人口4万人を目指して～」を策定し、人口減少対策に関する施策の立案を行うこととしております。

今回、地域住民の代表者である区長の皆様が、高根沢町の魅力等についてどのようにお考えになられているか（トレンド）を把握させていただくとともに区長の皆様から定住人口増加を図るためのご意見・ご提言を頂戴し、今後の町における定住人口増加施策立案の基礎資料とするため、アンケート調査及びインタビュー調査を行うことといたしました。

ご多忙中とは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただけますようお願いいたします。

平成26年7月

高根沢町長 加藤 公博

◎調査について

- ・本調査は、内閣府 平成26年度 特定地域再生事業費補助金事業の一環として実施いたします。
- ・個人情報の取り扱いについては、個人情報保護に関する関係法令を遵守いたします。
- ・調査結果は、『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定作業のみに使用し、調査目的以外には利用いたしません。

◎提出期限 平成26年8月4日（月）※第2回会議開催時にご提出ください。

◎問い合わせ先 高根沢町夢咲くまちづくり推進課4万人構想推進係 TEL675-8113

問1. 町では、定住人口を増加させるために、高根沢町の「強み」（他市町と比較して優れている点）を伸ばしていく必要があると考えています。

そこで、あなたが考える高根沢町の「強み」を次のうちからお選びください。

（当てはまるもの3つ以内に○）

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い | 2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い |
| 3. 就労場所が豊富、近い | 4. 計画的な土地利用により暮らしやすい |
| 5. 土地が安く住宅が建てやすい | 6. 子育て環境、支援施策、施設が充実している |
| 7. 教育環境、支援施策、施設が充実している | 8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実している |
| 9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実している | 10. 身近な場所での買い物の利便性が高い |
| 11. 上下水道、道路など居住環境が充実している | 12. 防災、防犯施策によって安心して暮らせる |
| 13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている | 14. 地域のつながりが強い |
| 15. 若者が増加、いきいきしている | 16. 高齢者の活躍の場が多い |

○ 問1で選んでいただいた項目について、具体的な例示等があれば、その内容をご記入ください。

（記載例）

「2. 鉄道や道路など交通の便が良い」を選んだ場合

電車を利用した場合、宝積寺駅から宇都宮駅まで10分程度で行くことができる。

（1）

（2）

（3）

○ 問1の選択肢以外でお気づきの点があればご記入ください。

問2. 町では、定住人口を増加させるために、高根沢町の「弱み」（他市町と比較して劣っている点）を克服していく必要があると考えています。

そこで、あなたが考える高根沢町の「弱み」を次のうちからお選びください。

（当てはまるもの3つ以内に○）

| | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い | 2. 鉄道や道路など交通の利便性が低い |
| 3. 就労場所が少ない、遠い | 4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい |
| 5. 土地が高く住宅が建てにくい | 6. 子育て環境、支援施策、施設が充実していない |
| 7. 教育環境、支援施策、施設が充実していない | 8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない |
| 9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実していない | 10. 身近な場所での買い物の利便性が低い |
| 11. 上下水道、道路など居住環境が充実していない | 12. 防災、防犯面で不安を感じる |
| 13. 自然環境に恵まれていない | 14. 地域のつながりが弱い |
| 15. 若者が減少、活力がない | 16. 高齢者の活躍の場が少ない |

○ 問2で選んでいただいた項目について、具体的な例示等があれば、その内容をご記入ください。

| |
|---|
| <p>（記載例）</p> <p>「4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい」を選んだ場合</p> <p>市街化調整区域では、都市計画法の制限等により新たな住宅の建設が困難であるため、人口減少が進んでいる。</p> |
| <p>（1）</p> |
| <p>（2）</p> |
| <p>（3）</p> |

○ 問2の選択肢以外でお気づきの点があればご記入ください。

| |
|--|
| |
|--|

問4. 定住人口の増加を図るためには、優良かつ安価な宅地の供給が必要になると考えられます。

そこで、町の土地利用に対するあなたの考えを次のうちからお選びください。

(当てはまるもの1つに〇)

1. 地域コミュニティの維持・再生を図るためには、市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要
2. 地域コミュニティの維持・再生を図るためには、市街化調整区域内の農地等を活用し、住宅地を増やすことが必要
3. 市街化区域を拡大し、住宅地を増やすことが必要
4. 市街化区域内の未利用地を活用して住宅地を増やすことが必要
5. 現状のままで良い
6. その他 ()

○定住人口の増加に向けた土地利用に関するご意見・ご提言をご記入ください。

問5. 町では、定住人口増加施策（少子・高齢化対策、防災対策等）の効果的な展開を図る観点から、既存の行政区を核として、各行政区が小学校区を単位とした緩やかな連携をする新たな自治の仕組みが必要だと考えています。

そこで、次の2つの質問にお答えください。

(1) 新たな地域自治の仕組みについてのあなたの考えを次のうちからお選びください。

(当てはまるもの1つに○)

1. 新たな地域自治の仕組みは必要であり、できるだけ早く取組みを開始すべき
2. 新たな地域自治の仕組みは必要だが、中身の議論に時間をかけて取組むべき
3. 現時点では、新たな地域自治の仕組みは必要ない
4. 将来的にも、既存の行政区のみでよい
5. その他 ()

(2) 地域住民代表者として、新たな地域自治の仕組み以外で、地域コミュニティ（行政区）を維持・発展させるための取組みとして、重要だと考えるものを次のうちからお選びください。

(当てはまるもの3つ以内に○)

1. 行政区への加入促進施策の充実
2. 行政区の活動に対する財政的な支援の充実
3. 行政区の活動拠点（集会施設等）の整備に対する支援
4. 地域活動に必要な人材育成のための研修、情報提供の充実
5. 行政区、地域の活動の積極的な広報活動の強化
6. 地域活動に対する町民の意識啓発
7. 町職員の地域活動に対する積極的な関与
8. その他 ()

ご担当の行政区及びご氏名

※差し障りのない範囲でご記入ください。

後日、アンケートの回答内容について確認をさせていただきます場合等に使用させていただきます。

第 _____ 区

ご氏名 _____

お住まいの学区

1. 阿久津小学校区 2. 西小学校区 3. 中央小学校区
4. 北小学校区 5. 東小学校区 6. 上高根沢小学校区

～ ご協力ありがとうございました ～

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る

農業者代表アンケート調査結果

実施期間：2014年8月4日～8月15日

対象者：農業代表者 15名

回答数：15名（回答率：100%）

目次

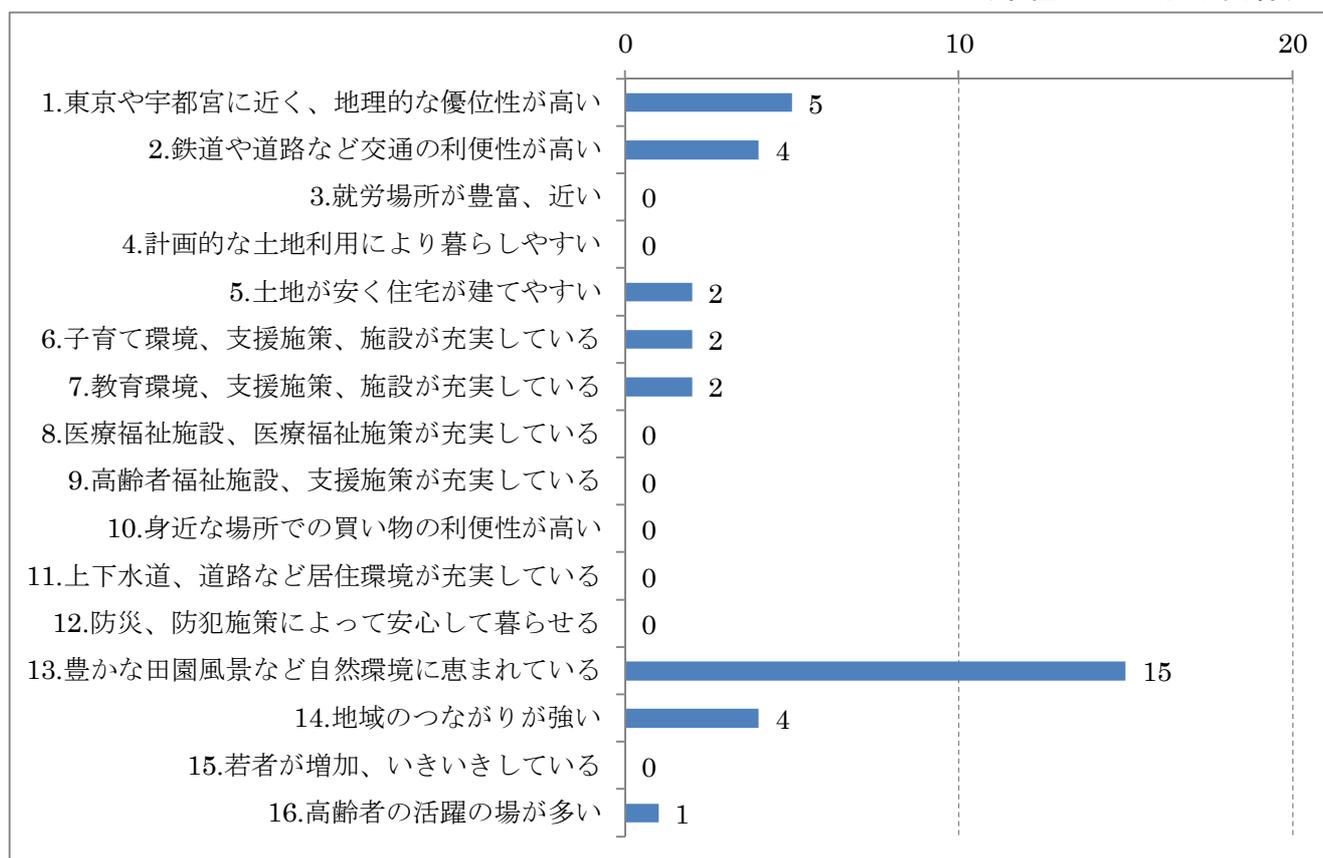
| | |
|---|-----|
| 1.町の強み（他市町と比較して優れている点）・・・・・・・・・・ | 232 |
| 2.町の弱み（他市町と比較して劣っている点）・・・・・・・・・・ | 235 |
| 3.定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え・ | 238 |
| 4.町の土地利用に対するあなたの考え・・・・・・・・・・ | 241 |
| 5-1.高根沢町の農業の将来展望・・・・・・・・・・ | 243 |
| 5-2 将来に向けて高根沢町の農業経営を安定的に維持・発展 させていくための必要な取組み・・・・・・・・・・ | 244 |
| アンケート調査票・・・・・・・・・・ | 246 |

1. 町の強み（他市町と比較して優れている点）〔問1：3つまで選択可能〕

町の強みとして、回答者が最も多くあげたのが、「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている (15)」となっている。次いで、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (5)」「2. 鉄道や道路など交通利便性が高い (4)」「14. 地域のつながりが強い (4)」で、自然、立地条件、及び地域コミュニティに関する評価が高い。特に、選択肢13は回答者全員が選択している。

選択肢13の選択理由としては、田園風景の美しさなどが多く、そのほか騒音のない静かな環境が担保されていること、選択肢1の選択理由としては、東京や宇都宮までの交通アクセスの良さ、選択肢14の選択理由としては、熱心な自治会組織による伝統行事の保存があげられた。

(単位：人 以下同様)



○その理由 [問 1.自由回答]

| No | 選択肢 1 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高いを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 烏山線の起点でもあり、他町にはない交通利便性がある。 |
| 2 | 地理的優位性は高いと考えられるがさらなる車利用による鬼怒川橋の混雑解消や電車による駅周辺の駐車場計画整備の充実を図る必要性もある。 |
| 3 | 自動車や電車を利用すれば、宇都宮は20分以内、東京へも1～2時間程度で行ける。 |
| 4 | 新幹線を利用して約1時間で東京まで行ける。 |

| No | 選択肢 2 鉄道や道路など交通の利便性が高いを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 中央部分の田園地帯は東日本大震災においても被害が少なく、災害に強い場所であるこの点もアピールすべきだと思う。 |
| 2 | 宝積寺、下野花岡、仁井田各駅から鉄道を利用させることにより、また駅まで自転車を利用することで環境に貢献することができる。 |

| No | 選択肢 5 土地が安く住宅が建てやすいを選んだ理由 |
|----|---------------------------|
| 1 | 宇都宮に比べて安い。 |

| No | 選択肢 6 子育て環境、支援施策、施設が充実しているを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 待機児童0を実現させ子育て環境については充実を図っているが働く時間の多様性などにより調整のむずかしさや費用の負担の軽減などもさらに進める必要性を感じる。 |
| 2 | カーボンニュートラルで環境に貢献できる。 |

| No | 選択肢 7 教育環境、支援施策、施設が充実しているを選んだ理由 |
|----|---------------------------------|
| 1 | 学童保育の利用で、長時間労働ができる。 |

| No | 選択肢 13 豊かな田園風景など自然環境に恵まれているを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 区画が整った中央部と鬼怒川東の水田地帯と東と西に台地があり、町全体での公園化構想を進め、核となる元気あっぴむらは周辺の山林も自然が十分あり活用が望まれるところである。発信不足である。 |

| No | 選択肢 13 豊かな田園風景など自然環境に恵まれているを選んだ理由（前頁続き） |
|----|--|
| 2 | 水田を中心として、四季を感じることができる。春の水田、春風で麦のウェーブ、秋の稲穂の波などは田舎の宝物である。 |
| 3 | 蛭が育つ川をもっている。 |
| 4 | 豊かな自然の中で子育てができる |
| 5 | 豊かな田園風景、自然環境に恵まれている。現段階では団塊の世代の農家の人が多いため、農地の手入れが行き届き、耕作放棄地などが無いので。 |
| 6 | 私は東部地区に住んでいます。周りは田んぼや山に囲まれ、騒音などない充実した生活をしています。 |
| 7 | 季節の移り変わりを感ぜられる。 |
| 8 | 稲の緑と麦の金色に染まる時期が高台から見るときれいです。 |

| No | 選択肢 14 地域のつながりが強いを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 自治会がしっかり組織されており、また、各集落での行事や集まりも多くある。 |
| 2 | 隣、近所、地域、人情味があふれている。 |
| 3 | どんど焼きや梵天など、地域ならではの祭りが盛んである。 |
| 4 | 地域のつながりが強い。農村部ではいまだに「遠くの親戚より近くの他人」というように近所関係を大事にしている。しかし・・・。 |

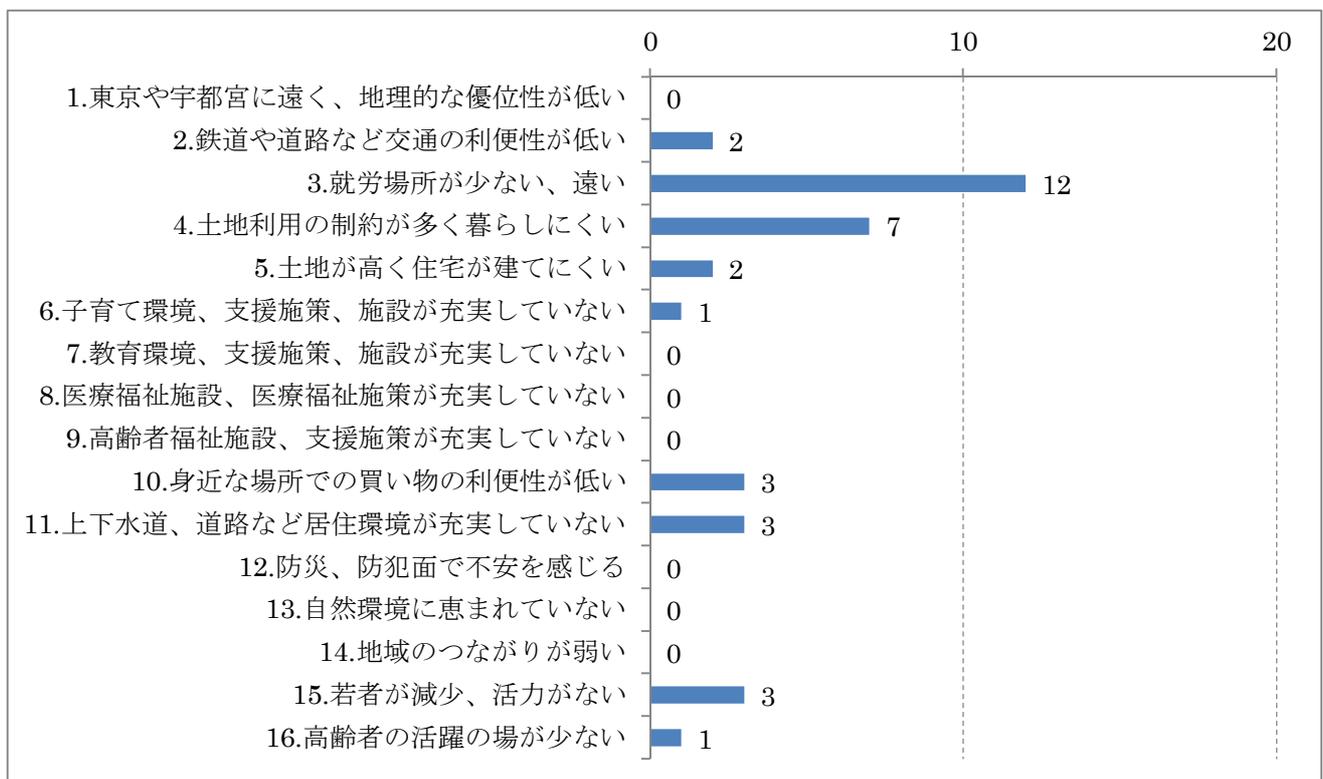
○お気づきの点

| | |
|---|--|
| 1 | 元気あっぴむらが中心より離れすぎているために何か良い案があれば考えてみては。 |
| 2 | 広い土地があるので有効活用しやすいのでは。 |

2. 町の弱み（他市町と比較して劣っている点） [問2：3つまで選択可能]

町の弱みとして、回答者が最も多くあげたのが、「3. 就労場所が少ない、遠い (12)」となっている。次いで、「4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい (7)」「10. 身近な場所での買い物の利便性が低い (3)」「11. 上下水道、道路など居住環境が充実していない (3)」「15. 若者が減少、活力がない (3)」で、就労環境、住宅環境、生活インフラなどに関する評価が低い。

選択肢3の選択理由としては、キリンビール撤退など雇用を多く生む大企業などがいないこと、雇用を生み出す施策がないことなど、選択肢4の選択理由としては、無秩序な開発は避けるべきとしながらも、開発制約により、地域内で開発状況に違いがある、選択肢11の選択理由としては、一部地域の下水道の普及率の低さ、農道の未舗装など、選択肢15の選択理由としては、青年団活動があまり活発ではないなどの意見があげられた。



○その理由 [問 2.自由回答]

| No | 選択肢 2 鉄道や道路など交通の利便性が低いを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 子どもが塾や高校に通う際交通の便が悪く、親の送り迎えが必要になってしまふ。親が病院がよになると便が悪く、送り迎えで時間が取られるなど、不便さが生活面で、場所によっては考えられ高根沢に住みたがらない。 |
| 2 | 駅まで遠く、バスもないので、通勤、通学も不便。 |

| No | 選択肢 3 就労場所が少ない、遠いを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | キリンビールの撤退によって働く場所や町のシンボルがなくなってしまった。 |
| 2 | 農地資源は豊かでありながら雇用を生み出すような施策もない。 |
| 3 | 大企業がなく、JA、役場、銀行などに就職が集中してしまう。 |
| 4 | 企業の誘致。 |
| 5 | キリンビールの撤退で、就労の場が少なくなった。 |
| 6 | 就労場所が少ない、遠い。就労人口に対して就労場所が少ない。生産性、雇用のないところに人は住まない。 |
| 7 | 工場等が多いが、人を雇える所が少ない。 |
| 8 | 働く場所がなければ人口は減少してしまうと思う。 |
| 9 | 通勤時間を短縮するため人口減少になる。 |

| No | 選択肢 4 土地利用の制約が多く暮らしにくいを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 無秩序な開発は慎むべきであるが、優良企業の進出やサービス業のような人材の雇用に結び付く施設の必要性はあると思う。また過疎化する学校周辺への住宅建設などもぜひ推進すべきと思う。 |
| 2 | 子どもが同じ家の敷地内に家を建てる時に制約があるためなかなか建てづらい。 |
| 3 | 市街化区域と調整区域の線引きが厳しい。 |
| 4 | 土地利用の規制が場合によっては地域と市街地との格差を一層広げている。水田は規制は必要だが、東部畑地帯では一部作物を除いて、放置状態であり、今後ますます放棄地が多くなると思う。 |

| No | 選択肢 5 土地が高く住宅が建てにくいを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | バブル時代にできた住宅地では地価が高く、充足率が満たないので周辺への開発ができないのであれば、人口増加を望んでも、他町の地価の安いところへ移動してしまい、現在の住人も家を持つときには出て行ってしまわないか。 |
| 2 | さくら市に流出している。 |

| No | 選択肢 6 子育て環境、支援施策、施設が充実していないを選んだ理由 |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 身近な場所に遊べる施設（公園など）が少ない。 |

| No | 選択肢 11 上下水道、道路など居住環境が充実していないを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 旧市街地は道路なども狭く、下水道もなく苦労していると聞いている。イメージとして、定着してしまうと市街地全体がと誤解されかねないので、全町水道カバー率や下水道の普及率についてもさらに進めるべきと思う。 |
| 2 | 国、県道以外はいまだに砂利道の所がある。 |

| No | 選択肢 15 若者が減少、活力がないを選んだ理由 |
|----|--------------------------|
| 1 | 青年団活動が盛んに行われているとは思えない。 |

| No | 選択肢 16 高齢者の活躍の場が少ないを選んだ理由 |
|----|---------------------------|
| 1 | 定年退職後の再就職できる職場がない。 |

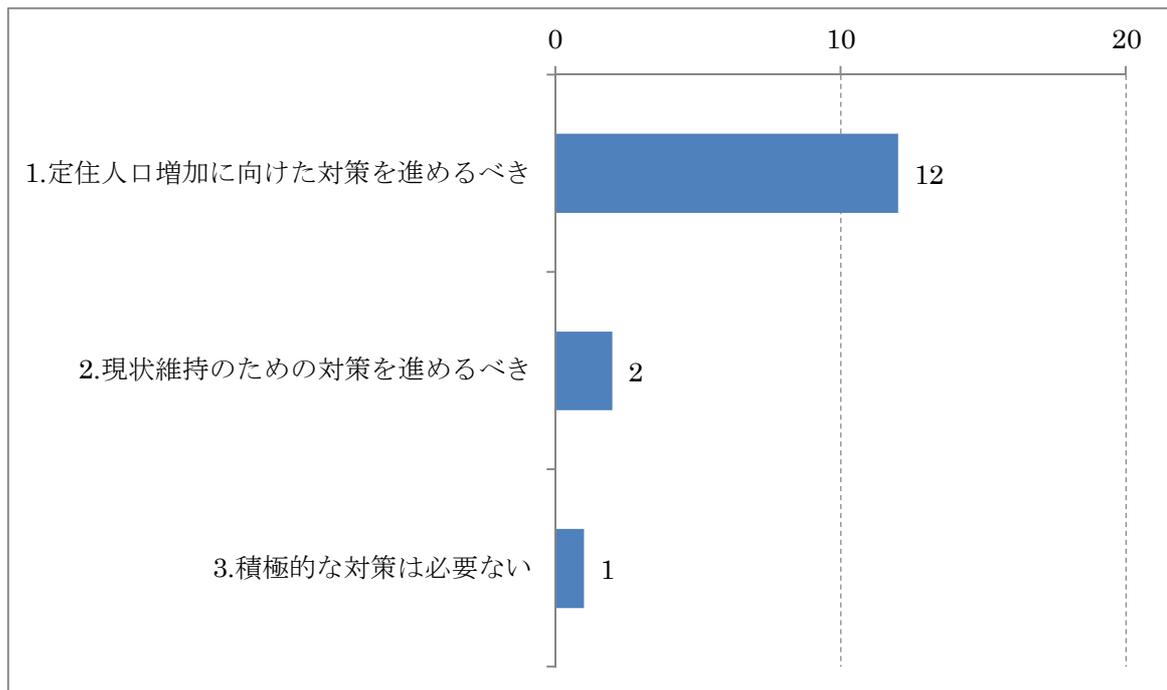
○お気づきの点

| | |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 農林水産省の補助の活用の仕方を考えては。 |
| 2 | 大企業がもっと高根沢の土地を利用してくれれば、活気ができるのでは。 |
| 3 | ショッピングモール（一カ所で何でも買える場所がない）。おしゃれ感がない。 |

3. 定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え [問3：1つ選択]

定住人口増加対策における町の方針に対する考えとしては、「定住人口増加に向けた対策を進めるべき（12）」が大半を占めた。

ご意見・ご提言としては、企業誘致を含む就労環境向上、町内の交通アクセスの向上（オンデマンド交通活用）、規制緩和による安価な宅地取得、子育て支援などがあげられた。



〇ご意見・ご提言

| | |
|---|--|
| 1 | 賃貸住宅（アパート・マンション）などが相続対策により必要以上に乱立し、その経営者も住む人も種々迷ってしまっています。若い人も職場（たとえば本田技研様）などの配置転換などで移転しているのが現状です。幸いに地価が低価格になっているため、このチャンスを生かし住宅を建てる人に補給を考えてみては。 |
| 2 | 麒麟ビール跡地への企業の誘致。 花岡駅前の開発（農地としてかなり苦労して現在利用している）。 |
| 3 | 定住人口については持ち家の住民の増加や自治会加入の充実等が図られなければ町に対する愛着や地域の発展に寄与していく住民にはなってもらえないと考える。 また仕事場が町外で泊まりに帰るだけというのではなかなか町とのかかわりができにくいと思うので一考する必要性があると感じる。 |
| 4 | 人口減少傾向は高根沢町だけの現象ではない。 |
| 5 | 企業誘致で労働する場を作り、土地利用の制約を緩めることで、安価な宅地を取得しやすくなることで定住人口が増す。さらにそれによってショッピングモールなどもでき、住みやすくなり、さらに定着者が増えていくのではないでしょう。 |
| 6 | まずは何をしてももっと交通の便が良くならなくてはと思う。年配の方も若者も自分の力で生活しやすくしなくては、田舎のほうに限って、タクシーを使う意識が薄く、デマンドの活用が薄い。デマンドを始めたときに、タクシー代わりに使ってはダメですと言われたことも響いているのかもしれない（すぐに変えたようですが）何もかも車を運転できる家族にのしかかってきてはいかかなものかと。 |
| 7 | 企業を誘致して就労の場所を増やす。 学校の周辺の調整区域を外す。 |
| 8 | 国全体の人口が減っている中でこれといって魅力的でもない高根沢町が人口増加するとは思えないので、まずは現状維持のための対策を進めるべきと思う。減っていかない状況であれば増える可能性があると思う。まず人口が増加するには近隣の住民が入ってくるか、外国人が入っていく以外には急に人口増加には至らない。 |
| 9 | 子育て支援の充実。 小学生まで医療の無償化。 |

| | |
|----|---|
| 10 | <p>定住人口増加の必要はないというわけではないが、全体的に人口が減少している中で、まずは現状維持の対策をしたほうが良いのではないかと思う。現状維持というのも困難なことだとは思いますが、それがゆくゆくは人口増加へとつながるのではないかと思う。</p> <p>「いってらっしゃい」と見送った子供が、笑顔で「ただいま」と帰ってくる当たり前の日常が危険に冒されることのないような環境づくりも必要だと思う。</p> |
| 11 | <p>結婚をしていない人が多く、出会いの場（婚活パーティ）を設ける。</p> <p>子どもの医療費、給食費（3人目からは無料）の優遇。</p> |
| 12 | <p>人口減少はすべての市町村で言えることだが、一番重要なことはそこに働く場があることが大きな要素の一つであると思う。町内に雇用の場があれば、人の交流もあり、若者が町内に残る確率も高くなるのでは。</p> <p>市街地も町施設も西部地区に集中し、東部地区には利用施設がほとんどなく、地域によっては商店すらない現状であり、買い物なども他町のほうが近く、町内店を利用することは少ない。当然若い者も地域に残る可能性は少ない。</p> |

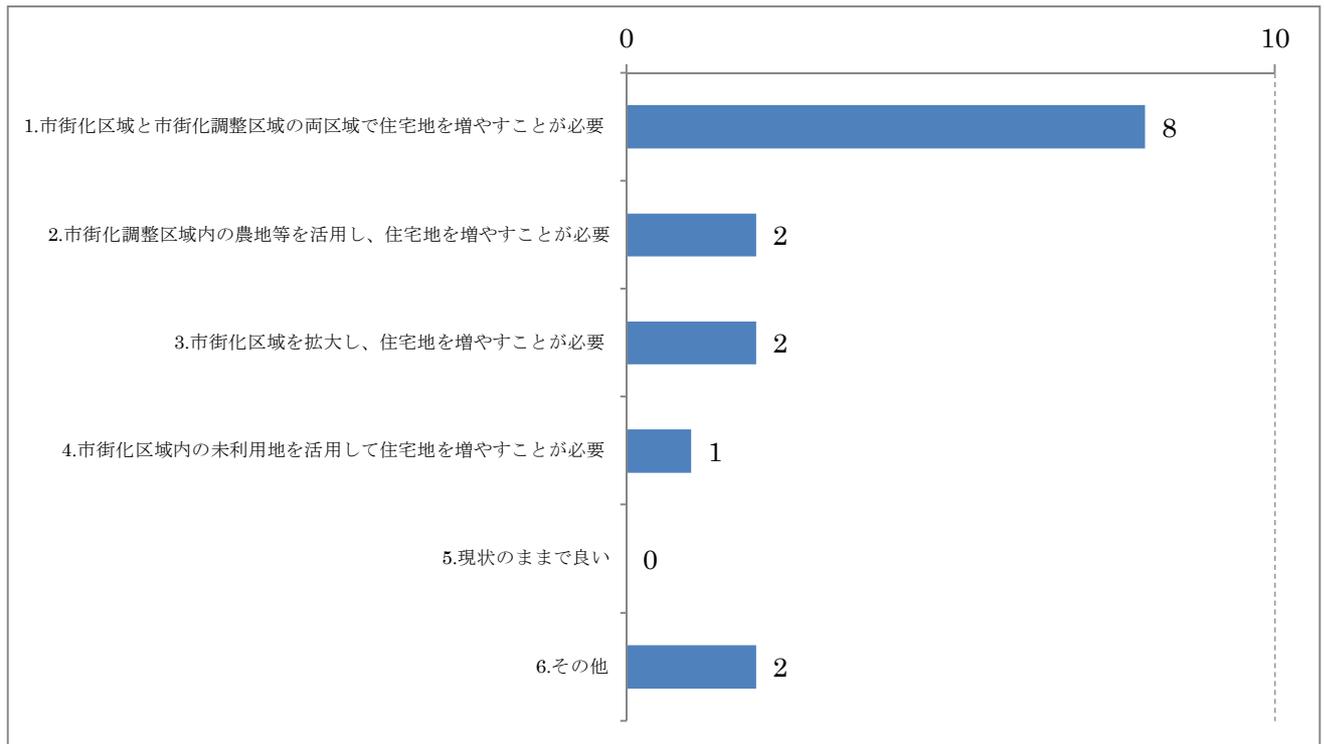
●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 農業代表者会議開催時における定住対策に関するご意見

- ・やはり働く場所の確保が大事である。
- ・海外移転をする企業に対して税負担を大きくするなど国としても何らかの対策を検討してほしい。
- ・町としては、優良企業誘致のため、10年間法人町民税を免除するなどの対策の検討が必要なのではないか。
- ・定住人口増加を目指す際に、子どもや若い年齢層を増やすことを目的とするが、若い年齢層もいずれは年を取る。したがって、高齢者になった時に住みやすい町であることが重要であると思う。例えば、高齢者の労働環境が整っているなど。
- ・今、すでに町内に住んでいる人たちにとって、出会いがなく結婚できないという人がいると思う。そのような人たちを対象とした支援制度はないのか。←（町：JA や町でも同支援の実績あり）
- ・以前は青年団同士で結婚した人が多くいたが、活動がなくなってしまった。今は職場での出会いが多いので、相手が町外であれば出て行ってしまう。青年団活動が古いのであれば、高根沢独自のネーミングを考えて取組んではどうか。
- ・農家は勤め人ではないので、職場で出会う機会はない。
- ・視察で訪れた長野県川上村は人口5千人程度を維持している。農家1戸当たりの平均年収が2500万円くらいあり、耕作放棄地も離農者もいない。農業は春から10月末まで、冬はスキーのインストラクターなど観光業についている。嫁不足に関しては、農家の息子は一度東京などに出て、結婚して、農家を継ぐため長野に戻ってくる人が大半であるため、その問題はないとのことであった。
- ・若者は都会の住みにくさ、田舎の住みやすさを両方知っているなので、仕事があれば田舎に戻ってくる。

4. 町の土地利用に対するあなたの考え [問4: 1つ選択]

町の土地利用に対する考えとしては、「1 市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要 (8)」が最も多かった。

ご意見・ご提言としては、宅地増強は大事としながらも、近隣との価格のバランスや農地との切り離し（住宅地での農作業トラブルを避けるため）などがあげられた。



〇ご意見・ご提言

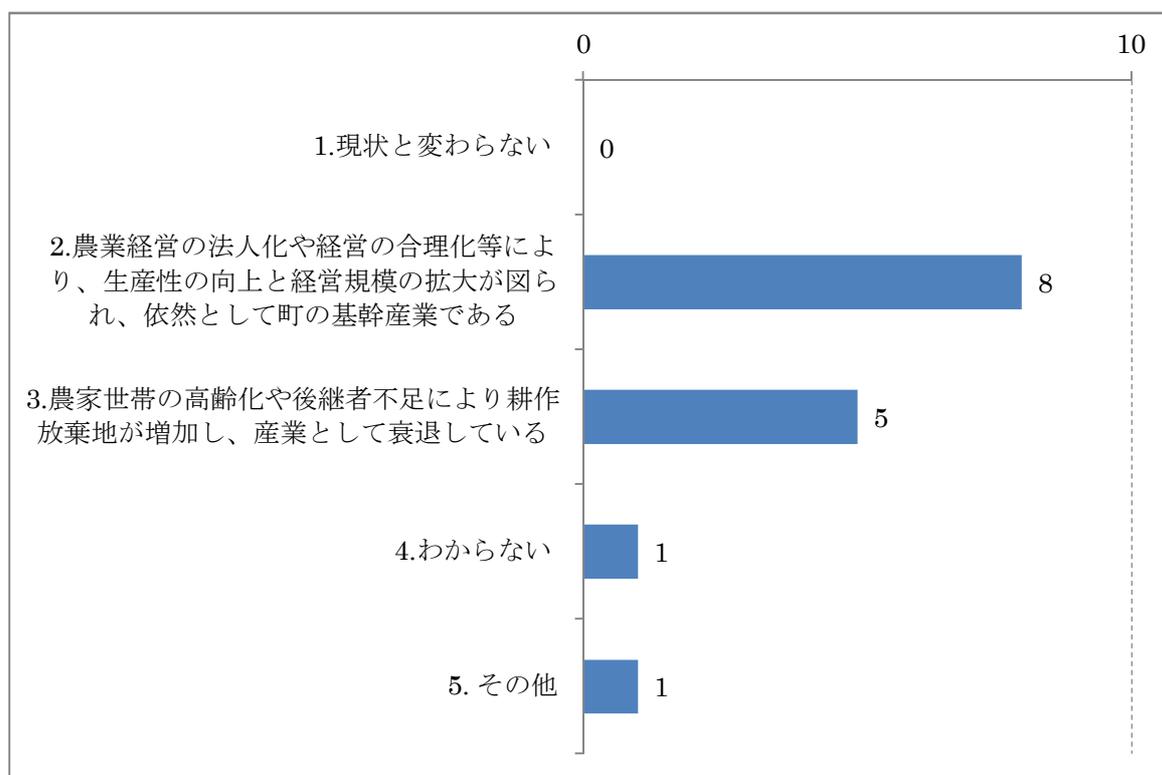
| | |
|----|---|
| 1 | さくら市の勝山台地へ転入する方が多く見受けられる。 将来的にはさくら市や宇都宮市との合併も選択肢の一つと考えるべきだと思う。 |
| 2 | 人口の増加を図る施策は自分の中では有効な方法が考えられない。しかし前の大震災において中央の水田地帯はほとんど被害がなかった。安全なこの土地を使って、農業を中心として、企業も誘致して、災害に強い街づくりをキャッチフレーズにしてはどうか。 |
| 3 | 市街化区域の地価が簡単に下がるとは考えられないので小学校（農業地域で過疎化している）周辺への住宅地を安価に供給する必要性は緊急な課題であると考ええる。 |
| 4 | 農振ははずすべきではない。面積の問題ではない。 このアンケートにあるように、町のアドバンテージは何かをよく考えるべきだ。 |
| 5 | たとえば、小学校を中心とした1 km以内の農地は宅地化できるようにすることなどが許されれば、安価な宅地も増えるのではないかな。 |
| 6 | 宇都宮にくらべ町からの福祉援助金がうすいような。たとえばペットの狂犬病とか家の太陽光の設備費とかその他もろもろ。それは一概にはいえないけれど、町がうるおっていないからでは。そのため、広い土地の企業への有効活用への努力も併用して考えていったほうが町がうるおってなくては安心して眠る場所には考えないのでは。宅地を売ることも必要だが、新しく住みだした人がここに来てよかったと思える農村ならではの特徴を考えることも必要では。たとえば、せっかくある元気あっぶの施設をもっと利用して他町の人を借りて、もりあげる企画をもつとか。 |
| 7 | 利便性の良い土地を安価で提供する。 |
| 8 | 住宅地を増やすことは必要だと思うが、近隣との価格などの問題があると思う。 |
| 9 | 農業者にとって住宅街での作業はいろんなトラブルがあるそうなので宅地と農地は分けてほしい。 |
| 10 | 住宅地にはこだわらない土地利用を考えたほうがよいのではないかと思う。 |
| 11 | 墓地取得助成金の支給。 二世帯同居推進（家庭菜園ができる広さの畑を）。 |
| 12 | 市街化区域と調整区域では人口減少率に差があるのは、利便性、人的交流の点からも差が出ていると思う。水田地帯をのぞいては、どこの地域に行っても農地であり、不作地帯が増している。今後さらに増加すると思われる。そのような土地を住宅地として利用することができる方策（市街化区域拡大）も定住人口の増加につながるのではないかと思う。 |

●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 農業代表者会議開催時における土地利用に関するご意見

- ・高根沢町の場合、田園に宅地を作らなくとも、高台がいっぱいある。
- ・高台が他の市町村と比べて値段が高く、買えない状況にある。さくら市では田んぼに家をどんどん建てている。
- ・農業者にとっては非常に農業がやりにくい。
- ・例えば、小学校から1キロ圏内は農振の対象外とし、宅地化できるようにしてはどうだろうか。
- ・（学校周辺での開発に関して）小学校は災害時など避難場所になるので、子供にとって学校通学や避難の際に徒歩で移動できるのは良い。
- ・（仮に農地が宅地開発可能となった場合、農家の土地提供など協力を得られるものか？）協力してくれる可能性はかなり高いと思われる。なぜなら、現在農地価格は下がってきており、小作料も安い。したがって、学校周辺に限って宅地にするという考えであれば、協力する農家が出てくる可能性は高い。
- ・学校周辺に広い駐車場や家庭菜園があるようなモデル地区を作ってみてはどうか。
- ・日本全体の人口が減っている中で、ある部分だけ増やしてもどうなのか。

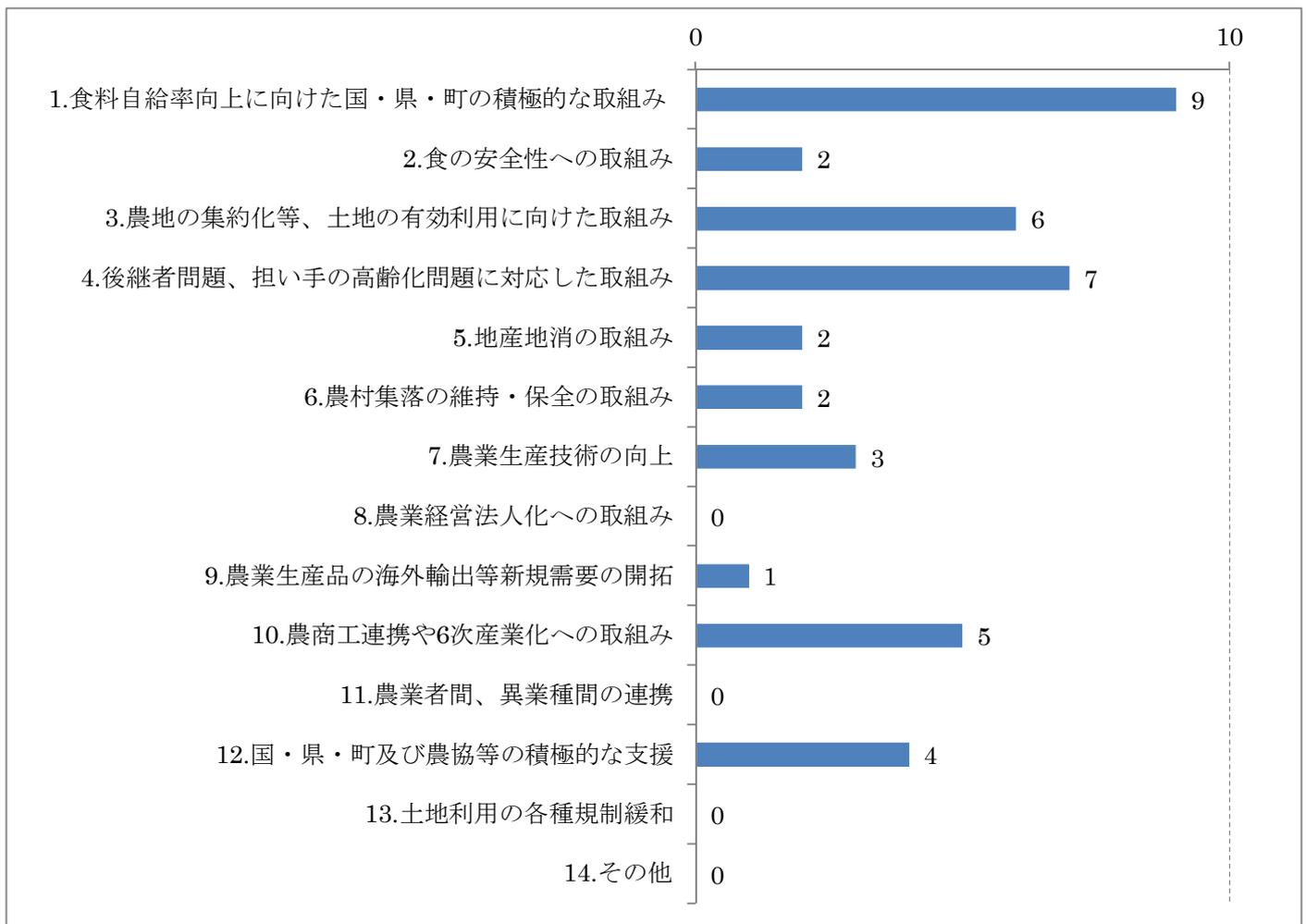
5-1. 高根沢町の農業の将来展望 [問 5 (1) : 1 つ選択]

町の農業の将来展望として、回答者が最も多くあげたのが、「2. 農業経営の法人化や経営の合理化等により、生産性の向上と経営規模の拡大が図られ、依然として町の基幹産業である (8)」となっている。次いで、「3. 農家世帯の高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増加し、産業として衰退している (5)」で、将来も町の基幹産業として重要な役割を果たすことを予想しながらも、高齢化による後継者不足に悩んでいる現状がうかがえる。



5-2. 将来に向けて高根沢町の農業経営を安定的に維持・発展させていくための必要な取り組み [問5(2):3つまで選択可能]

町の農業の将来展望として、回答者が最も多くあげたのが、「1 食料自給率向上に向けた国・県・町の積極的な取り組み (9)」となっている。次いで、「4. 後継者問題、担い手の高齢化問題に対応した取り組み (7)」「3. 農地の集約化等、土地の有効利用に向けた取り組み (6)」で、自給率UPといった需要面と農地集約や担い手対応などの供給面の両面の取り組みが求められている。



●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 農業代表者会議開催時における農業経営に関するご意見

- 農家にとっては規模拡大をしようと思っても、後継者がいないからなかなか難しい。
- 農地の集約化ができれば効率的になるが責任を持って管理してもらえないかわからないため、貸し出すことに抵抗がある。
- 農地の貸し借りは、人と人との取引で、経済的な利害関係（儲かる・儲からない）だけでは割り切れないものがある。

●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 農業代表者会議開催時における本アンケート調査全体に関するご意見

- 本アンケートは代表者だけでなく、全住民に対して意見聴取をしたほうが良いのではないかと感じた。人口増加という観点だけでなく、町の課題やその解決策を検討することが住みよいまちづくりにつながり、結果的に人口が増加することになるのではないかと思う。
- 本アンケートは、農業者代表だけでなく、区長さんや経済懇話会の方々にも実施しているとのことなので、最終的には全住民の意見ということになるのではないかと思う。ただし、農業分野の場合、農業士会だけだと、農家全体（末端）までの意見は見えにくい。
- 農家全世帯を対象にしてはどうか。
- 20歳前後の若者層の意見を重要視すべき。定住してほしい年齢層が若者層であれば、なおさら、彼らの意見を聞くべきではないか。

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る 農業代表者アンケート調査

高根沢町では、人口減少対策に取り組むため、「高根沢町定住人口増加プロジェクト～定住人口4万人を目指して～」を策定し、人口減少対策に関する施策の立案を行うこととしております。

今回、農業代表者である皆様が、高根沢町の魅力等についてどのようにお考えになられているか（トレンド）を把握させていただくとともに農業代表者の皆様から定住人口増加を図るためのご意見・ご提言を頂戴し、今後の町における定住人口増加施策立案の基礎資料とするため、アンケート調査及びインタビュー調査を行うことといたしました。

ご多忙中とは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただけますようお願いいたします。

平成26年7月

高根沢町長 加藤 公博

◎調査について

- ・本調査は、内閣府 平成26年度 特定地域再生事業費補助金事業の一環として実施いたします。
- ・個人情報の取り扱いについては、個人情報保護に関する関係法令を遵守いたします。
- ・調査結果は、『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定作業のみに使用し、調査目的以外には利用いたしません。

◎提出期限 平成26年8月4日（月）※第2回会議開催時にご提出ください。

◎問い合わせ先 高根沢町夢咲くまちづくり推進課4万人構想推進係 TEL675-8113

問1. 町では、定住人口を増加させるために、高根沢町の「強み」（他市町と比較して優れている点）を伸ばしていく必要があると考えています。

そこで、あなたが考える高根沢町の「強み」を次のうちからお選びください。

（当てはまるもの**3つ以内**に○）

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い | 2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い |
| 3. 就労場所が豊富、近い | 4. 計画的な土地利用により暮らしやすい |
| 5. 土地が安く住宅が建てやすい | 6. 子育て環境、支援施策、施設が充実している |
| 7. 教育環境、支援施策、施設が充実している | 8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実している |
| 9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実している | 10. 身近な場所での買い物の利便性が高い |
| 11. 上下水道、道路など居住環境が充実している | 12. 防災、防犯施策によって安心して暮らせる |
| 13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている | 14. 地域のつながりが強い |
| 15. 若者が増加、いきいきしている | 16. 高齢者の活躍の場が多い |

○ 問1で選んでいただいた項目について、具体的な例示等があれば、その内容をご記入ください。

（記載例）

「2. 鉄道や道路など交通の便が良い」を選んだ場合

電車を利用した場合、宝積寺駅から宇都宮駅まで10分程度で行くことができる。

（1）

（2）

（3）

○ 問1の選択肢以外でお気づきの点があればご記入ください。

問2. 町では、定住人口を増加させるために、高根沢町の「弱み」（他市町と比較して劣っている点）を克服していく必要があると考えています。

そこで、あなたが考える高根沢町の「弱み」を次のうちからお選びください。

（当てはまるもの3つ以内に○）

| | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い | 2. 鉄道や道路など交通の利便性が低い |
| 3. 就労場所が少ない、遠い | 4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい |
| 5. 土地が高く住宅が建てにくい | 6. 子育て環境、支援施策、施設が充実していない |
| 7. 教育環境、支援施策、施設が充実していない | 8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない |
| 9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実していない | 10. 身近な場所での買い物の利便性が低い |
| 11. 上下水道、道路など居住環境が充実していない | 12. 防災、防犯面で不安を感じる |
| 13. 自然環境に恵まれていない | 14. 地域のつながりが弱い |
| 15. 若者が減少、活力がない | 16. 高齢者の活躍の場が少ない |

○ 問2で選んでいただいた項目について、具体的な例示等があれば、その内容をご記入ください。

| |
|---|
| <p>（記載例）</p> <p>「4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい」を選んだ場合</p> <p>市街化調整区域では、都市計画法の制限等により新たな住宅の建設が困難であるため、人口減少が進んでいる。</p> |
| <p>（1）</p> |
| <p>（2）</p> |
| <p>（3）</p> |

○ 問2の選択肢以外でお気づきの点があればご記入ください。

| |
|--|
| |
|--|

問4. 定住人口の増加を図るためには、優良かつ安価な宅地の供給が必要になると考えられます。
そこで、町の土地利用に対するあなたの考えを次のうちからお選びください。

(当てはまるもの1つに〇)

1. 市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要
2. 市街化調整区域内の農地等を活用し、住宅地を増やすことが必要
3. 市街化区域を拡大し、住宅地を増やすことが必要
4. 市街化区域内の未利用地を活用して住宅地を増やすことが必要
5. 現状のままで良い
6. その他 ()

〇定住人口の増加に向けた土地利用に関するご意見・ご提言をご記入ください。

| | |
|---|-------------------------|
| <p>ご氏名</p> <p>※差し障りがなければご記入ください。 後日、アンケートの回答内容について確認をさせていただく場合等に使用させていただきます。</p> | <p>ご氏名</p> <hr/> |
|---|-------------------------|

～ ご協力ありがとうございました ～

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る

商工業者代表アンケート調査結果

実施期間：2014年8月4日～8月15日

対象者：商工業代表者28名

回答数：19名（回答率：約68%）

目次

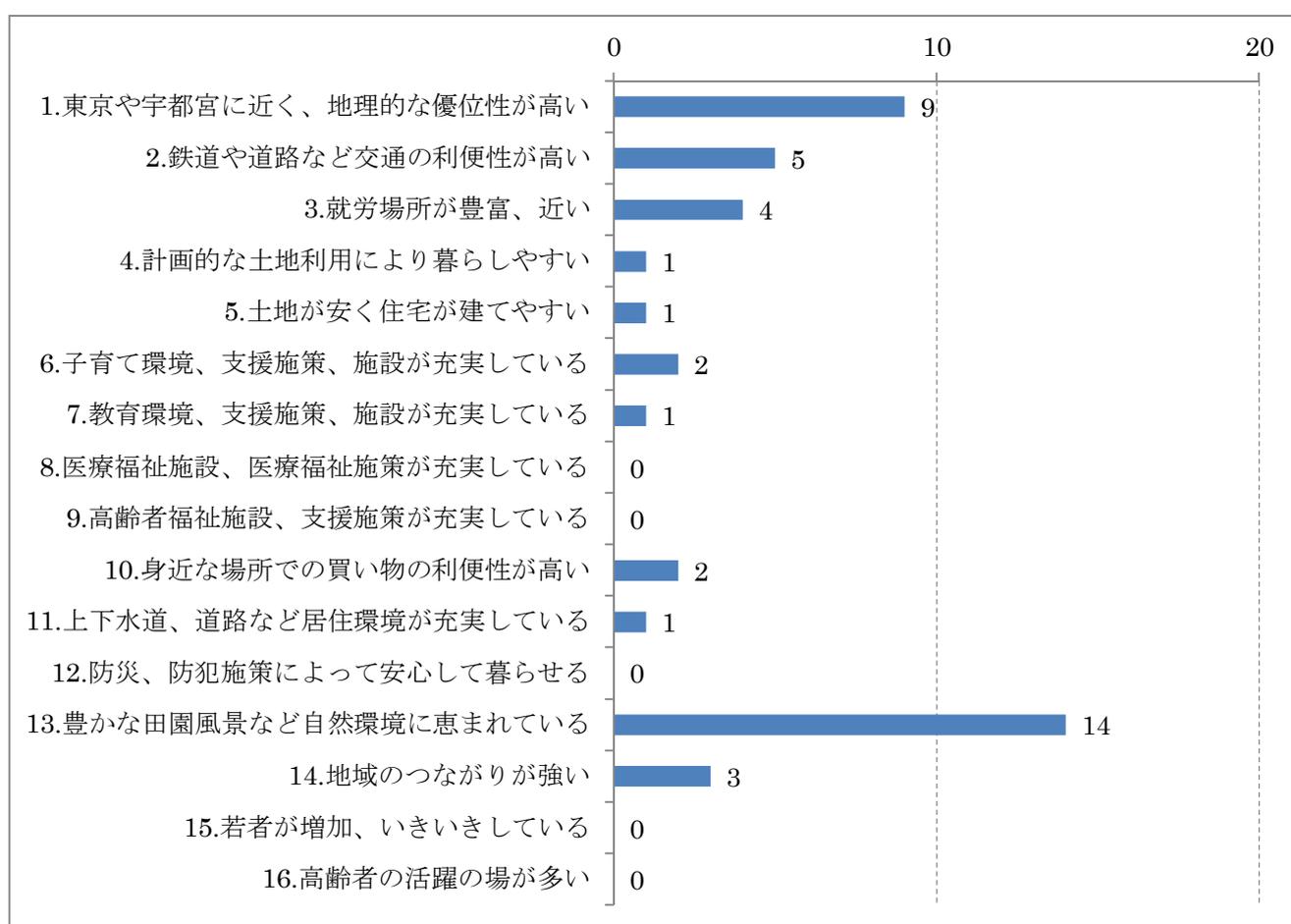
| | |
|--|-----|
| 1.町の強み（他市町と比較して優れている点）・・・・・・・・・・ | 256 |
| 2.町の弱み（他市町と比較して劣っている点）・・・・・・・・・・ | 260 |
| 3.定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え・・ | 263 |
| 4.町の土地利用に対するあなたの考え・・・・・・・・・・ | 267 |
| 5-1.高根沢町での事業継続予定・・・・・・・・・・ | 270 |
| 5-2 将来に向けて事業を継続・発展させていくために必要な取組み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 271 |
| アンケート調査票・・・・・・・・・・ | 272 |

1. 町の強み（他市町と比較して優れている点）〔問1：3つまで選択可能〕

町の強みとして、回答者が最も多くあげたのが、「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている(14)」となっている。次いで、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い(9)」「2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い(5)」で、自然、立地条件、及び交通利便性に関する評価が高い。

選択肢13の選択理由としては、田園風景の美しさに加え、地元の安全でおいしい農産物が豊富であること、住環境として魅力的であること、選択肢1、選択肢2の選択理由としては、東京や宇都宮までの交通アクセスの良さ、があげられた。

(単位：人 以下同様)



○その理由 [問 1.自由回答]

| No | 選択肢 1 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高いを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 新幹線を利用すれば宇都宮経由で1時間30分の距離であり恵まれている状況。 |
| 2 | 新幹線等の利用で首都圏に近い。 |
| 3 | 住む人にとっては最高の条件だろう。農作物や工業製品の出荷も同じ、この地理的条件を活かし、大都市にないものを引き出すことが大事。 |
| 4 | 都市部の活用に適しており、距離的にも魅力のある街である。 |
| 5 | 宇都宮や東京へ出るのにJR宇都宮線の駅があり便利。宝積寺駅周辺にも安い時間貸しの駐車場ができてJR駅の利用が便利になる。宇都宮まで10分、東京までも宇都宮で新幹線に乗り換え、70～80分で行く。 |
| 6 | 朝夕の通勤ラッシュ以外は比較的アクセスは良いと思う。 |
| 7 | 電車でも車でも、宇都宮市街地まで短時間で行くことができるうえ、新幹線を利用すれば1時間足らずで東京にも行けるため、住宅地としても事業を行うにしても利便性が高い。 |

| No | 選択肢 2 鉄道や道路など交通の利便性が高いを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | デマンドバス導入で利便性が増えた。さらに近隣市町と連携し向上してほしい。 |
| 2 | JRは宇都宮まで10分で行く。国道4号、県道10号と主要幹線道があり交通の利便性がある。 |
| 3 | 宇都宮市とは別途に、さくら市、那須烏山、芳賀方面との連携をもっと模索してはどうか。 |
| 4 | 宇都宮線、烏山線の町内の駅は町の財産。宇都宮まで鉄道で10分、車で30分程度で行くことができる。 |

| No | 選択肢 3 就労場所が豊富、近いを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 大手企業や中小企業が多い。 |
| 2 | 高根沢町及び、芳賀・清原両工業団地。加えて宇都宮市内と近隣に就労場所が多数ある。 |
| 3 | 町内、及び宇都宮市をはじめとする隣接自治体などの工業団地近くに、大企業や商業施設など、就労場所が多数存在し、それら企業の地元での採用意欲も比較的高い。 |

| No | 選択肢 6 子育て環境、支援施策、施設が充実しているを選んだ理由 |
|----|----------------------------------|
| 1 | 各小学校に付属している施設が良い（例：きのこのもりなど）。 |

| No | 選択肢 10 身近な場所での買い物の利便性が高いを選んだ理由 |
|----|--------------------------------|
| 1 | 宇都宮に近く日常の買い物などには困らない。 |

| No | 選択肢 13 豊かな田園風景など自然環境に恵まれているを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 御料牧場をはじめ、ブランド力高い自然環境にある。 |
| 2 | 工業立地も多く自然環境も多い。 |
| 3 | 宇都宮市のベッドタウンとしての特徴を持ちながらも豊かな農作物が多数栽培されている。 |
| 4 | 自然環境が良く住みやすいが、住空間も増やしたらよいと思う。 |
| 5 | このことも売りの一つだろう。自然環境を利用した施策、例えば農地や空地を利用すること。 |
| 6 | 暴風、水害、雪害の影響が他地区と比べて、比較的少ないので、子供、老人にも安心して住める環境といえます。 |
| 7 | 市街地と田園が区分されており、四季折々の自然を感じることができる。地元の農産物（安全でおいしい）を直売所などで買うことができる。 |
| 8 | 現在宇都宮市で検討を進めている LRT 構想について、宇都宮駅東⇒清原⇒高根沢⇒宇都宮の新ルート構想を立案してはどうでしょうか。 |
| 9 | 情報の森とちぎにおける春の桜、秋のもみじ。元気あっぷむら周辺の里や水田の景観。用水掘りに蛭やシジミ貝が生息し、心身に良い影響を及ぼす自然環境に恵まれている。 |
| 10 | 宇都宮市や東京に近い割に、田園などの自然が多く住環境としては非常に魅力的である。 |
| 11 | 調整区域の農村部、山間部ではミニ開発もなく、景観、環境が非常に良い。 |
| 12 | のどかな田園地帯は田舎で静かな暮らしを望む人や土地を借りて農業をやりたい人などには好立地な条件であるため。 |
| 13 | 安心安全な農作物生産により食料需給が安価で求めることができる。 |

| No | 選択肢 14 地域のつながりが強いを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | このようなことを新しく来た人、野菜を作りたい人、高根沢町を知りたい人のために頑張ってもらって指導を受ける。 |
| 2 | 光陽台に代表される比較的歴史の浅い住宅地の町内会活動（夏祭りなど）、市民活動サポートセンターや エコハウスたかねざわさんの活動など、新たな取り組みで地域のつながりを創造し拡大させようという動きがみられる。 |
| 3 | 住民の顔が見えて、コミュニケーションがとれている。 |

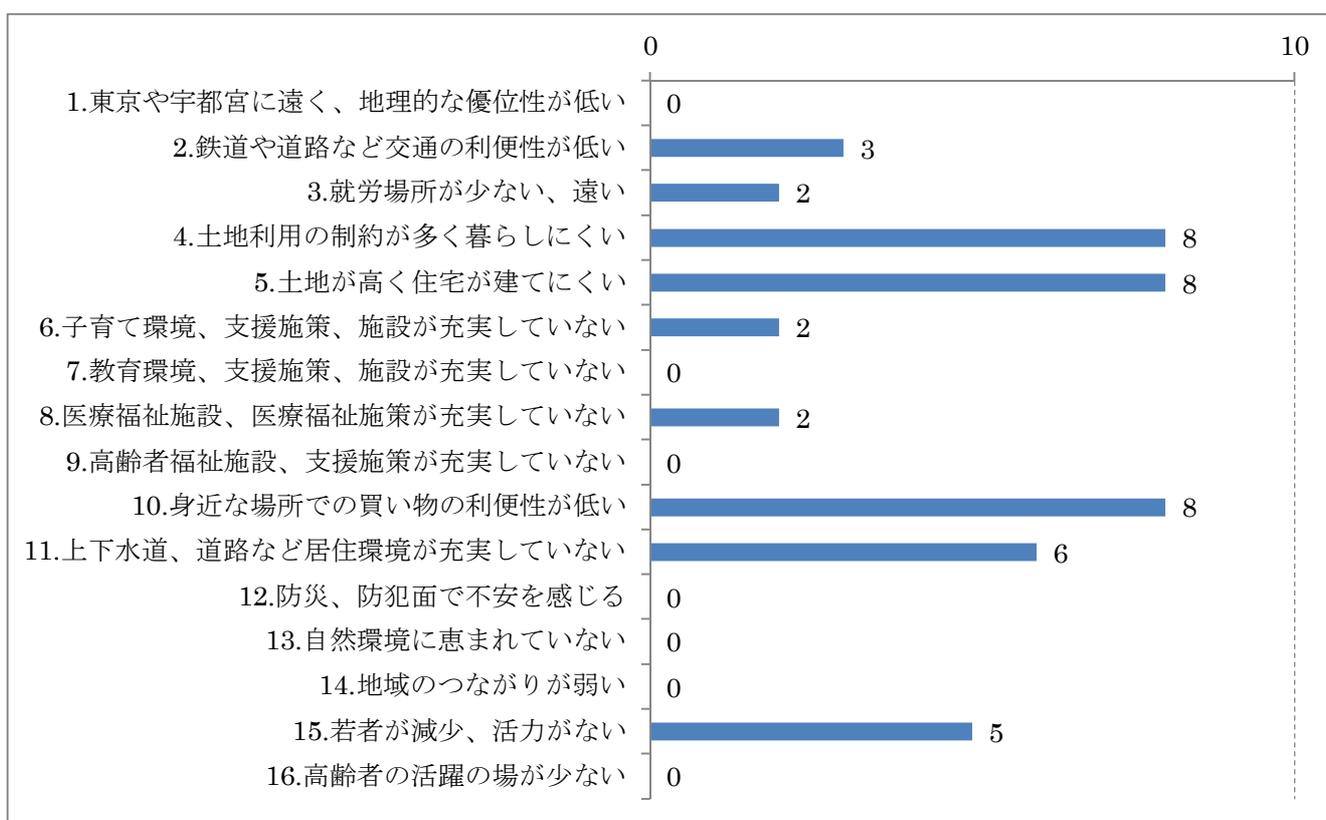
○お気づきの点

| | |
|---|--|
| 1 | 観光名所は少ないが、比較的イベントが多い。 |
| 2 | 当町は交通の立地条件が大変良いと思われる。都市部へのベッドタウンも良いし、また地元でのショッピングも考えたらよいのでは。 |
| 3 | 体験のできるコーナーがあればよいと思う。 |
| 4 | 昨今の異常気象による被害が県内各地、地域で報告を受けておりますが、幸いわが町では他地域に比べると大きな被害を受けにくいような地形なのではないかと思われまます。 |
| 5 | 規模の大きい農家が多く、若い人の就業率も市街地の商店より高いと思われる。専業農家の場合、若い人が戻り家を継ぐケースが多いと思いますが、行政としても後継者に対し何らかの支援があればと思います。 |
| 6 | 県下有数の元気あっぷむら温泉がある。 御料牧場があるくらいなので治安が良い。 国道4号線と烏山バイパス交差点近くにある旧ドライブインからの夕日の眺めが素晴らしい。何か活用するアイデアはないでしょうか。 |

2. 町の弱み（他市町と比較して劣っている点） [問2：3つまで選択可能]

町の弱みとして、回答者が最も多くあげたのが、「4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい(8)」「5. 土地が高く住宅が建てにくい(8)」「10. 身近な場所での買い物の利便性が低い(8)」で、住宅環境、生活インフラなどに関する評価が低い。

選択肢4、選択肢5の選択理由としては、市街化調整区域の規制や町内での土地価格の高さから近隣市町へ流出、選択肢10の選択理由としては、小売り店舗の減少や大型商業施設の要望など、選択肢11の選択理由としては、一部の道路の狭さや県内全体において、安全性も含めて統一感がないことなどが指摘されている。



○その理由〔問 2.自由回答〕

| No | 選択肢 2 鉄道や道路など交通の利便性が低いを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 宝積寺駅へのアクセスは宇都宮から短時間で可能も。烏山線各駅へのアクセスは時間が掛かり不便。 |
| 2 | 近隣に宇都宮市があるが、鬼怒川を挟んだ立地のため、道路は橋により経路が制限され朝夕の通勤ラッシュが橋の周辺で発生する。鉄道は都市部ほど運行本数が多くなく、待ち時間をロスと感ずることがままある。 |

| No | 選択肢 3 就労場所が少ない、遠いを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 大手の工場が何か所かあるが、社員の住むところが分散されているため、地元商店の購買につながっていない。また町外から来訪したくなるような店も少ない。 |
| 2 | キリンビール栃木工場閉鎖から4年目を迎えますが、現在まで目処が立っておりません。大企業の撤退には大企業の招致で返してほしいです。 |

| No | 選択肢 4 土地利用の制約が多く暮らしにくいを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 市街化区域と調整区域の見直しの必要性 |
| 2 | 区域の線引きがあるため、いろいろな事業投資が難しく、違う町、場所になっています。このことは「身近な場所」ですので買い物利便性が低いにつながってくると思います。 |
| 3 | 工場建屋増築の際、規制が多く実施不可能である。 |
| 4 | 市街化調整区域内では、町独自の基準を設けなければ新たな住宅の建設も可能ではあるが、その場合でも都市計画法との関係により様々な問題が発生する可能性があるため、定住者を増加させるためには新たな住宅地の確保が急務である。 |
| 5 | 若者が定住しにくい。 |

| No | 選択肢 5 土地が高く住宅が建てにくいを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 賃貸住居の利用者が住宅を建築する際に近隣市町村に流出するケースあり。土地を取得するに高いといった話あり。 |
| 2 | 宇都宮や近隣の地域より土地の価格が安いと良い。 |
| 3 | 土地、借家の家賃が宇都宮並みに高い。 |
| 4 | この5,6年だけでも若い世代(30代)の4~5人家族が3世帯高根沢を見限って他へ移住していきました。 |

| No | 選択肢 6 子育て環境、支援施策、施設が充実していないを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 特に税制面において子育て世代への優遇措置が必要ではないでしょうか。住民税や固定資産税の負担軽減などと合わせて、保育園や学童保育料の引き下げも必須と思います。 |

| No | 選択肢 8 医療福祉施設、医療福祉施策が充実していないを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 総合病院、産婦人科がない。福祉は充実していると思いますが、入院できる病院や精密検査が必要な場合や、外科がある病院、または安心して出産できる病院が不足している。 |

| No | 選択肢 10 身近な場所での買い物の利便性が低いを選んだ理由 |
|----|--------------------------------|
| 1 | 大型商業スペースがあると良い。 |
| 2 | 各種小売店の減少。 |

| No | 選択肢 11 上下水道、道路など居住環境が充実していないを選んだ理由 |
|----|---|
| 1 | 下水道は充実してきているが市街地（宝積寺地区、仁井田地区）の道路が狭いし、わかりづらい。区画整理された光陽台、宝石台と宝積寺駅のつながりが悪い。 |
| 2 | ほとんどが宝積寺中心、仁井田中心部などで推進されており、そのほかの居住地が恩恵を受けるには年月がかかりすぎ。 |
| 3 | 充実していないというのは過剰な表現だが、地域全体の道路設計については高根沢町に限らず栃木県全体について導線や安全性の観点で行き当たりバッタリ感が否めない。用地買収や移転補償等、費用発生の課題があるが、利用者が設計思想を感じられる安全で合理的な道路づくりを実現し、町の長所としていただきたい。 |

| No | 選択肢 15 若者が減少、活力がないを選んだ理由 |
|----|--|
| 1 | 大学進学等で町より転出した若者が就労の場所がないために戻ってこれない現実がある。 |

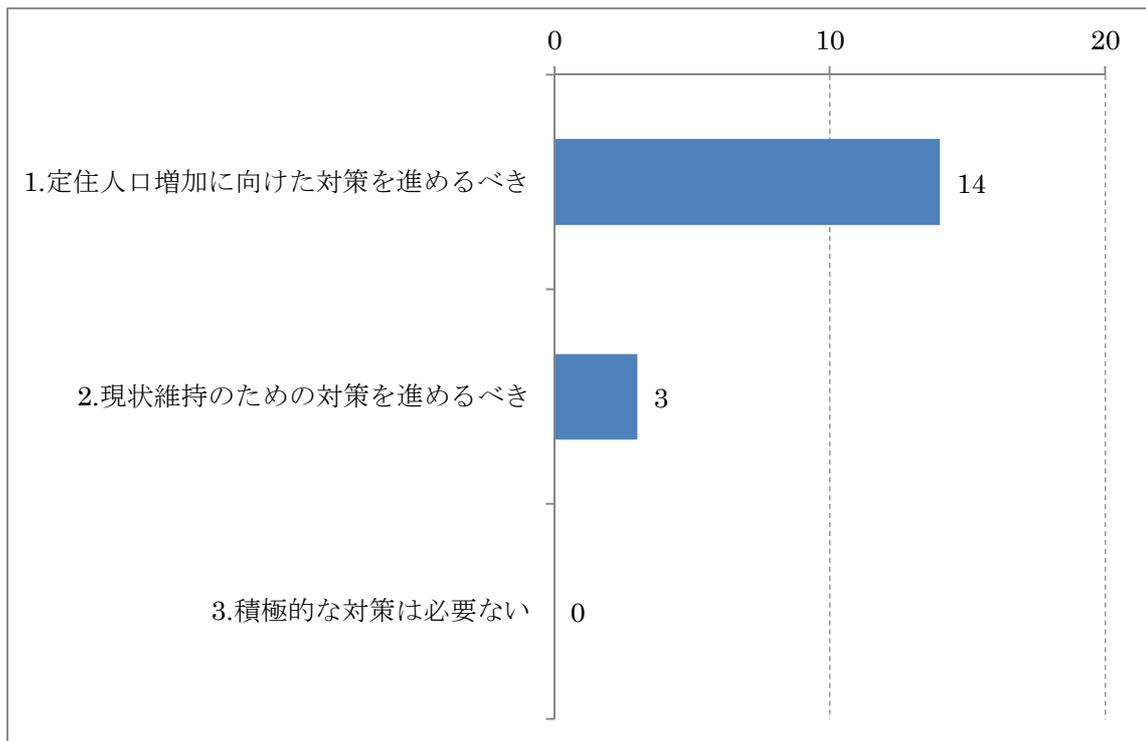
〇お気づきの点

| | |
|---|--|
| 1 | 地元産業に積極的に協力してほしい。 |
| 2 | 宇都宮のベッドタウンとして発展してきただけに、他県出身者も多い。町に対する愛着では地元で育った方と温度差があると思われる。教育やイベントを通じて、町に対する思いを高める必要があると思います。。 |
| 3 | 高根沢町の宇都宮市や東京に近いという地理的優位点は、裏を返せば住環境に他地域より優れた点があればあえて高根沢町に定住する必要性がないということにもなるため、魅力的な住環境の提供は人口増加には必須であると思われる。 |
| 4 | 宝積寺駅前周辺の未整備。 |
| 5 | 教育、文化施設が充実していない。 |

3. 定住人口増加対策における町の方針に対するあなたの考え [問3：1つ選択]

定住人口増加対策における町の方針に対する考えとしては、「定住人口増加に向けた対策を進めるべき（14）」が大半を占めた。

ご意見・ご提言としては、魅力ある住環境の整備（規制緩和、補助金などの施策整備など）のほか、公共施設や商業施設の充実などがあげられた。



〇ご意見・ご提言

| | |
|---|--|
| 1 | 市街化区域、調整区域と線引きされているのに氏家より土地が高い。宝石台、光陽台から4号線までは市街化すれば人家が増すと思います。 |
| 2 | 住環境の充実、近隣地区との競争力を。 |
| 3 | やはり市街化調整区域の規制緩和と農地の転用促進が必要では。ただし、同時に農家への補償も検討するべきとも思います。住宅地エリア拡大による住宅用地の価格引き下げにつながれば、戸建てを取得する人が増えると思います。 |
| 4 | 宅地、商業地などの規制緩和。 |
| 5 | 安い広い区画の土地を造るのが第一だろうと思うが、固定資産税の減額や子育て費用の支援など大胆な施策が必要。 |
| 6 | 雇用の場を設けるためには有能な人材が集まる地域でなくてはならない。優れた定住先として選ばれるような魅力と個性豊かな地域づくりを最優先すべきである。・豊かな自然、美しい景観・公園、緑地・芸術文化を楽しむ機会・良質なレクリエーションの場（ハイキング、釣り、スポーツ等）・商店街のにぎわい・整備された水辺空間・歩いて楽しめる街・市街地、自然公園、名所を結ぶ自転車道の充実・公共交通機関など移動の選択肢の多様性・社会的なネットワーキングの機会・クリーンエネルギーの普及・地域のブランドイメージ、国際的な知名度。高根沢町を国内市場重視の観点から国際的視野でビジネスチャンスを探し、グローバル化を図るべきである。 |
| 7 | 住宅地としてのインフラ整備、特に高根沢町は道路整備が遅れていると思います。市街化区域の中でも道路が狭いため、利用が進んでいない地区がある。また排水が悪く、雨水処理ができない地区もあり、快適に安心して住める街づくりが必要と思われる。 教育で中学、高校のレベルアップを図る必要がある。マイホームを計画するときに土地の価格に次いで子供の教育を考える人が多い。 安全なまちづくり、犯罪が起きにくい交通事故が少なくなるようなインフラ整備や政策がとれていることが必要。 高根沢の魅力は JR 宝積寺駅があり宇都宮へ 10 分で行けることだが日中及び午後 7 時過ぎは本数が少なく、最終電車で午後 11 時と早い。小金井にある車両センターを宝積寺駅北側へ誘致して、宝積寺発着の利便性をアップする。 キリンビール跡地へ就業者が多い企業を誘致する。 プロジェクトの策定、事業実施と並行して、その時、その時の高根沢町の良さを情報発信するセールス活動も重要と思われる。 |
| 8 | 新規企業誘致の動き、商工業にとられず、農業法人誘致に対する支援策がほしい。 東日本大震災被災者受け入れ用地を無償または格安提供してはどうか。家屋は別。モデルケースとしても。市貝町など実施している様子。 高根沢町は大手企業に勤務する若者が多い。町は企業ともしっかりとコンタクトをとり、この危機感（定住感）を訴え、方策のためのひねり出しを懇願すべきと考える。（当然、町出身のみならず、他より転入された若者をみすみす、高根沢町を見限らせないためにも） 核家族がもたらしたメリット、デメリットは今後もそれらのつけを払われるだろう。ならば、拡大家族化を目指してはどうか（複数の核家族からなる家族）。同居ばかりではなく、地続きの家屋あるいはフリーゾンスペース利用で核家族を引き寄せるとか。近年、拡大家族から核家族へと離散していく流れに歯止めをかける方法をもっと模索すべきと考えます。わずらわしい人間関係を避け核家族を選択しながらも、子育て、ママ友、地域そして自分たちも繰り返し「子」に同じように離散されていく。昔の拡大家族のメリットだけを復活できないか。子に孫にそれらの良さを継承できるようにすれば自ずと人口減に歯止めがかかるはずで。 |
| 9 | すでに実践されているように、定住人口増加に向けた具体策は新たな住宅地の造成であると思います。その住宅地＝街を造るさいに、その町に住む住民とともに老いていく（あるいは輪廻する）思想を導入頂きたいと考えます。定住人口増加は言うまでもなく家を持つとする 20 代後半から 30 代の住民が住み続け、その子供たちもその町、あるいはその近隣に居住するという連鎖が生む結果 |

| | |
|----|---|
| | <p>ではないでしょうか。そこに住む住民とともに老いる街というのは、例えば老人ホームに転用可能な設計で作られた小学校や、高齢者向け軽運動やリハビリ機能を有する体育館などの住民の年齢層に合わせて自在に変幻できる公共施設を用意するという事です。これは新規建築に限らず、既存施設の改装でコストをあまりかけず実現できると考えます。これらの公共施設が「この街には安心して長く住めます」と主張するランドマークとなり、宅地分譲の際にそのことを積極的にPRすることで、高根沢町が他の自治体とは異なる明確な思想を持って居住地を提供していることを地域の人々に意識させ、町民の皆さんには誇りを他の市町村の方には高根沢に住みたいという欲求を生むと考えます。「輪廻」という表現を使ったのは、街の住民が世代交代し住民年齢が若返った際には老人ホームを小学校に戻して使用するという発想からです。このシステムの実現にはダンパーとしてNPOが運営する小規模の老人ホームやデイケアセンターなどの誘致も欠かせません。また近隣小学校、中学校の連携が（A小学校が老人ホーム化した際に、通学している少数の小学生をB小学校が受け取るなど）が必須となります。</p> |
| 10 | <p>新たな住宅地の確保。 住宅を建設する際の町の支援策の充実。 安全・安心な街づくりの推進と町民への取り組み状況の積極的な公開（1.子どもたちが安心して遊べる環境の整備、2.子育て世代への町ぐるみでの支援の充実3.学校と地域のつながりの強化4.地域企業と町民との交流の充実5.お年寄りの社会参加機会の充実6.お年寄りの見守り体制の充実7.上記の環境を実現するための全庁的な情報インフラ整備・充実。） 町民参加イベントの活性化。 国や県との連携強化。</p> |
| 11 | <p>4万人が先走りしすぎているように感じます。人口が少ない街でも活気ある町はあると思います。まずは今の3万人に対して何が問題・課題なのかを深堀する必要があると思います。あるべき姿（目的・目標）は元気のある・魅力あるまちにすることであり、人口4万人というのはその一つの手段（施策）ではないかと思えます。まずはどういう町にしたいのか、あるべき姿を町民にわかるよう絵を描き、そこから具体的な施策・方策を立てることが必要だと思えます。 <思いつく原因>宝積寺駅周辺の未整備（上下水道の未整備、側溝の悪臭、蒲鉾状の道路、狭い道路、歩道がない道路、通勤・通学時間帯の渋滞、踏切による交通寸断、通学路の未整備、古くさびしい商店街）、信頼できる大病院がない、大きなショッピングセンターがない、古いアパートばかりで新築物件が少ない、宇都宮とさほど変わらぬ高いアパートの家賃、不具合を改修しないアパートのオーナー、高速道路へのアクセスが悪い、若者向けのしゃれた店が少ない（レストラン、ツタヤのような本屋、カフェ、居酒屋、バー、ファッション、カーショップ、趣味の店）、魅力に欠ける教育・文化・情報などの公共施設（体育館、図書館、文化・芸術、博物館）、深夜まで営業するスーパー・飲食店がない、ファミリーレストランがない、魅力に欠ける公共サービス、観光名所がない、地方特有の近所づきあいのわずらわしさ、若者が集う遊び場所がない、娯楽施設がない、適齢期の女性が少ないなど。</p> |
| 12 | <p>定住奨励金の支給（住宅関係・・・持家取得者に対して等）。 出産支援（祝い金など）。</p> |
| 13 | <p>現在賃貸物件に入居中の家族がマイホームを持ちたいと思っている人が多く見受けられる中、高根沢の土地の単価が比較的高く、下水道が完備されていない場所もあるので、早めの対策が必要ではないかと思えます。</p> |
| 14 | <p>高根沢町は農村（農業地域）であるので、農業法人を各地区に作り若者でも就労しやすい形態を作らなければいけないと思う。農業従事者はほとどの地域でも高齢化しており農業従事者がいなくなってきた。また、後継者もいない。農業への魅力をアピールする方法を考えていくべき。</p> |

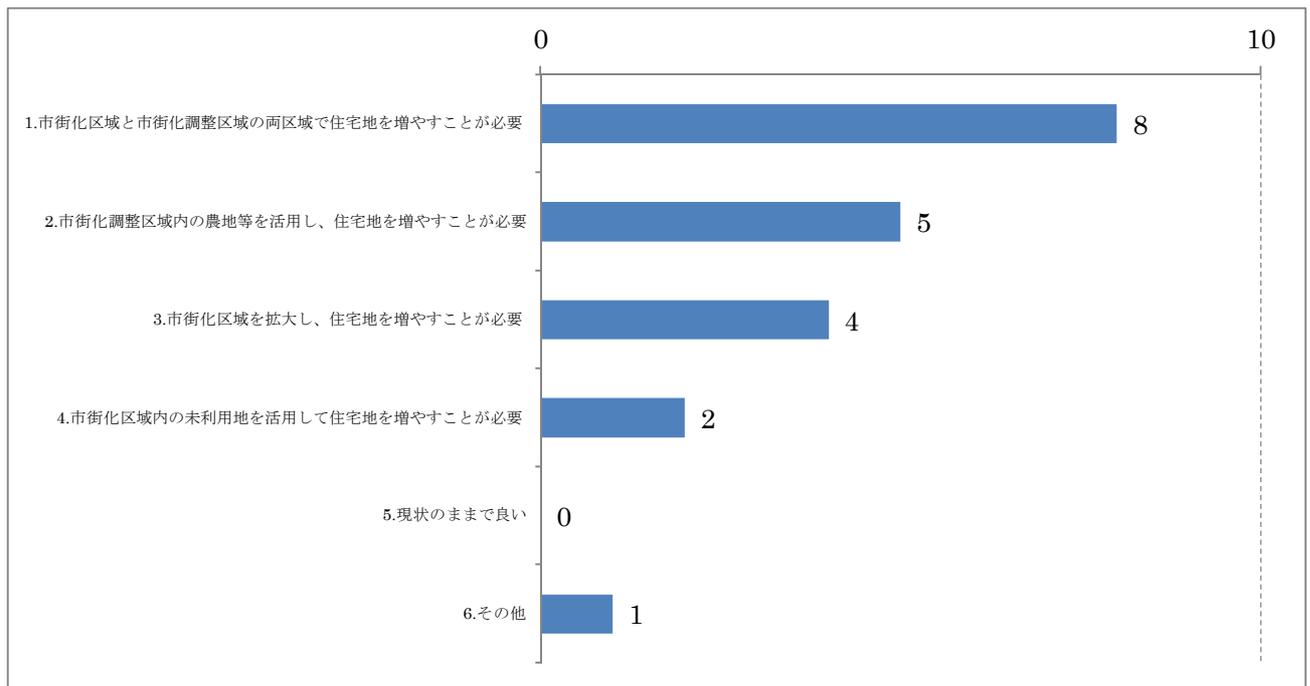
●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 商工業代表者会議開催時における定住対策に関するご意見

- 高根沢町では大きく2つの論点があると考えている。ひとつは少子高齢化に伴う人口減少問題、もうひとつは、都市部への人口流出に伴う地方の人口減少問題。地方については、この二つのダブルパンチを受けて人口減少が一層進行していると考えている。そこで、市町村、及び県や国レベルで子育て環境の改善は必須だと思っている。なので、本プロジェクトにおいても、今後、少子高齢化対策について盛り込まれることになるかと思う。その主眼としては若い人を町に呼び込む、出ていかないようにすることではないか考える。高根沢町は地理的に宇都宮、東京に近いが自然が多い。キリンビールはなくなったが、大規模な工業団地もあるので住むには非常に良い場所だと思う。
- 定住してもらうためには、持家取得に向けた促進策や子どもを産みやすいように出産支援が必要なのかなと思う。また、高根沢町は田園風景が多いので、農業をしたいと考えている人へ農地を提供すれば人が集まるのでは。例えば、農業女子等。そのほか、宇都宮と高根沢は距離的には近いが、終電が早く交通インフラがより充実すると定住者も増えるのではないか。
- このプロジェクトの目的は人口を4万人にすることなのか、魅力ある、活力ある、夢のある町にすることなのか、どちらなのか。個人的にはコミュニケーションをとるという意味でこの町は非常に良い所だと思う。どういう町にしたいのかということと、4万人ということの結びつきについてどう考えているのか。
- 住民も年齢を重ねるとともに、町自体も年を取っていくことを念頭に街づくりをしていくことが重要だと思う。使えるお金は限られているため、一つの施設に複数の役割を持たせたりするなど工夫が必要。例えば、近所の新設の小学校には、バリアフリーのエレベータがあり、将来的には老人ホームにすることを想定している。そのようなお金のかけ方が、住民にとっては「そういうところに自分たちは住んでいるんだな、いろいろ考えてもらっているんだな」と思うようになって、長く住もうかなと思う人が増えるのではないか。また、私が住んでいる団地は80坪くらいの区画で、表札が3つくらいかかっているお宅もあり、そのように複数の世代が同居しているようになると町長が目指す持続可能なまちづくりにもつながっていくと思う。
- キリンビールの跡地については、企業誘致だけでなく、スポーツパークを作ってキリンビールの支援を得ていろいろなイベントを実施してみてもどうか。
- この町に来て40年になるが、来た当時は隣町との差はそんなになかった。現在は大きく変わってしまった。なぜ、変わってしまったのか、精査して勉強する必要があるのではないか。
- 栃木県は高根沢町も含めて、災害の少ない県、町と言われてきた。また、高根沢町は面積の約70数パーセントが平坦な土地でそのことが農業の発展に寄与しているのではないかと。それから、宝積寺という駅が宇都宮から近いという利便性の高さ。この3つの恩恵をだいぶ受けていたのではないかと思う。だけど、それらの恩恵がいずれは崩れるかもという懸念を誰も持っていなかったのでは。過去には農業の町ということで、大家族が住んでいた。近年核家族が増えてきた理由にはサラリーマンになる人が増えてきたからだと思う。ほか、変わりたくないという思いが、個人の中にも、家庭の中にも、企業の中にも、この町全体の中にもあるのでは。やはり、意識を改革していかないといけないのではないか。地域、町は立ち遅れているのではないかと思う。

4. 町の土地利用に対するあなたの考え [問4: 1つ選択]

町の土地利用に対する考えとしては、「1 市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要 (8)」が最も多かった。

ご意見・ご提言としては、地域住民の意見を取り入れながら、市街化調整区域の規制緩和やその後の開発計画の検討の必要性などがあげられた。



〇ご意見・ご提言

| | |
|----|---|
| 1 | 土地取得希望者の幅広いニーズを捉えていくという観点から住宅地を増やす必要があり、そのための施策を早期に着手することが肝要と考える。 |
| 2 | 新たに家を建てる場合、農地転用の許可に時間がかかりすぎ、また審査などの基準が高いと思う。 |
| 3 | 土地の利用方法、建築物の規制緩和。 |
| 4 | 市街化調整区域をなくす。 |
| 5 | 市街化区域に面した土地の市街化編入。学校単位周辺の住宅地を増やす。調整区域内の駅周辺、住宅地整備、空き家を利用した定住対策。 |
| 6 | マンションさえ建てれば若い人がいっぱい移住してくれるだろうという幻想から建築して失敗した事例は全国各地にある。住民から理解を得て、こんな事業ができる、行政に頼っているままではだめだという1住民の意識改革が成功のカギである。定住人口の増加に向けた土地利用に関する考えとして住宅地の増加は当然である。市街化区域と調整区域の両方で増やすことが必要である。 |
| 7 | 4万人構想にひろげ、必要な宅地を算定し、計画的に市街化地域の拡大が必要であるが、高根沢町の豊かな田園地帯が残るよう、現在の市街地との関連性を重視して行政サービスが行き届くようまたインフラ整理にも費用が掛からないようコンパクトな市街地を計画してほしい。 住宅地の中に工場や倉庫などが混在しないよう用途指定が必要と思われる。住宅地の環境が維持できる。工夫ができれば魅力が増えて長く住むことになると思われる。 現在市街地にある工場、倉庫などを交通の利便性が良い場所へ移動し、住宅地の造成を計画的に行う住宅地造成を民間が行う場合、町の規制に合う開発の時は水道事業や下水道事業などで支援を行う民間の場合、道路や公園は造成率を上げるため、必要最小になりがちだが、安全安心な街づくり規格に合えば、支援を行い優良な宅地を安く供給できるようにする。 |
| 8 | 旧市街地内の道路幅が狭いため、新市街地などのアクセスが難しい。特に宝積寺駅周辺。 |
| 9 | 定期借地権+ α （町による補助）土地利用というテーマからは離れてしまいましたが安価な宅地、住宅を提供することが定住化人口を増加させるために有効なセールスポイントになると思います。そこで、一般定期借地権を活用した宅地、住宅の提供を検討してはいかがでしょうか。契約終了時に原則建物を取り壊して、土地を返還することになっている法規のマイナスイメージを補う、取り壊し費用の補助制度や法規的な妥当性の検証をしておりますが、町による建物の買い取り制度（買い取った建物や土地の借地権を解除、中古物件（＝安価な住宅）として土地建物を売却等）といった町による補助制度を設けることを提案します。 |
| 10 | 市街化調整区域内では町独自の基準を設ければ新たな住宅の建設も可能ではあるが、その場合でも都市計画法との関係により様々な問題が発生する可能性があり、定住者を増加させるためには市街化区域を拡大して新たな住宅地を確保することが最も有効な手段であると考えます。しかし、市街化調整区域については、様々な理由により市街化への一定の制限が講じられているという経緯を踏まえ、地権者や住民の意見をよく聞いたうえで、市街化区域を無理なく増やしていくことが重要であると思われる。合わせて、理想的な住環境を長期間にわたって構築・維持するため、そして過度な市街化を抑制するためにも、町内に総合的な街づくりのために組織を設け、継続的に町民そして有識者などの意見を取り入れていく仕組みを作ることも必要であると思われる。 |

| | |
|----|---|
| 11 | <p>さくら市のように調整区域を安易に住宅地化するミニ開発をすることなく、高根沢町は自然、農業と市街地のベッドタウン機能が調和した景観の良い街であると思いますので、調整区域での住宅をいきなり開発することは疑問です。開発するのならショッピングセンター等一体化した大規模な土地開発を進めないと一時しのぎの虫食い住宅施策になってしまいます。地形的な制約があったかも知れませんが、最大の財産である JR 宝積寺駅があるにもかかわらず駅前の整備が全く進んでいないことが、一番の問題と思っています。もうすでに遅しの感がありますが、本当にできるのであれば、宝積寺駅周辺の大規模な区画整理、最低、町の玄関として駅東の未利用地の開発は必要と思います。宝積寺駅周辺がこれ以上の開発できないのであれば、下手に農村部の開発に手を付けるのではなく、キリン跡地を住宅、商業、工業、宿泊施設、温泉、道の駅、行政地区学校などの新都市（住宅・複合集積施設）として大規模に開発したらいかがでしょうか・本数が少ないかもしれませんが烏山線の駅もある宇都宮からの集客もできると思います。商業施設についてはアウトレットモール、ショッピングモール、イケア、コストコのように人気の大型店舗がインパクトがあるものと思います。</p> |
| 12 | <p>宝積寺と宝積寺駅から仁井田駅方面に向けた土地を住宅地として増やしたほうが良いのではないかと思います。</p> |

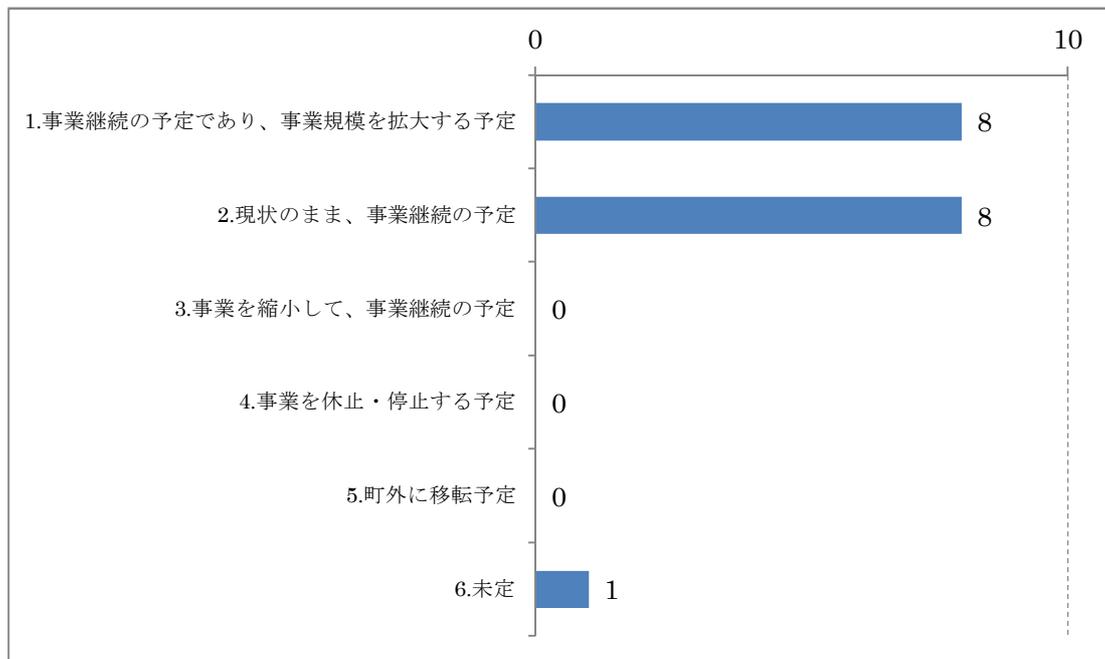
●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 商工業代表者会議開催時における土地利用に関するご意見

- ・社内で3～4年の間に6名ほど結婚したが、高根沢に住んでいる人がいない。結婚前は高根沢に住んでいた人も、配偶者の実家近くに家を建てるケースが多い。実は高根沢の地価は高いのではないかと想像している。

150坪くらいの土地を50坪くらいの価格で買えれば、安くてゆとりのある方を選ぶ。田園の中にゆとりある宅地開発が出来たら、きっと家を建てる人も出てくるのではないかと。

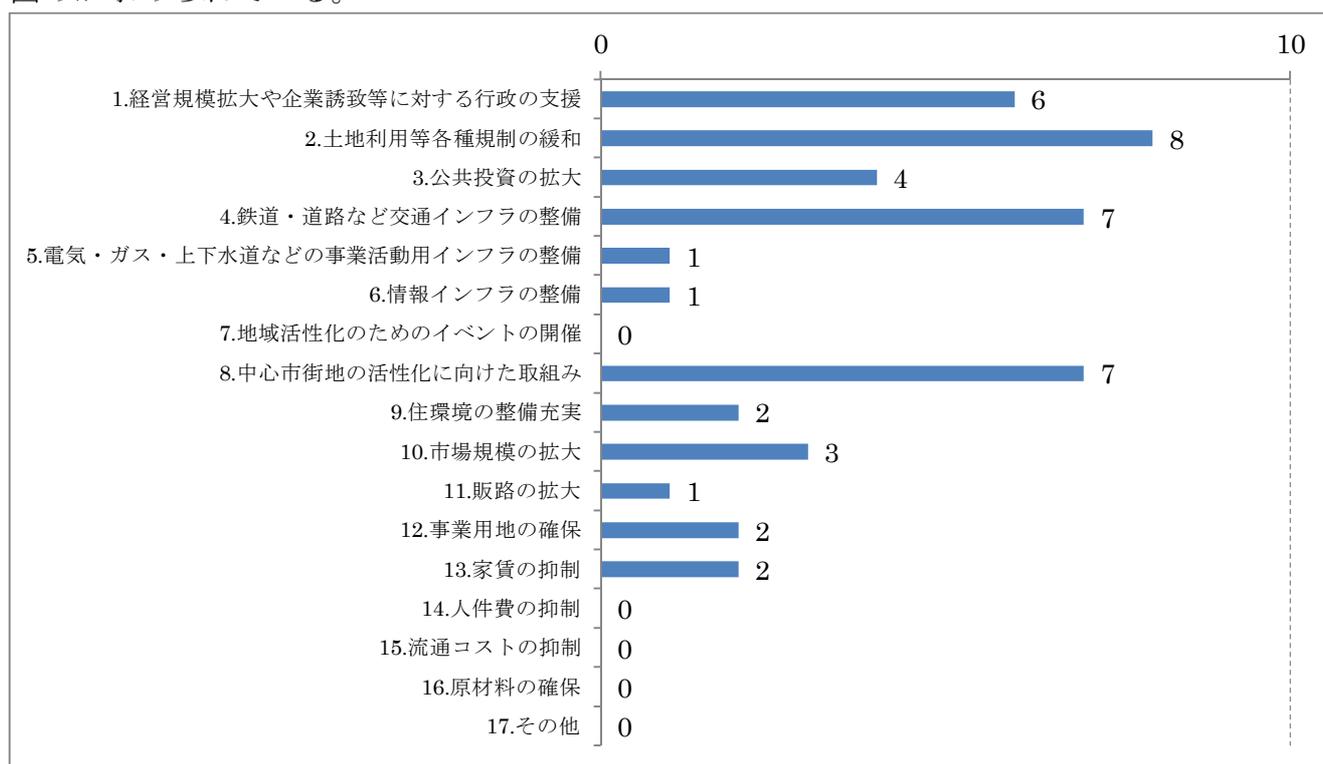
5-1. 高根沢町での事業継続予定 [問5 (1) : 1つ選択]

町の事業継承予定として、「1. 事業継続の予定であり、事業規模を拡大する予定 (8)」「2. 現状のまま、事業継続の予定 (8)」と同数で最も多く、回答事業者は将来的に渡って、町内で継続的な事業運営をしていくことを希望している。



5-2. 将来に向けて事業を継続・発展させていくために必要な取組 [問5(2):3つまで選択可能]

将来に向けて事業を継続・発展させていくために必要な取組みとして、回答者が最も多くあげたのが、「2. 土地利用等各種規制の緩和 (8)」となっている。次いで、「4. 鉄道・道路など交通インフラの整備 (7)」「8. 中心市街地の活性化に向けた取組み (7)」で、土地利用などの規制緩和、中心市街の活性化、交通利便性の向上など、町の賑わいづくりのための基礎固めが求められている。



●高根沢町定住人口増加プロジェクト策定 商工業代表者会議開催時における本アンケート調査全体に関するご意見

- 本アンケート調査とは別に誰でも簡単に回答できるようなアンケート調査も別途実施されてはどうか。また、若い層を中心として、コミュニティへの参加を望まない方も相当数いらっしゃると思う。そういう方々はアンケートを行っても回答を得られない可能性があるが無視するわけにはいかない。高根沢町に住んでもよいが、コミュニティには参加したくないという人たちを意識して、プロジェクトの策定をされたほうが良いのではないかな。
- 我々は地元で商いをしており、それぞれにいろんなことを感じている。よって、ターゲットを絞って、細かく対応できればよい。また、住民代表者アンケートに関しては、住民は区長だけではないので、各行政区から5名を選出して意見を出してもらい、細かく意見を聞くということも必要なのではないか。

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る
商工業代表者アンケート調査

高根沢町では、人口減少対策に取り組むため、「高根沢町定住人口増加プロジェクト～定住人口4万人を目指して～」を策定し、人口減少対策に関する施策の立案を行うこととしております。

今回、商工業代表者である皆様が、高根沢町の魅力等についてどのようにお考えになられているか（トレンド）を把握させていただくとともに商工業代表者の皆様から定住人口増加を図るためのご意見・ご提言を頂戴し、今後の町における定住人口増加施策立案の基礎資料とするため、アンケート調査及びインタビュー調査を行うことといたしました。

ご多忙中とは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただけますようお願いいたします。

平成26年7月

高根沢町長 加藤 公博

◎調査について

- ・本調査は、内閣府 平成26年度 特定地域再生事業費補助金事業の一環として実施いたします。
- ・個人情報の取り扱いについては、個人情報保護に関する関係法令を遵守いたします。
- ・調査結果は、『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定作業のみに使用し、調査目的以外には利用いたしません。

◎提出期限 平成26年8月4日（月）※第2回会議開催時にご提出ください。

◎問い合わせ先 高根沢町夢咲くまちづくり推進課 4万人構想推進係 TEL675-8113

問1. 町では、定住人口を増加させるために、高根沢町の「強み」（他市町と比較して優れている点）を伸ばしていく必要があると考えています。

そこで、あなたが考える高根沢町の「強み」を次のうちからお選びください。

（当てはまるもの**3つ以内**に○）

| | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い | 2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い |
| 3. 就労場所が豊富、近い | 4. 計画的な土地利用により暮らしやすい |
| 5. 土地が安く住宅が建てやすい | 6. 子育て環境、支援施策、施設が充実している |
| 7. 教育環境、支援施策、施設が充実している | 8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実している |
| 9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実している | 10. 身近な場所での買い物の利便性が高い |
| 11. 上下水道、道路など居住環境が充実している | 12. 防災、防犯施策によって安心して暮らせる |
| 13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている | 14. 地域のつながりが強い |
| 15. 若者が増加、いきいきしている | 16. 高齢者の活躍の場が多い |

○ 問1で選んでいただいた項目について、具体的な例示等があれば、その内容をご記入ください。

（記載例）

「2. 鉄道や道路など交通の便が良い」を選んだ場合

電車を利用した場合、宝積寺駅から宇都宮駅まで10分程度で行くことができる。

（1）

（2）

（3）

○ 問1の選択肢以外でお気づきの点があればご記入ください。

問2. 町では、定住人口を増加させるために、高根沢町の「弱み」（他市町と比較して劣っている点）を克服していく必要があると考えています。

そこで、あなたが考える高根沢町の「弱み」を次のうちからお選びください。

（当てはまるもの3つ以内に○）

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い | 2. 鉄道や道路など交通の利便性が低い |
| 3. 就労場所が少ない、遠い | 4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい |
| 5. 土地が高く住宅が建てにくい | 6. 子育て環境、支援施策、施設が充実していない |
| 7. 教育環境、支援施策、施設が充実していない | 8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない |
| 9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実していない | 10. 身近な場所での買い物の利便性が低い |
| 11. 上下水道、道路など居住環境が充実していない | 12. 防災、防犯面で不安を感じる |
| 13. 自然環境に恵まれていない | 14. 地域のつながりが弱い |
| 15. 若者が減少、活力がない | 16. 高齢者の活躍の場が少ない |

○ 問2で選んでいただいた項目について、具体的な例示等があれば、その内容をご記入ください。

（記載例）

「4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい」を選んだ場合

市街化調整区域では、都市計画法の制限等により新たな住宅の建設が困難であるため、人口減少が進んでいる。

（1）

（2）

（3）

○ 問2の選択肢以外でお気づきの点があればご記入ください。

問4. 定住人口の増加を図るためには、優良かつ安価な宅地の供給が必要になると考えられます。
そこで、町の土地利用に対するあなたの考えを次のうちからお選びください。

(当てはまるもの1つに〇)

1. 市街化区域と市街化調整区域の両区域で住宅地を増やすことが必要
2. 市街化調整区域内の農地等を活用し、住宅地を増やすことが必要
3. 市街化区域を拡大し、住宅地を増やすことが必要
4. 市街化区域内の未利用地を活用して住宅地を増やすことが必要
5. 現状のままで良い
6. その他 ()

〇定住人口の増加に向けた土地利用に関するご意見・ご提言をご記入ください。

問5. 町では、定住人口増加施策を展開するうえで、商工業の維持・発展は、就労の場や生産労働人口の確保、地域経済の活性化等の観点から、一層重要になってくると考えています。

そこで、商工業の代表者として、次の2つの質問にお答えください。

(1) 町では、あなたの会社・事業所に高根沢町で事業を継続していただきたいと考えています。

現時点において、あなたの会社・事業所は、将来（2050年まで）にわたって高根沢町で事業を継続される予定ですか。

(当てはまるもの1つに〇)

1. 事業継続の予定であり、事業規模を拡大する予定である
2. 現状のまま、事業継続の予定である
3. 規模を縮小して、事業継続の予定である
4. 事業を休止・停止する予定である
(休止・停止の予定時期 年頃)
5. 町外に移転予定である
(移転予定先)
(移転予定時期 年頃)
6. 未定

(2) 高根沢町において、将来に向けて事業を継続・発展させていくためには、どのような取組みが必要だと考えますか。

(当てはまるもの3つ以内に〇)

1. 経営規模拡大や企業誘致等に対する行政の支援
2. 土地利用等各種規制の緩和
3. 公共投資の拡大
4. 鉄道・道路など交通インフラの整備
5. 電気・ガス・上下水道などの事業活動用インフラの整備
6. 情報インフラの整備
7. 地域活性化のためのイベントの開催
8. 中心市街地の活性化に向けた取組み（宝積寺駅周辺駐車場の整備等）
9. 居住環境の整備充実
10. 市場規模の拡大（景気回復・人口増加等）
11. 販路の拡大（景気回復・人口増加等）
12. 事業用地の確保（価格抑制）
13. 家賃の抑制
14. 人件費の抑制
15. 流通コストの抑制
16. 原材料の確保
17. その他（ ）

| | |
|--|--|
| <p>貴社・貴事業所名及びご担当者名</p> <p>※差し障りのない範囲でご記入ください。 後日、アンケートの回答内容について確認をさせていただく場合等に使用させていただきます。</p> | <p>貴社・貴事業所名</p> <p>_____</p> <p>ご担当者名</p> <p>_____</p> |
|--|--|

～ ご協力ありがとうございました ～

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る

小中学生アンケート調査結果

実施期間：2014年8月25日

対象者：子ども会議メンバー

(町内の小学5年生～中学2年生の計20名)

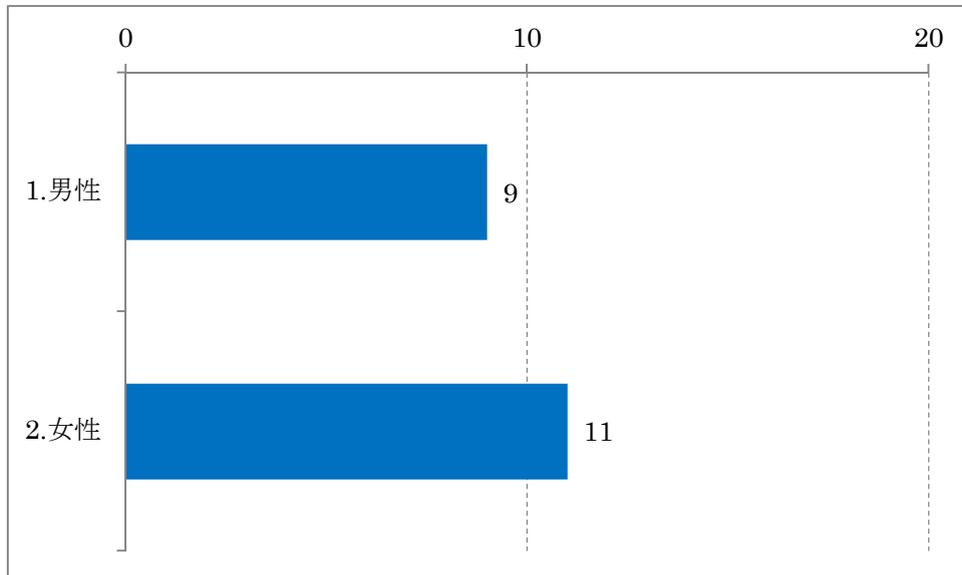
回答数：20名（回答率：100%）

目次

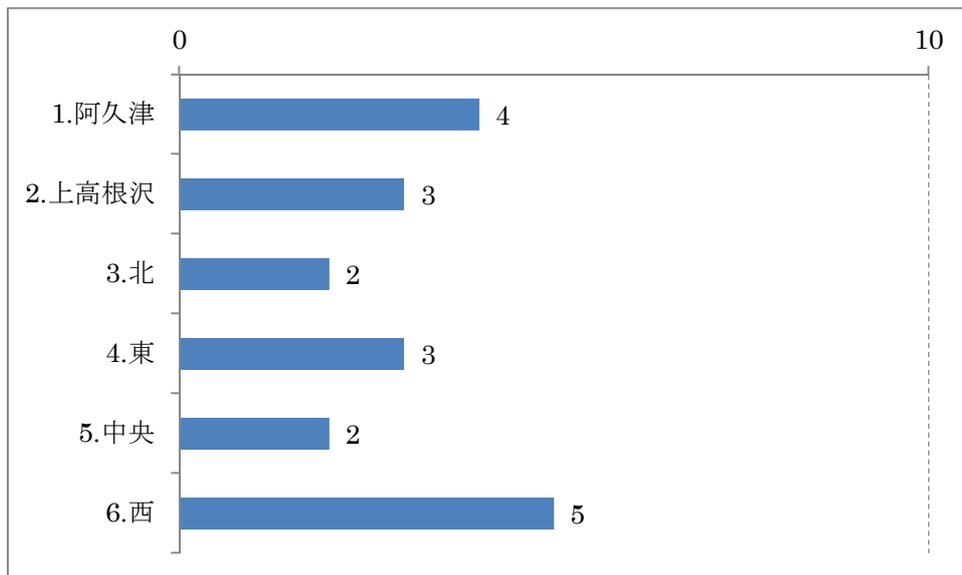
| | |
|-----------------|--------|
| 1.性別 | ・・・282 |
| 2.通学、または卒業した学校 | ・・・282 |
| 3.高根沢町の好きなところ | ・・・283 |
| 4.高根沢町のきれいなところ | ・・・284 |
| 5.将来的な在住希望とその理由 | ・・・285 |
| アンケート調査票 | ・・・287 |

1. 性別

(単位：人 以下同様)



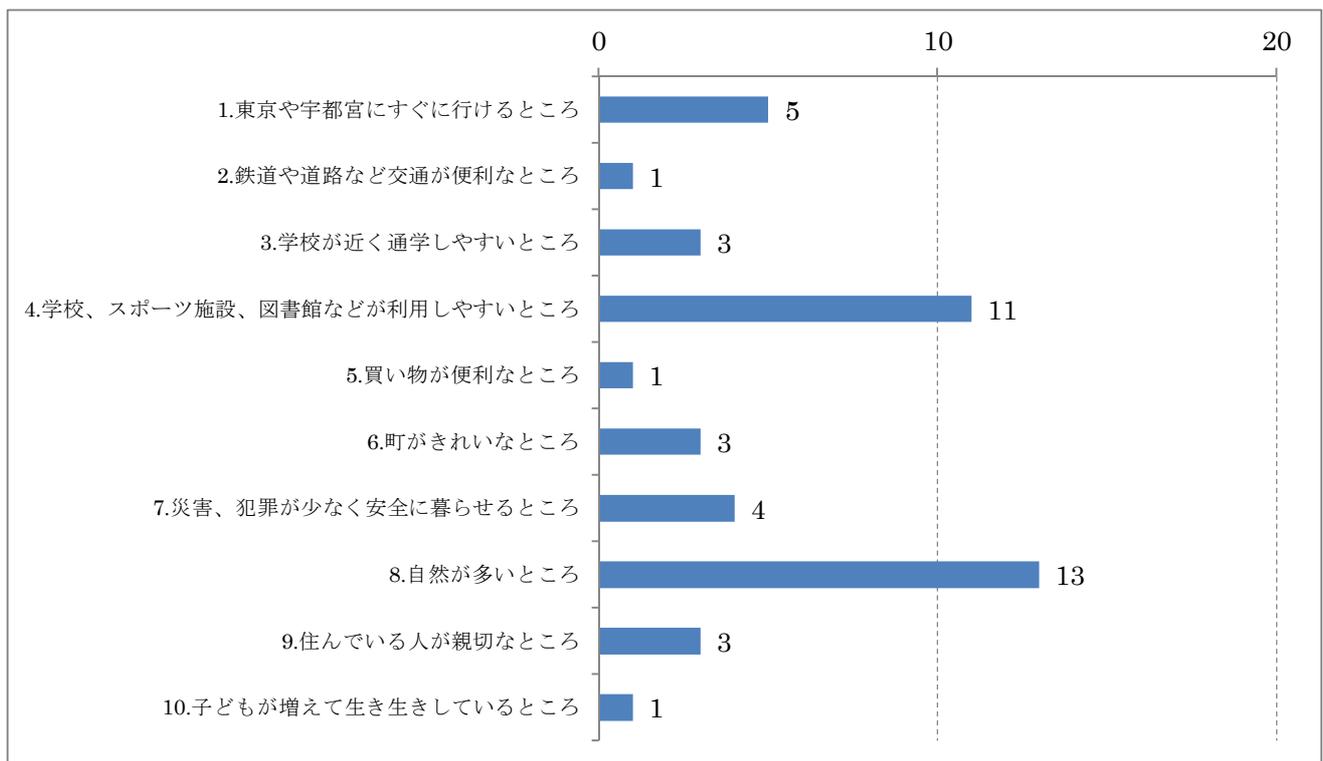
2. 通学、または卒業した学校



(1名無回答)

3. 高根沢町の好きなところ [問3：3つまで選択可能]

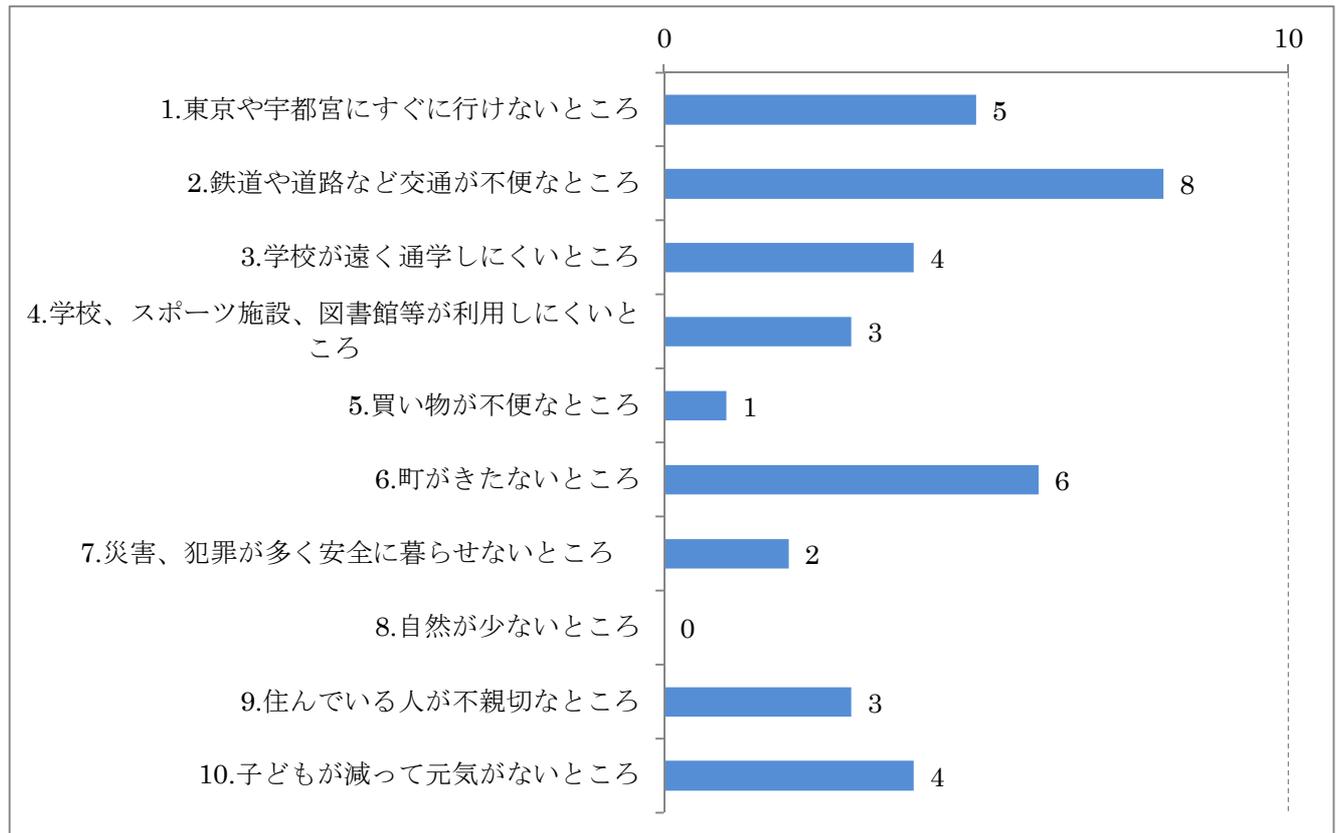
高根沢町の好きなところとして、もっとも多くあげられたのは、「8. 自然が多いところ(13)」で、次いで、「4. 学校、スポーツ施設、図書館などが利用しやすいところ(11)」、「1. 東京や宇都宮にすぐに行けるところ(5)」となっている。自然環境が豊かで、学習施設などの利便性が高いところが評価されており、外でも室内でも楽しく過ごせる場所が充実していることがうかがえる。



4. 高根沢町のきれいなところ [問4：3つまで選択可能]

高根沢町のきれいなところとして、もっとも多くあげられたのは、「3. 鉄道や道路など交通が不便なところ (8)」で、次いで、「6. 町がきたないところ (6)」 「1. 東京や宇都宮にすぐに行けないところ (5)」となっている。

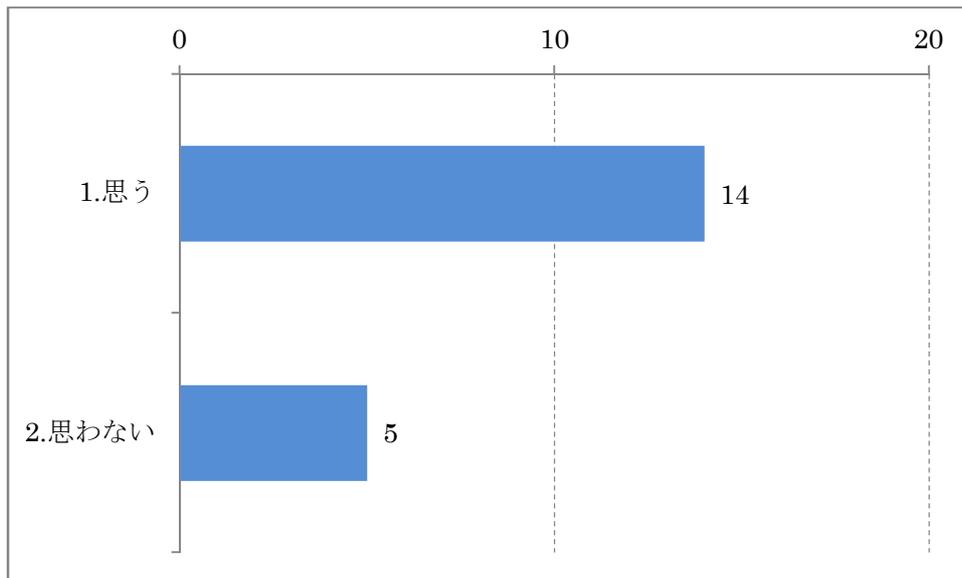
高根沢町のさらなる魅力向上のために、交通利便性の向上と環境整備が求められている。



5. 将来的な在住希望とその理由 [問5：二者択一、問6、7（問5の選択理由）：自由記述]

大人になっても高根沢町に住みたいと思うかについて、「思う（14）」、「思わない（5）」と約7割が住みたいと答えている。

住みたい理由としては、自然が豊か、すみやすい、安全なところなどが挙げられている。一方で、住みたくない理由としては、都会の利便性を求めるものなどの理由があげられた。



(1名無回答)

住みたい理由

| | |
|----|---------------------------------|
| 1 | 特に考えてないから。 |
| 2 | 安全で静かな所だから。 |
| 3 | 自然が多く、町内がきれいだから。 |
| 4 | 自然が多いので子どもがくらすのに適していると思うから。 |
| 5 | 高根沢町の人と町全体が好きだから。 |
| 6 | 自然がたくさんある。 |
| 7 | ずっとすんでいるから。 |
| 8 | 緑が多く、静かだから。 |
| 9 | 自然豊かだから。 |
| 10 | 自然が豊かでにぎやかだから |
| 11 | 自然が豊かで、過ごしやすい気持ちの良い町だと思うから。 |
| 12 | 災害が少ないから。 |
| 13 | 住みやすい町だと思うから。 |
| 14 | 今、自分の家の周りの人が、とても良い人でとても住みやすいから。 |

住みたくない理由

| | |
|---|---------------------------------|
| 1 | ぼくがしたいことは高根沢でできないから。 |
| 2 | お母さんの実家の自然がきれいだから（さくらなど）。 |
| 3 | 「ほしい」という物がちがう都道府県にあるし、安全が少ないから。 |
| 4 | 東京に行って便利な生活をしたい。 |
| 5 | もっと都会に住みたいから。 |

小学生・中学生アンケート調査

高根沢町では、たくさんの人に「住みたい町」「住み続けたい町」と思ってもらえる町の計画づくりに取り組んでいます。

この計画をつくっていくにあたり、高根沢町の未来をになう小学生や中学生のみなさんのご意見を取り入れたいと考えています。

そこで、普段みなさんが感じている「高根沢町に対する印象」などについて、以下のアンケートにご協力をお願いします。

質問1 あなたの性別は？ (あてはまるものに○)

- 1 男性
- 2 女性

質問2 あなたの通学している又は卒業した学校は？ (あてはまるものに○)

- 1 阿久津小学校 2 上高根沢小学校 3 北小学校
- 4 東小学校 5 中央小学校 6 西小学校

質問3 高根沢町の好きなおところは？ (あてはまるもの3つまで○)

- 1. 東京や宇都宮にすぐに行けるところ 2. 鉄道や道路など交通が便利なおところ
- 3. 学校が近く通学しやすいところ 4. 学校、スポーツ施設、図書館などが利用しやすいところ
- 5. 買い物が便利なおところ 6. 町がきれいなおところ
- 7. 災害、犯罪が少なく安全に暮らせるところ 8. 自然が多いところ
- 9. 住んでいる人が親切なおところ 10. 子どもが増えて生き生きしているところ

質問4 高根沢町のきれいなところは？**(あてはまるもの3つまで○)**

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 東京や宇都宮にすぐに行けないところ | 2. 鉄道や道路など交通が不便なところ |
| 3. 学校が遠く通学しにくいところ | 4. 学校、スポーツ施設、図書館等が利用しにくいところ |
| 5. 買い物が不便なところ | 6. 町がきたないところ |
| 7. 災害、犯罪が多く安全に暮らせないところ | 8. 自然が少ないところ |
| 9. 住んでいる人が不親切なところ | 10. 子どもが減って元気がないところ |

質問5 あなたは、大人になっても高根沢町に住みたいと思いますか？**(あてはまるものに○)**

- | | |
|---------|--------------|
| 1. 思う | ⇒ 問6へ進んでください |
| 2. 思わない | ⇒ 問7へ進んでください |

質問6 質問5で「1. 思う」と答えた理由を教えてください。

| |
|--|
| |
|--|

質問7 質問5で「2. 思わない」と答えた理由を教えてください。

| |
|--|
| |
|--|

ご協力ありがとうございました。

私たちは、みなさんからいただいたご意見をまちづくりに活かし、「住みたい町」「住み続けたい町」と思ってもらえる高根沢町をつくります。

未来の高根沢町に期待してください。

| |
|-----------------|
| 高根沢町夢咲くまちづくり推進課 |
|-----------------|

| |
|----------|
| 4万人構想推進係 |
|----------|

| |
|------------------|
| Tel 028-675-8113 |
|------------------|

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る

転入者アンケート調査結果

実施期間：2014年8月4日～9月30日

転入者：83名

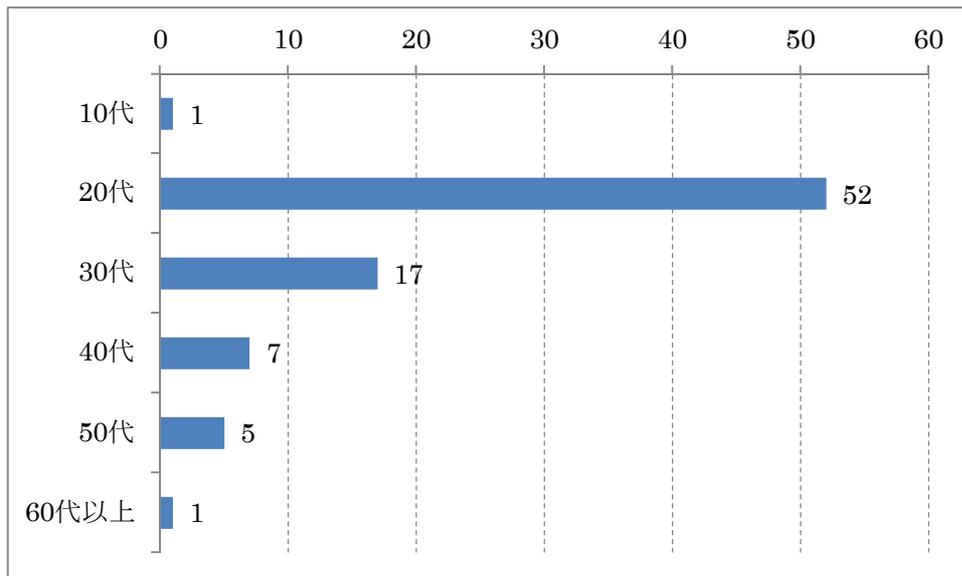
目次

| | | |
|----|---|--------|
| 1. | 回答者属性（①年齢、②性別、③世帯人数、④配偶者の有無、 ⑤子どもの有無、⑥職業、⑦勤務先） | ・・・292 |
| 2. | 転入前の住所 | ・・・296 |
| 3. | 転入の理由 | ・・・297 |
| 4. | 高根沢町についての魅力 | ・・・298 |
| 5. | 高根沢町についての不満 | ・・・299 |
| 6. | 転入前と転入後の住宅状況 | ・・・300 |
| 7. | 転入者アンケートクロス集計 | ・・・301 |
| | アンケート調査票 | ・・・303 |

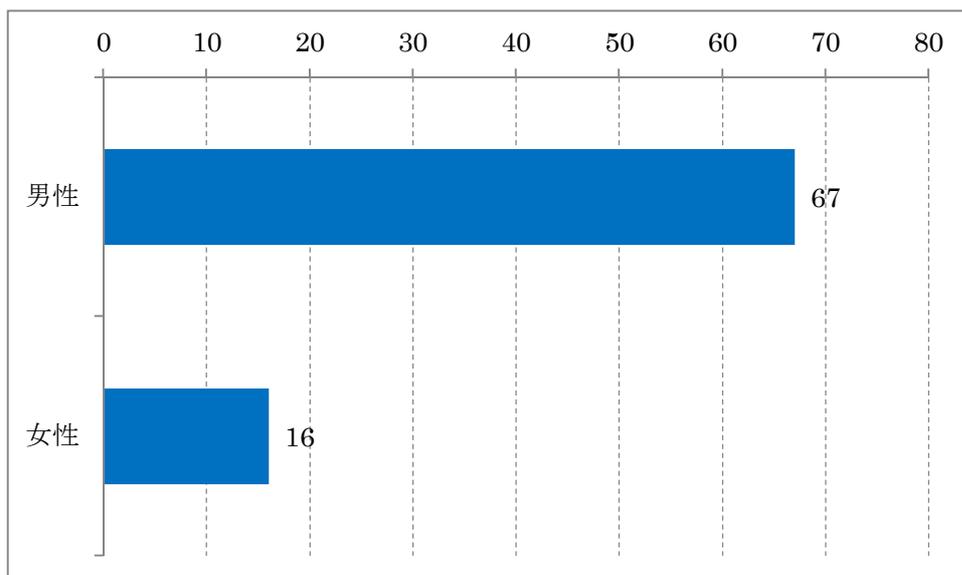
1. 回答者属性

年齢は20～30代が約8割、単身世帯が約6割、会社員、及び勤務先が栃木県内の人が約9割となっている。また、子供の有無に関しては回答者数の約1割が有りと回答し、回答のあった子供の人数すべては1～2人であった。

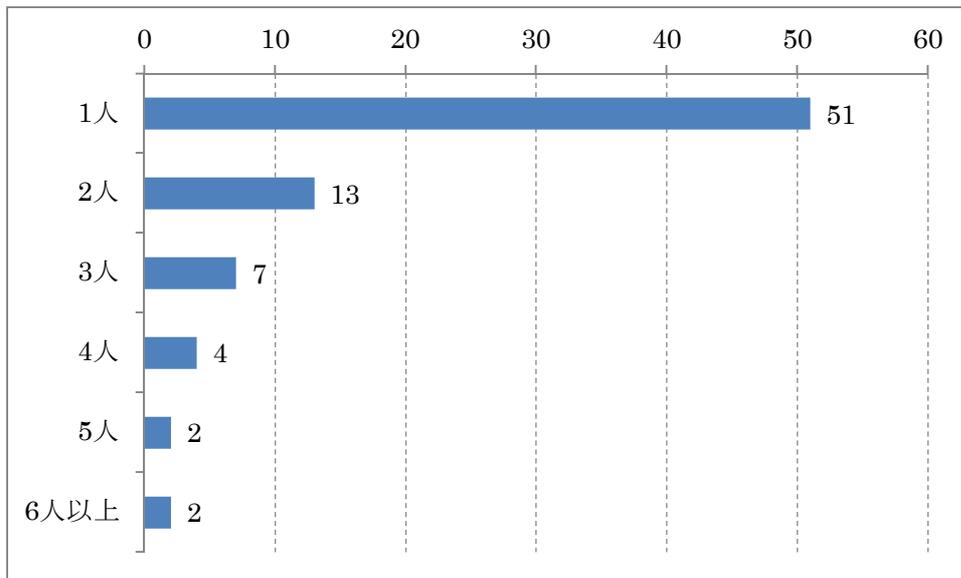
①年齢



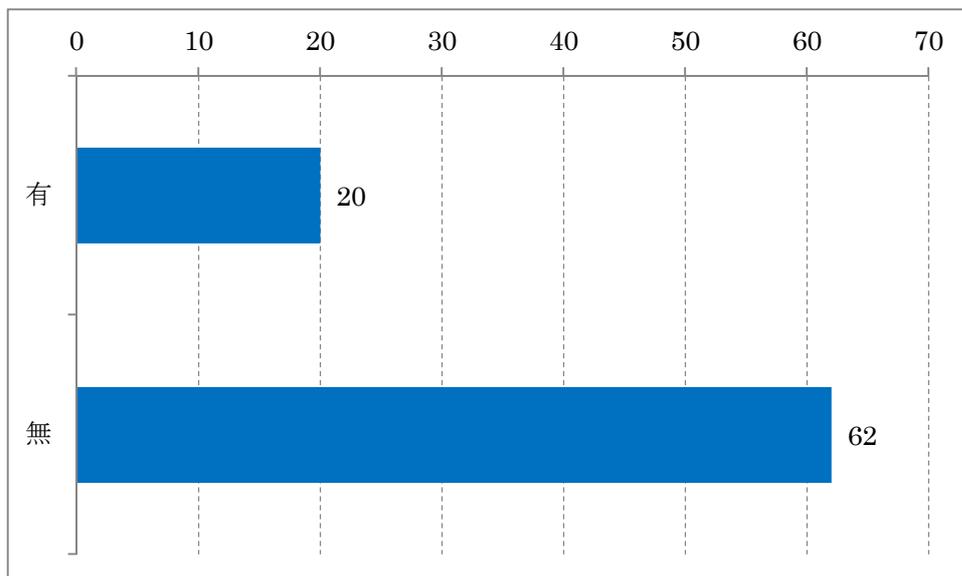
②性別



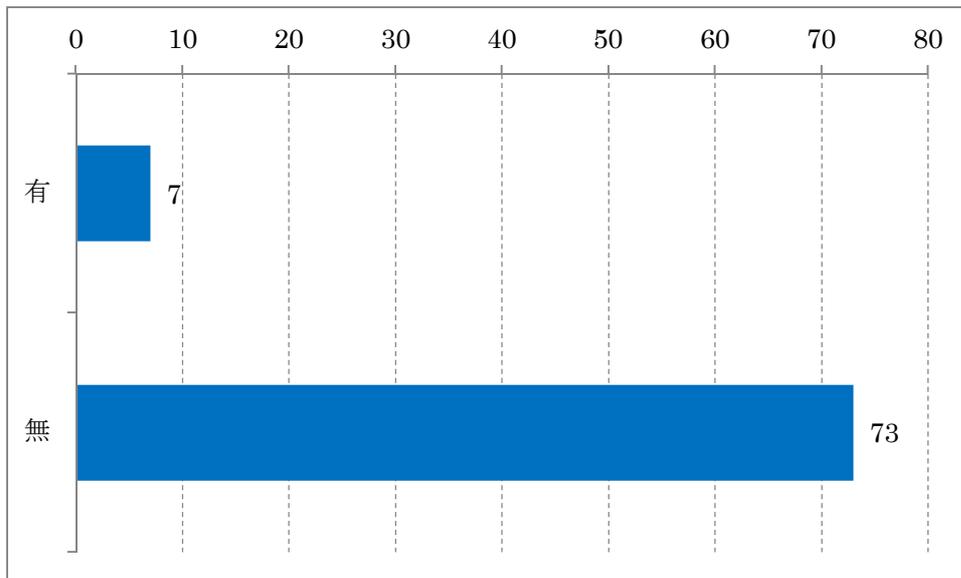
③世帯人数



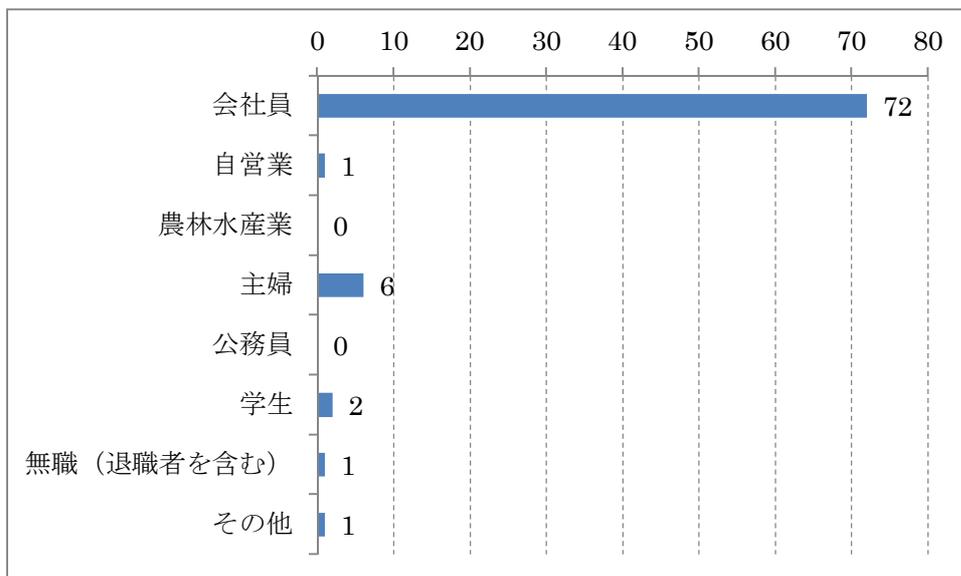
④配偶者の有無



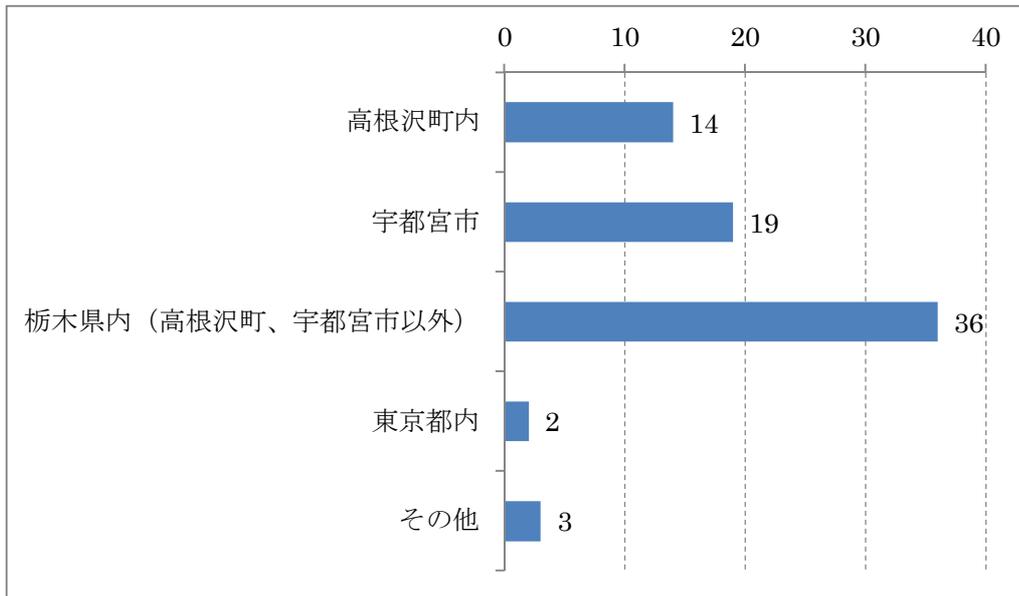
⑤子供の有無



⑥職業



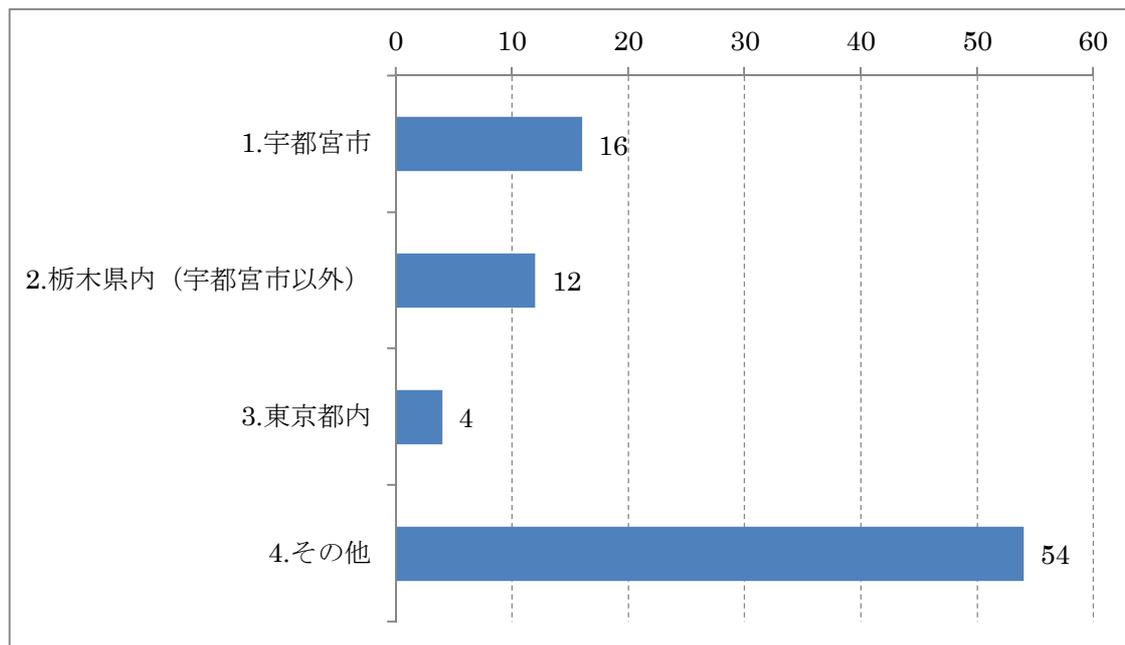
⑦勤務先



2. 転入前の住所 [問1：1つ選択]

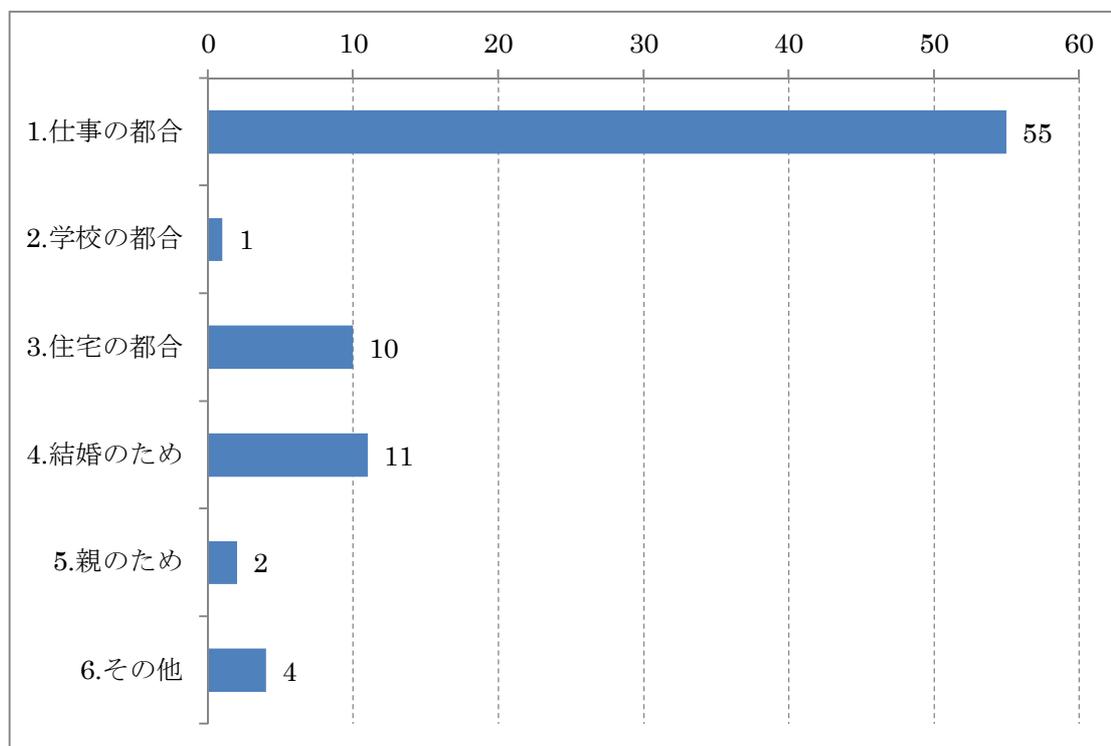
転入前の住所で最も多いのは「4. その他 (54)」となっている。詳細の地域 (自由回答) を見てみると、埼玉県、神奈川県、茨城県などの関東圏、福島県、宮城県、新潟県、長野県など東北地域、そのほか、山口県、京都府、岡山県、三重県、愛知県など西日本地域となっている。高根沢町は、栃木県内よりも、他の都道府県からの転入者の割合が高くなっている。

(単位：人 以下同様)



3. 転入の理由 [問2：1つ選択]

転入の理由で最も多かったのは、「1. 仕事の都合 (55)」、次いで、「4. 結婚のため (11)」、「3. 住宅の都合 (10)」となっている。

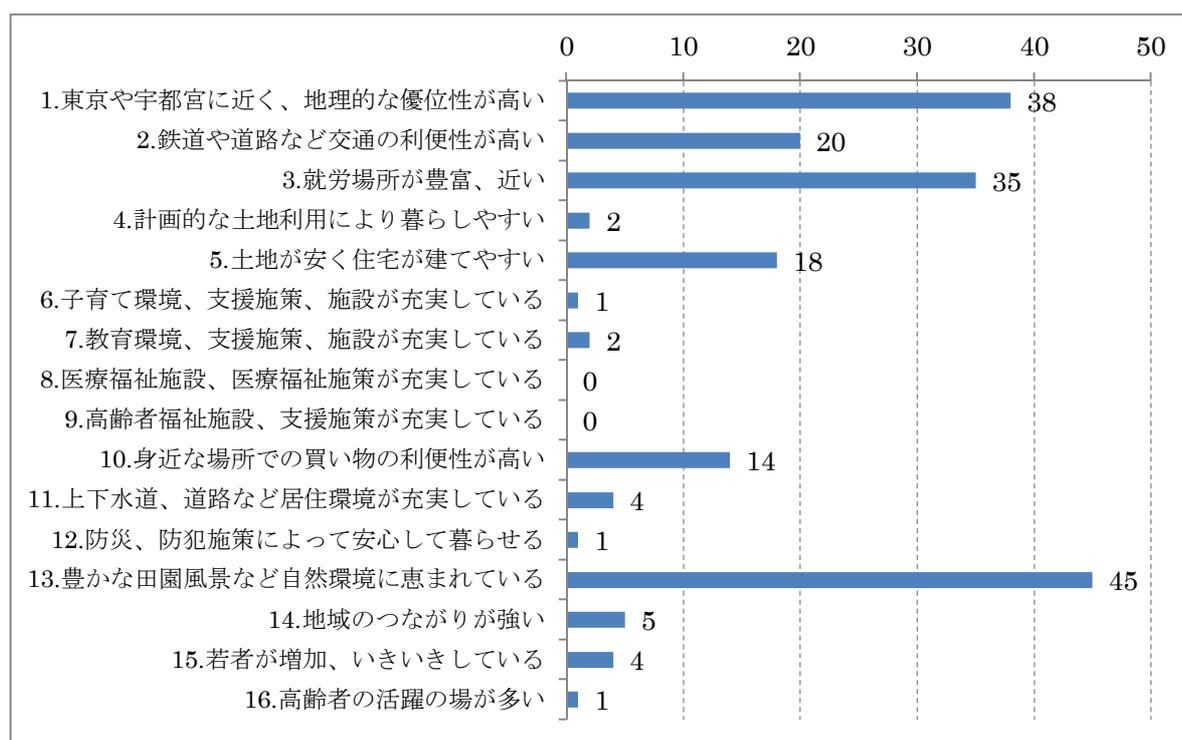


4. 高根沢町についての魅力 [問3：3つまで選択可]

高根沢町についての魅力に関して最も多かったのは、「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている (45)」となっている。次いで、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (38)」「3. 就労場所が豊富、近い (35)」となっている。豊かな自然環境と都心に近いといった利便性を兼ね備えた生活環境が評価されている。

年齢別で見ると、20代（最も多くの回答数を得られた属性：52）では、「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている (31)」が最も多く、次いで「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (23)」「3. 就労場所が豊富、近い (23)」が同数で半数以上が選択している。

さらに、男女別で見ると、男性 (67)、女性 (16) とともに、上位の選択肢は、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い」、「3. 就労場所が豊富、近い」「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている」となっている。



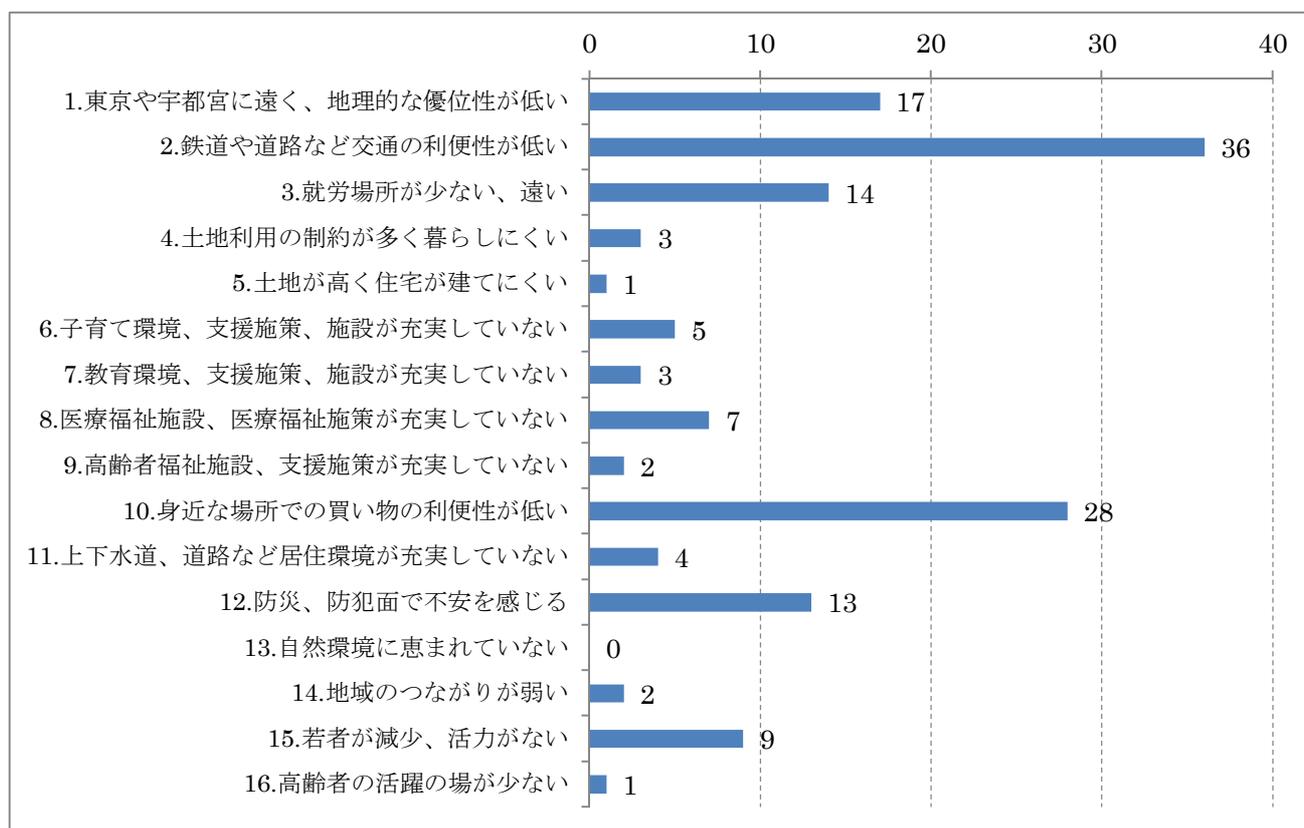
5. 高根沢町についての不満 [問4：3つまで選択可]

高根沢町についての不満に関して最も多かったのは、「2. 鉄道や道路などの交通利便性が低い (36)」、次いで「10. 身近な場所での買い物利便性が低い (28)」「1. 東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い (17)」となっている。

年齢別で見ると、20代（最も多くの回答数を得られた属性：52）では、全体と同じ傾向となっている。

また、男女別においても、男性（67）、女性（16）ともに、全体と同じ傾向になっていることから、全体的に、生活利便性において、何らかの不満があることがうかがえる。

なお、「2. 鉄道や道路などの交通利便性が低い」など、前問の魅力としても挙げられていた。選択肢2に関連した自由意見の中には、宇都宮・宝積寺駅間の最終電車の時刻が早いなどのご意見があった。



6. 転入前と転入後の住宅状況（問5：各1つ選択）

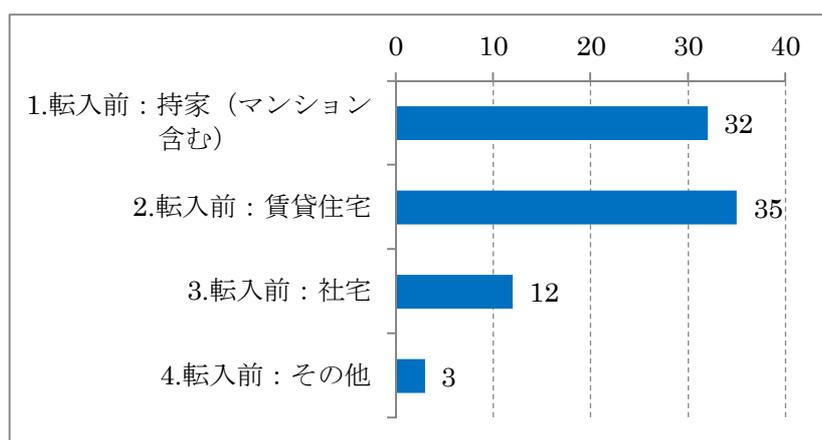
転入前の住宅状況は「2. 賃貸住宅（35）」、次いで「1. 持家（マンション含む）＜32＞」となっている。

一方で、転入後の住宅状況も同じく「2. 賃貸住宅（42）」、次いで「3. 社宅（26）」となっている。

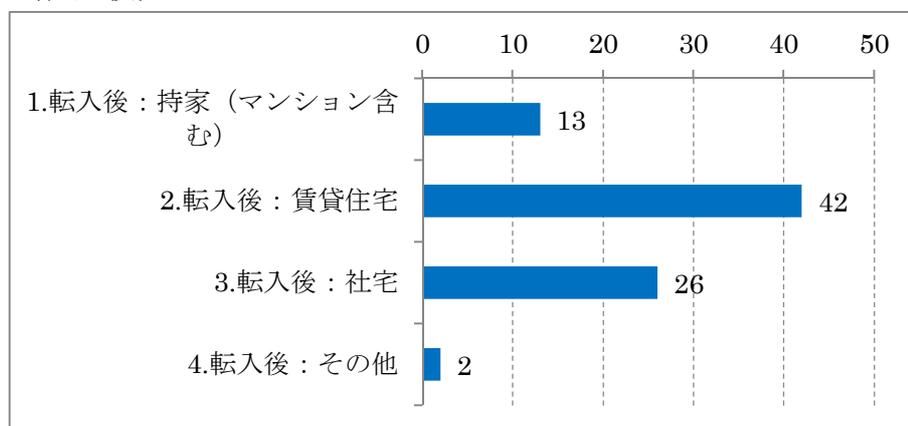
年齢別で見ると、20代（最も多くの回答数を得られた属性：52）では、転入後の住宅は「転入後：賃貸住宅」と回答した人は24名と約5割となっており、「転入後：持家」と回答した人は4名にとどまっている。

さらに、問2の転入の理由を「住宅の都合」と回答した10名のうち、「転入後：持家」と回答した人は3人、他7名は賃貸住宅と回答しており、住宅購入の割合は低い。また、問2の転入の理由を「仕事の都合」と回答した55名のうち、「転入後：持家」と回答した3人で、賃貸住宅25人、社宅25人、その他2人となっている。

（転入前）

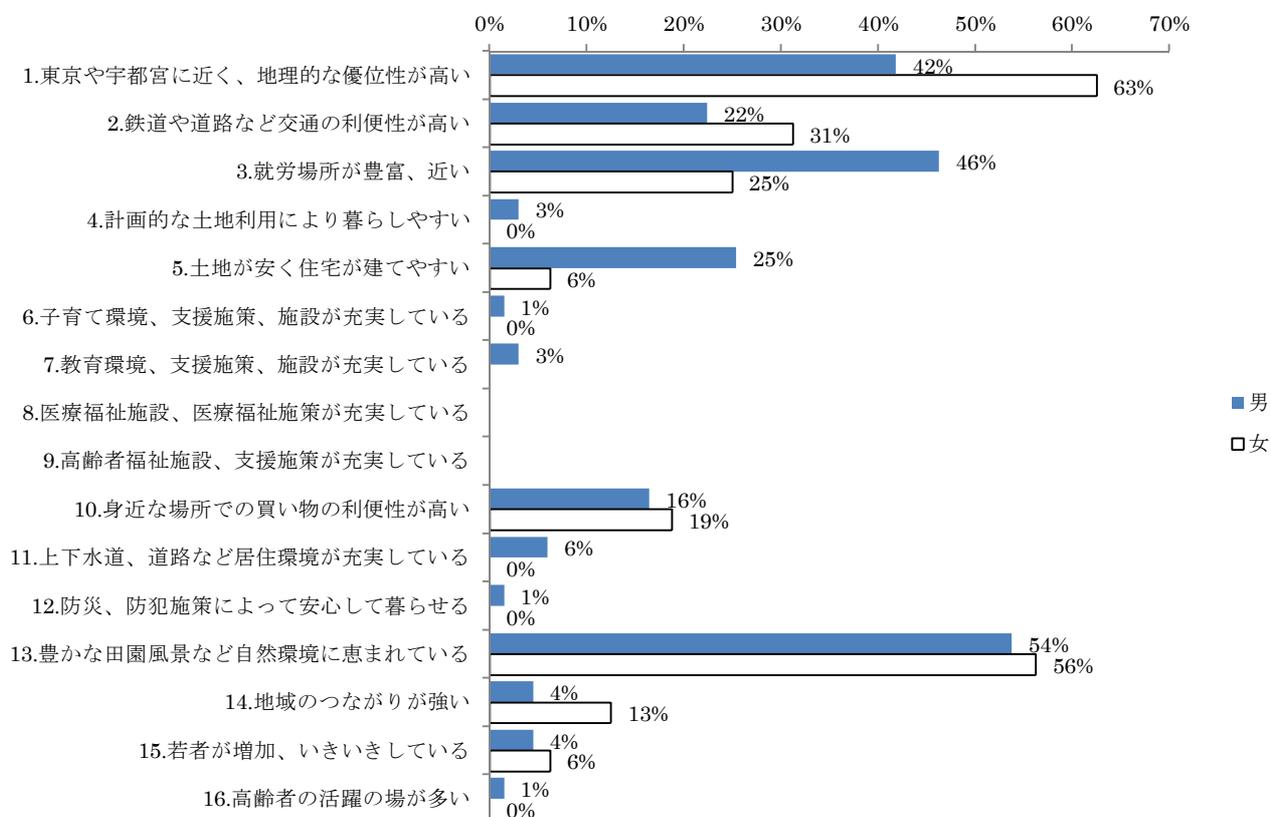


（転入後）

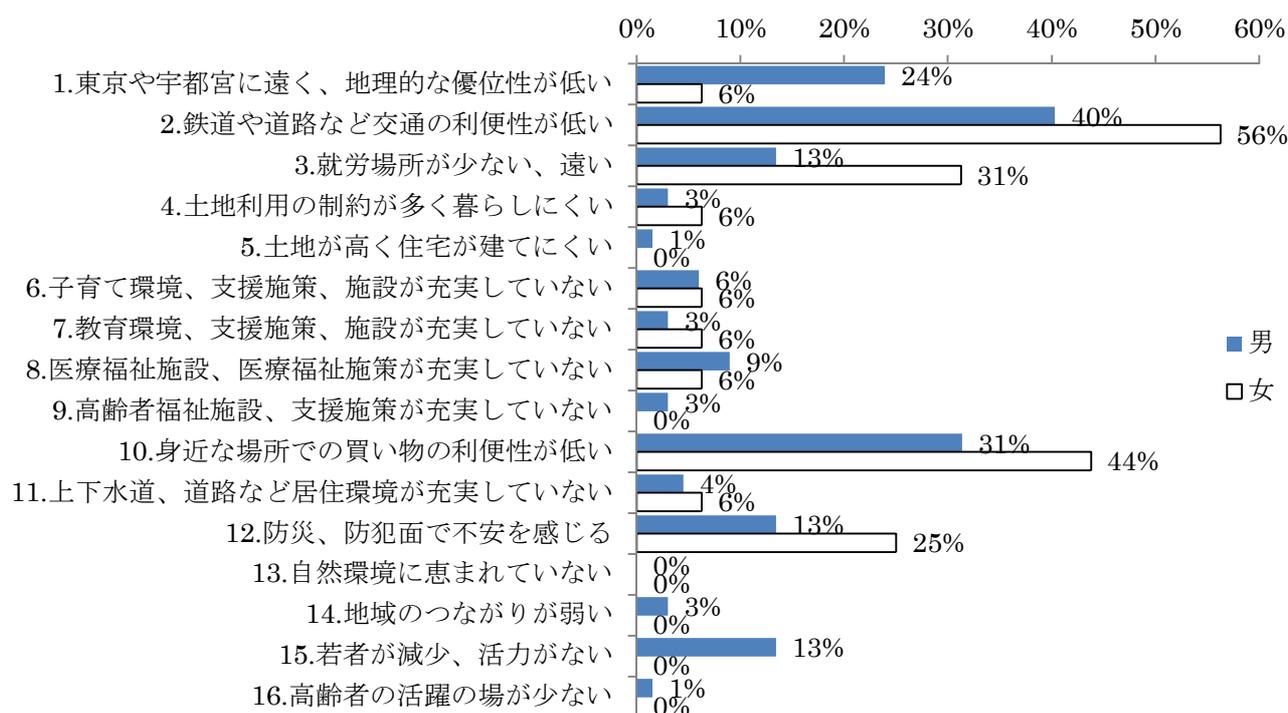


7. 転入者アンケートクロス集計 男女属性別に整理すると下図表の通り

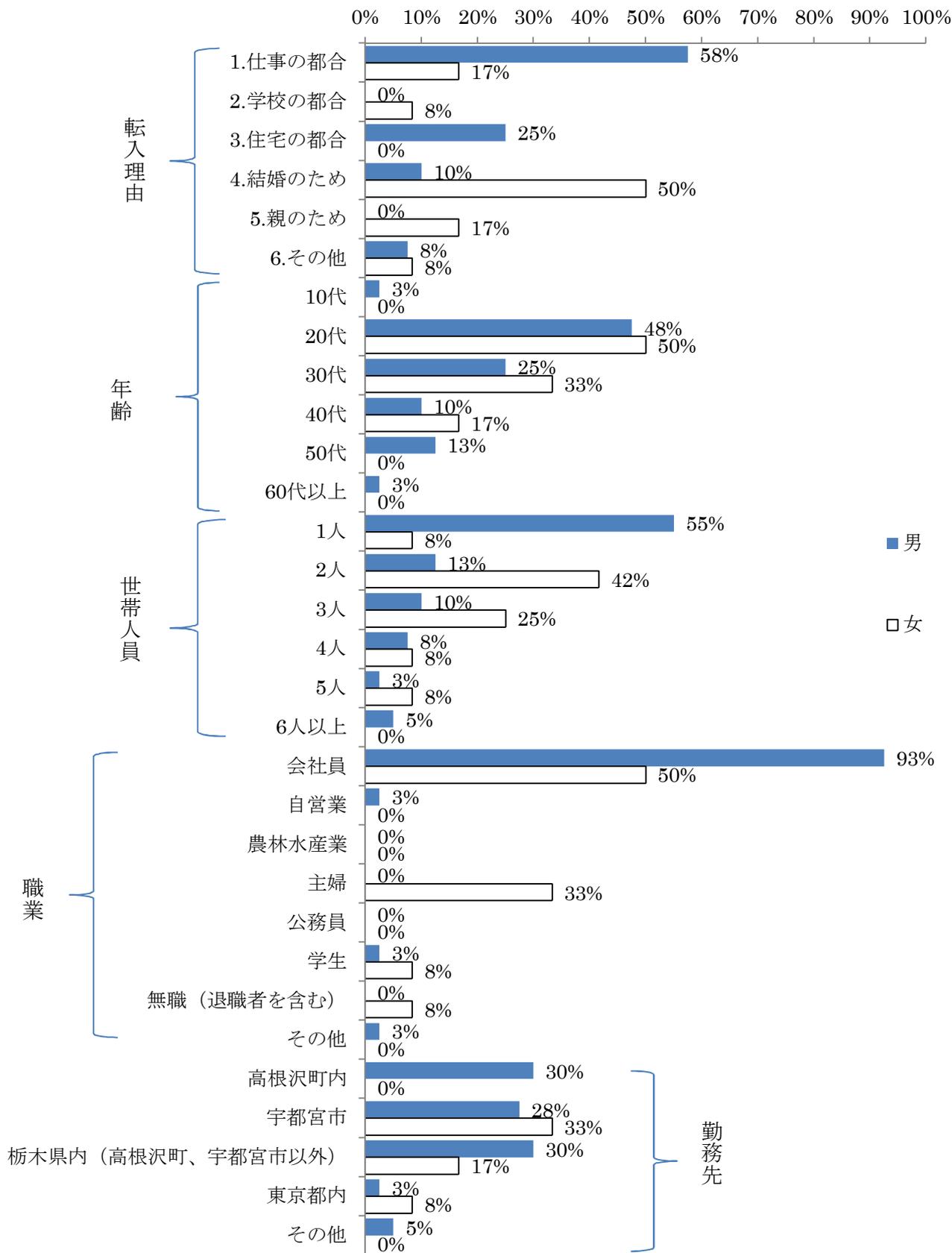
図表 高根沢の魅力



図表 高根沢の不満



図表 属性別 転入理由 年齢 世帯人員 職業 勤務先



高根沢町人口移動に関するアンケート調査

転入

転入される皆様へ

このアンケート調査は、高根沢町の今後のまちづくりの参考資料とするため、人口動態を調査・分析するためのものです。調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力をお願いいたします。

なお、「無記名方式」のため、個人が特定されることはありません。また、お答えいただいた内容については、統計的な処理・分析を行うこと以外に、他の目的で使用することは一切ありません。

| 質問項目 | 選択肢（該当するものを○で囲んでください） |
|---|--|
| 問1. 転入前の住所 | 1. 宇都宮市 2. 栃木県内（宇都宮市以外） 3. 東京都内 4. その他（ ） |
| 問2. 転入の理由 | 1. 仕事の都合（就職、転勤、退職など） 2. 学校の都合 3. 住宅の都合（住宅購入、住み替えなど） 4. 結婚のため 5. 親のため 6. その他（ ） |
| 問3. 高根沢町について <u>魅力と感じる点を3つ お選びください</u> | 1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い 2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い 3. 就労場所が豊富、近い 4. 計画的な土地利用により暮らしやすい 5. 土地が安く住宅が建てやすい 6. 子育て環境、支援施策、施設が充実している 7. 教育環境、支援施策、施設が充実している 8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実している 9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実している 10. 身近な場所での買い物の利便性が高い 11. 上下水道、道路など居住環境が充実している 12. 防災、防犯施策によって安心して暮らせる 13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている 14. 地域のつながりが強い 15. 若者が増加、いきいきしている 16. 高齢者の活躍の場が多い |
| 問4. 高根沢町について <u>不満と感じる点を3つ お選びください</u> | 1. 東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い 2. 鉄道や道路など交通の利便性が低い 3. 就労場所が少ない、遠い 4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい 5. 土地が高く住宅が建てにくい 6. 子育て環境、支援施策、施設が充実していない 7. 教育環境、支援施策、施設が充実していない 8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない 9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実していない 10. 身近な場所での買い物の利便性が低い 11. 上下水道、道路など居住環境が充実していない 12. 防災、防犯面で不安を感じる 13. 自然環境に恵まれていない 14. 地域のつながりが弱い 15. 若者が減少、活力がない 16. 高齢者の活躍の場が少ない |
| 問5. 転入前と転入後の 住宅の状況をお聞かせ ください | ① 転入前 1. 持家（マンション含む） 2. 賃貸住宅 3. 社宅 4. その他 ② 転入後 1. 持家（マンション含む） 2. 賃貸住宅 3. 社宅 4. その他 |

以下、差支えない範囲でお教えてください

| | | | | | | | |
|---|----------------|-------|------|-------------------|-----|-----|--------------------------|
| 1 | 年齢 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
| 2 | 性別 | 男性 | 女性 | | | | |
| 3 | 世帯人数（本人含む） | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 6人以上 |
| 4 | 配偶者の有無 | 有 | 無 | | | | |
| 5 | 子供の有無 | 有（ | 人） | 無 | | | |
| 6 | 職業 （パートを含む） | 会社員 | 自営業 | 農林水産業 | 主婦 | 公務員 | 学生 無職（退職者を含む） その他（ |
| 7 | 勤務先（通勤先） | 高根沢町内 | 宇都宮市 | 栃木県内（高根沢町、宇都宮市以外） | | | 東京都内 その他 |

高根沢町の今後の発展のために
ご意見をお聞かせください

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

『高根沢町定住人口増加プロジェクト』策定に係る

転出者アンケート調査結果

実施期間：2014年8月4日～9月30日

転出者：113名

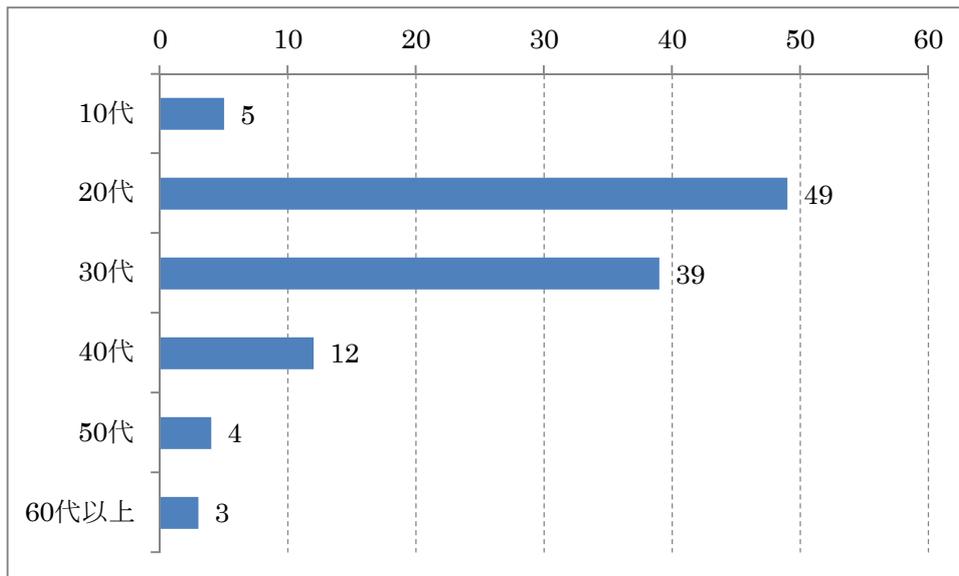
目次

| | | |
|----|---|--------|
| 1. | 回答者属性（①年齢、②性別、③世帯人数、④配偶者の有無、 ⑤子どもの有無、⑥職業、⑦勤務先） | ・・・308 |
| 2. | 転出の理由 | ・・・312 |
| 3. | 転出先 | ・・・312 |
| 4. | 高根沢町についての魅力 | ・・・313 |
| 5. | 高根沢町についての不満 | ・・・314 |
| 6. | 転入前と転入後の住宅状況 | ・・・315 |
| 7. | 転出者アンケートクロス集計 | ・・・316 |
| | アンケート調査票 | ・・・318 |

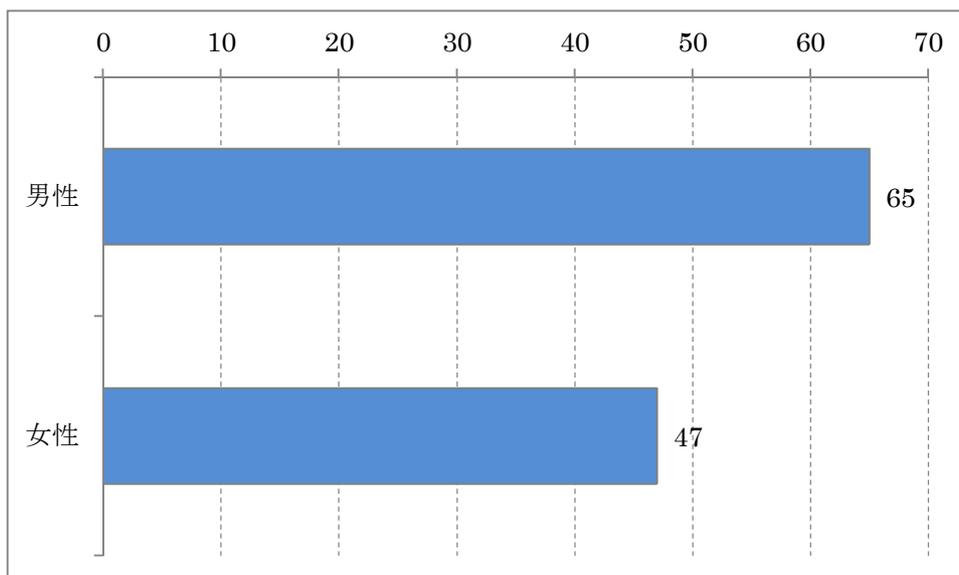
1. 回答者属性

年齢は20～30代が約8割、単身世帯が約4割で、会社員、及び勤務先が栃木県内と回答した人が約7割となっている。また、子供の有無に関しては回答者数の約4割が有りと回答し、そのうち、子供の数は1～2人と回答した人は約9割となっている。

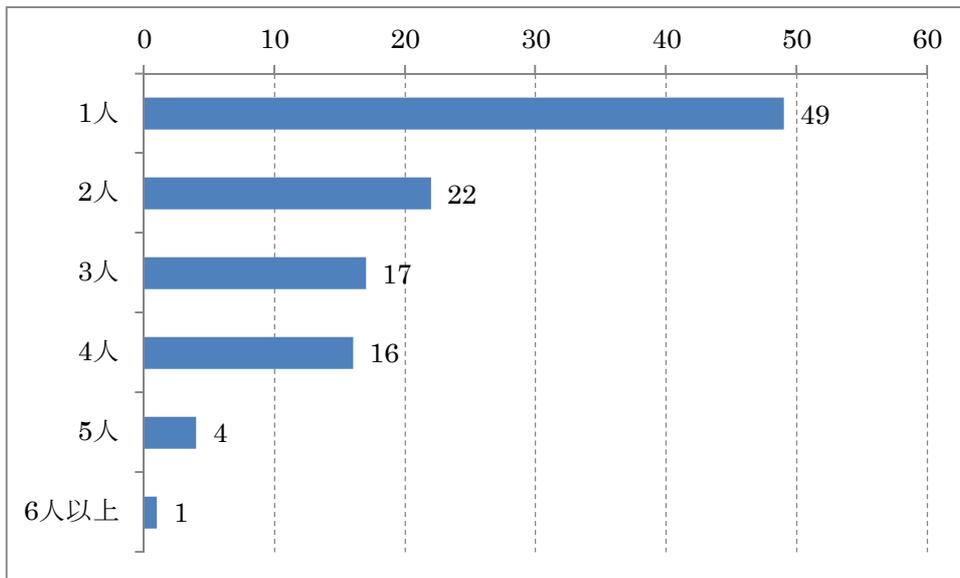
①年齢



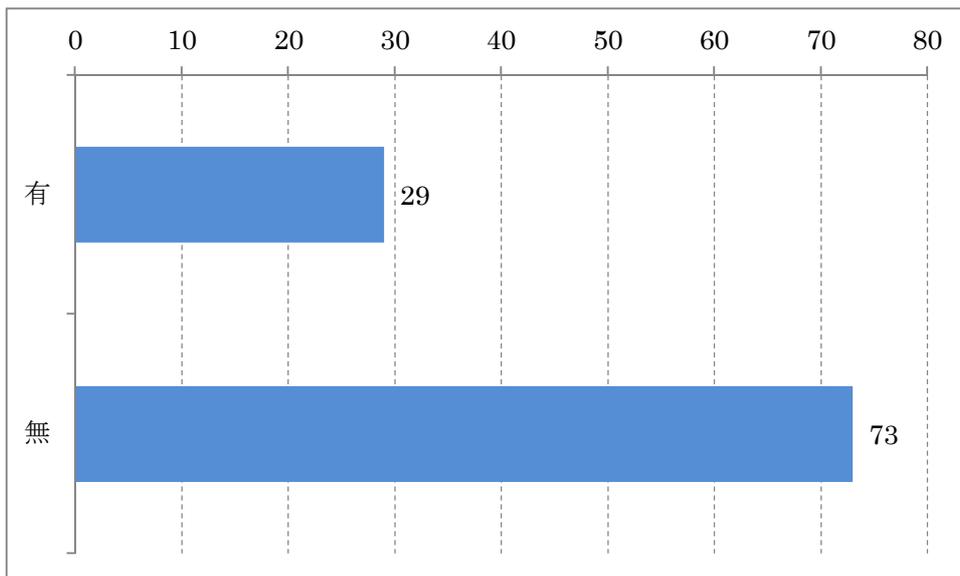
②性別



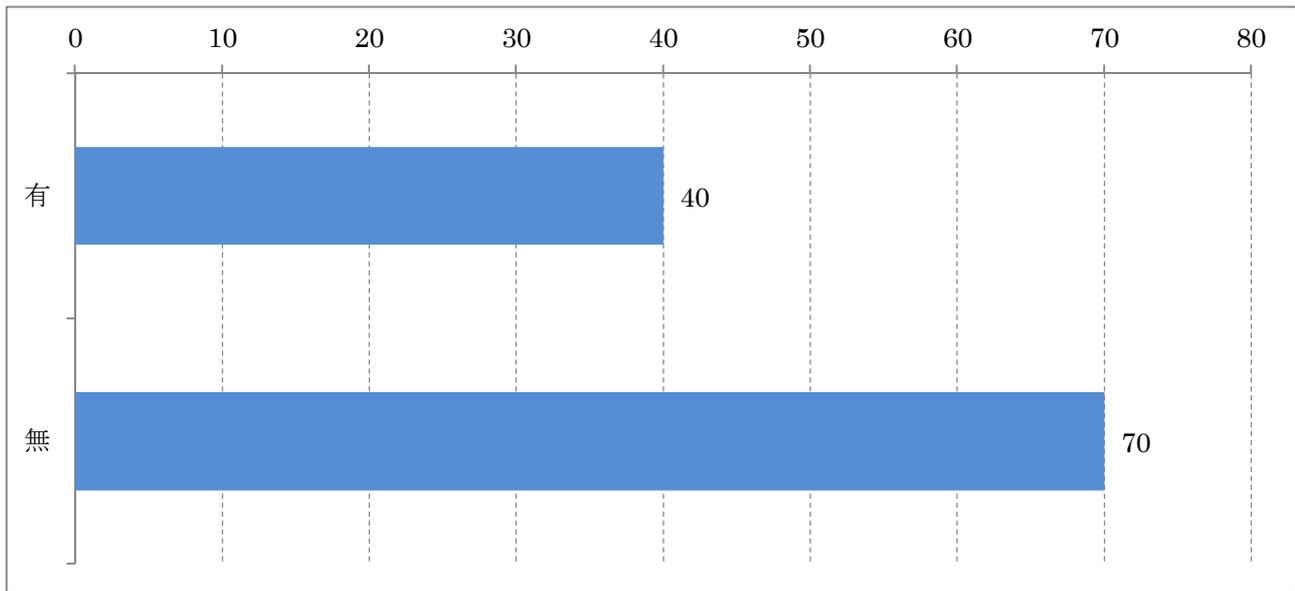
③世帯人数



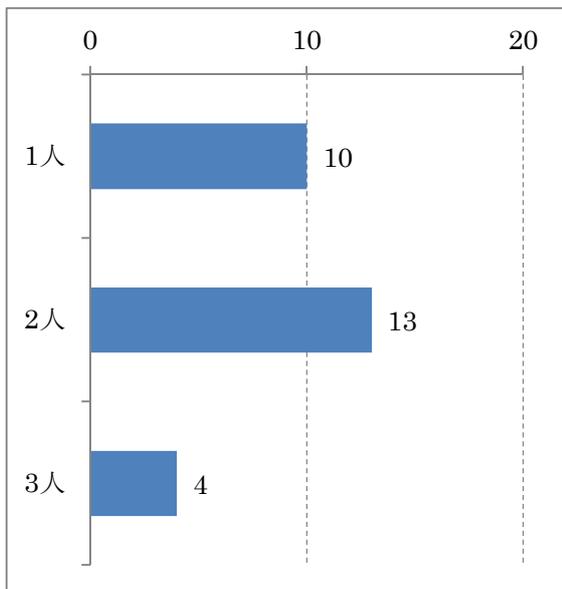
④配偶者の有無



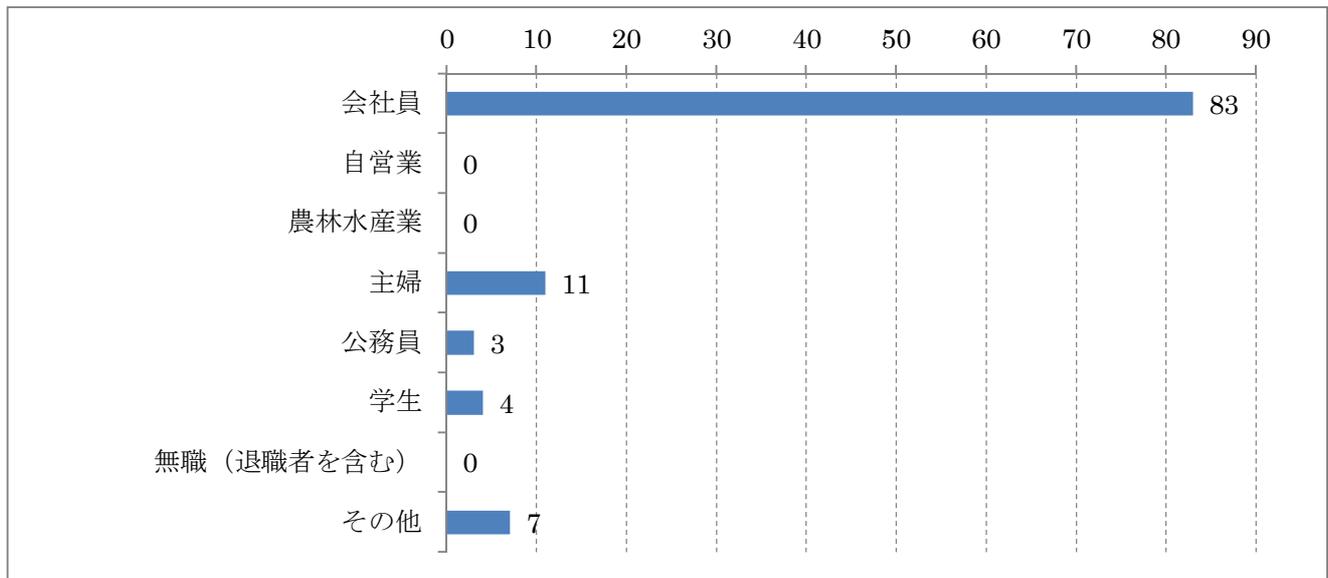
⑤子供の有無



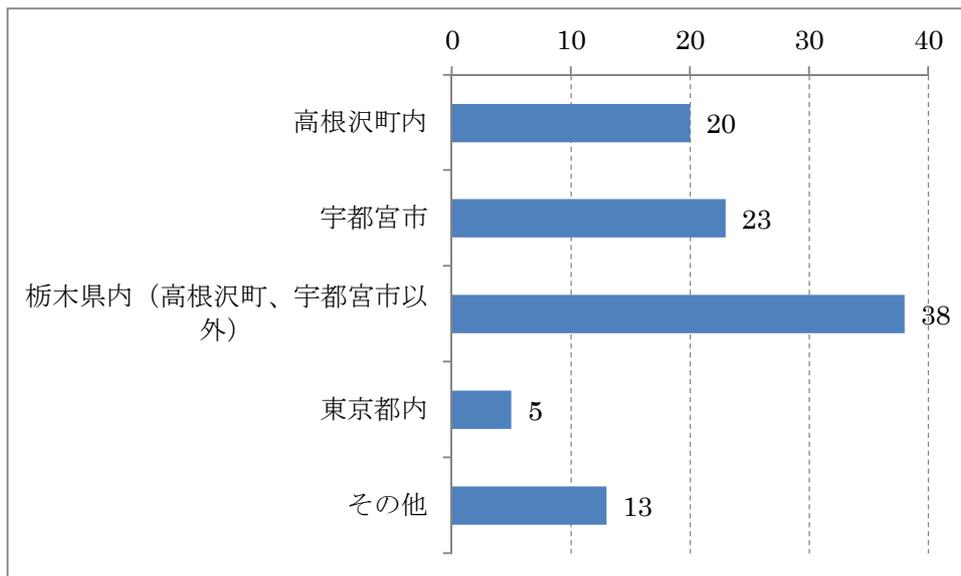
(自由回答：子供の人数<回答数全 27 名>)



⑥職業



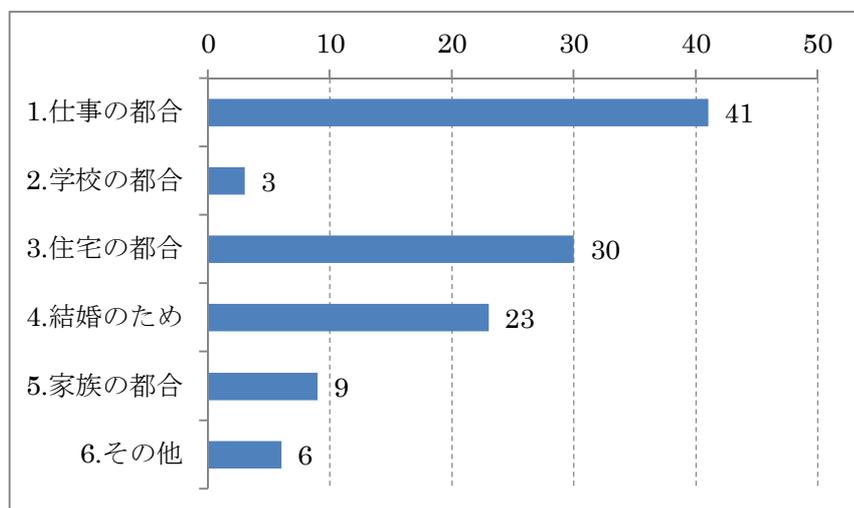
⑦勤務先（通勤先）



2. 転出の理由 [問1：1つ選択]

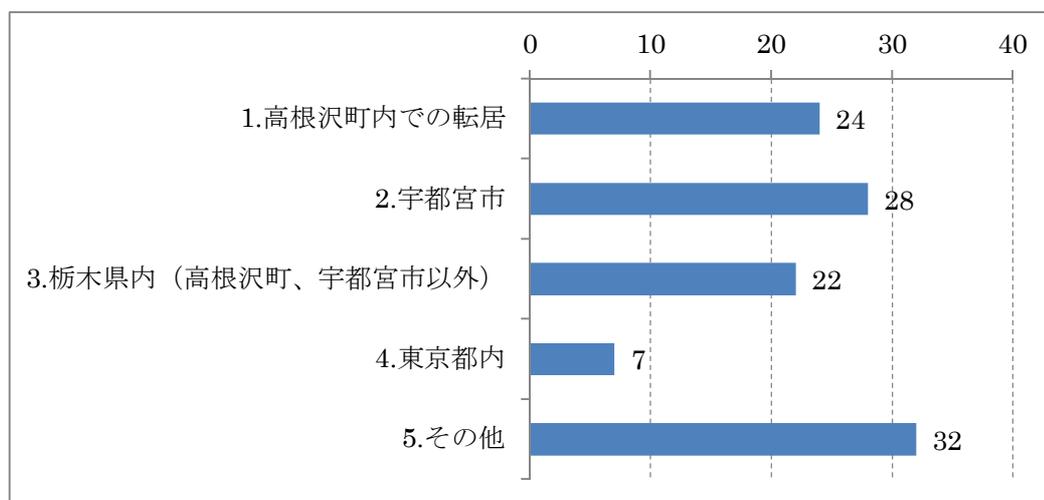
転出の理由として最も多かったのは「1. 仕事の都合 (41)」、次いで「3. 住宅の都合 (30)」「4. 結婚のため (23)」となっている。

(単位：人 以下同様)



3. 転出先 [問2：1つ選択]

転出先で最も多かったのは「5. その他 (32)」、次いで、「2. 宇都宮市 (28)」「1. 高根沢町内での転居 (24)」となっている。「5. その他」であげられた地域 (自由回答) は、千葉県、茨城県、神奈川県などの関東圏のほか、三重県、愛知県、兵庫県、香川県などの西日本地域、アメリカ、中国などであった。その他の自由回答で上記の地域をあげた回答者 (14名) の内訳は、10名が仕事の都合、学校の都合、住宅の都合、家族の都合、結婚のためが各1名となっている。



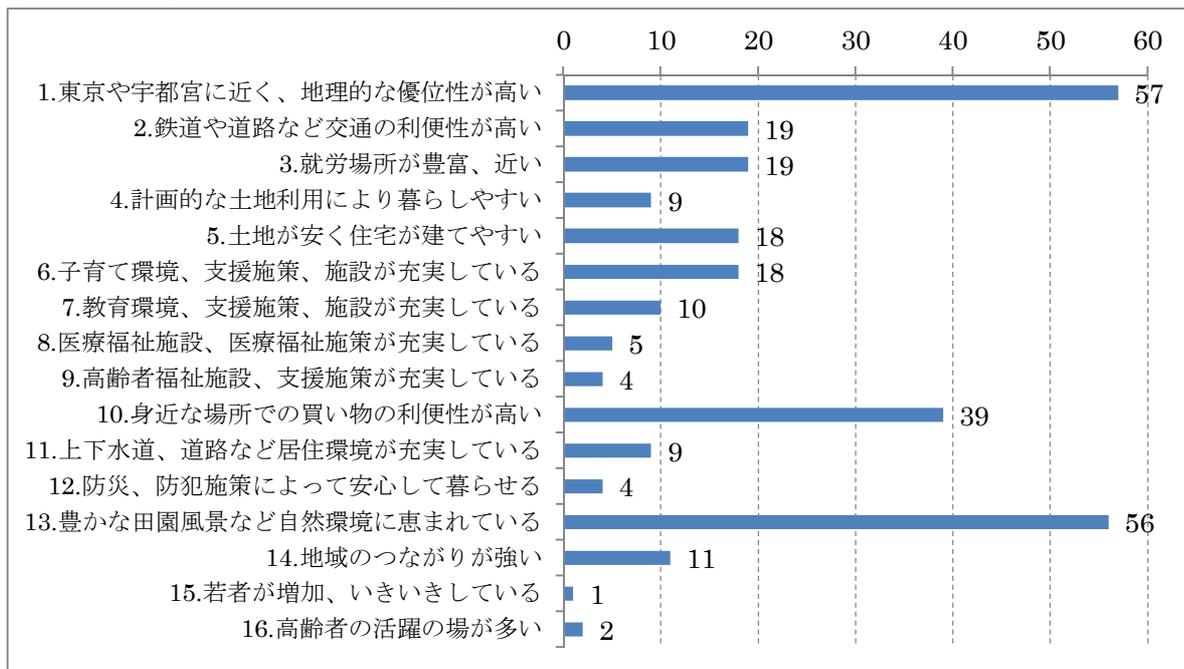
4. 高根沢町についての魅力 [問3：3つまで選択可]

高根沢町についての魅力に関して最も多かったのは、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (57)」で回答者の約5割が選択している。次いで、「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている (56)」「10. 身近な場所での買い物の利便性が高い (39)」となっている。豊かな自然環境と東京や宇都宮に近いといった利便性を兼ね備えた生活環境が評価されている。

一方で、「15. 若者が増加、いきいきしている (1)」、「16. 高齢者の活躍の場が多い (2)」となっており、今後、あらゆる世代にとって魅力的な生活環境を整備するためには、高齢者、若者支援などが望まれる。

さらに、年齢別で見ると、20代 (49) は、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (26)」が最も多く、「10. 身近な場所での買い物の利便性が高い (20)」「2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い (10)」となっている。30代 (39) においても、20代と同じく、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (21)」が最も多く、次いで「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている (19)」「10. 身近な場所での買い物の利便性が高い (10)」となっている。

次に、男女別で見ると、男性 (65) では、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (31)」「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている (31)」が同数で最も多く、次いで「10. 身近な場所での買い物の利便性が高い (27)」となっている。また、女性 (47) においては、「1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い (26)」「13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている (25)」は同じく上位となっているが、「6. 子育て環境、支援施策、施設が充実している (15)」が次いでいる。

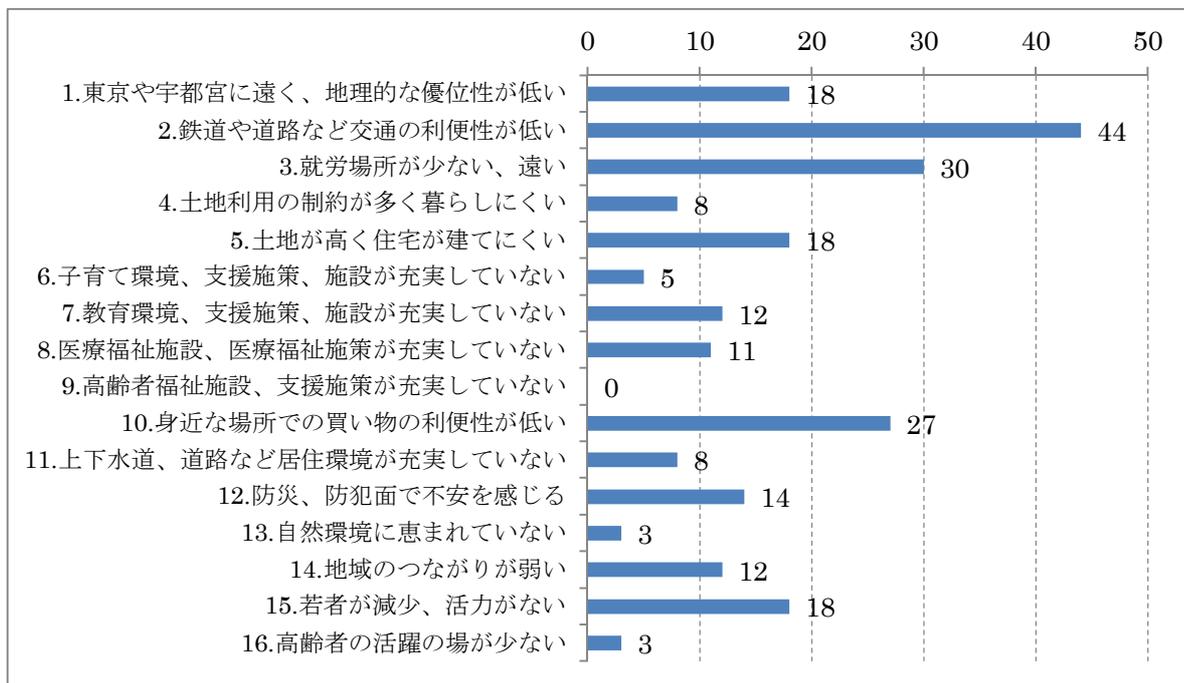


5. 高根沢町についての不満 [問4：3つまで選択可]

高根沢町についての不満に関して最も多かったのは、「2. 鉄道や道路などの交通利便性が低い (44)」、次いで「3. 就労場所が少ない、遠い (30)」、「10. 身近な場所での買い物利便性が低い (27)」となっている。「10. 身近な場所での買い物利便性が低い」は、前問の魅力としてもあげられていたが、地域によって満足度の違いが出ているものと思われる。

年齢層別に見てみると、20代 (49) では、「2. 鉄道や道路などの交通利便性が低い (18)」「3. 就労場所が少ない、遠い (18)」が同数で最も多く、次いで「10. 身近な場所での買い物の利便性が低い (12)」となっている。30代 (39) では、「2. 鉄道や道路などの交通利便性が低い (18)」が最も多く、次いで「3. 就労場所が少ない、遠い (8)」、「5. 土地が高く住宅が建てにくい (8)」となっている。

男女別で見ると、男性 (65) では、上位2項目は、全体と同様の傾向であり、次いで、「1. 東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い (12)」「10. 身近な場所での買い物利便性が低い (12)」が同数であった。また、女性 (47) では、「10. 身近な場所での買い物利便性が低い (15)」が最も多く、次いで、「2. 鉄道や道路など交通の利便性が低い (14)」、「3. 就労場所が少ない、遠い (13)」となっている。



6. 転出前と転出後の住宅状況 [問5：1つ選択]

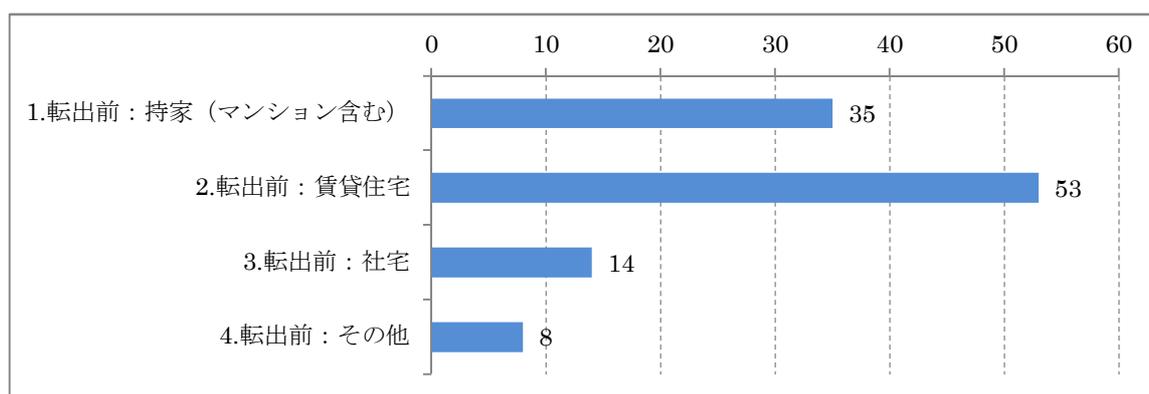
転出前の住宅状況は「2. 賃貸住宅 (53)」、次いで「1. 持家 (マンション含む) <35>」となっている。

一方で、転出後の住宅状況も同じく「2. 賃貸住宅 (63)」、次いで「1. 持家 (マンション含む) <34>」となっている。

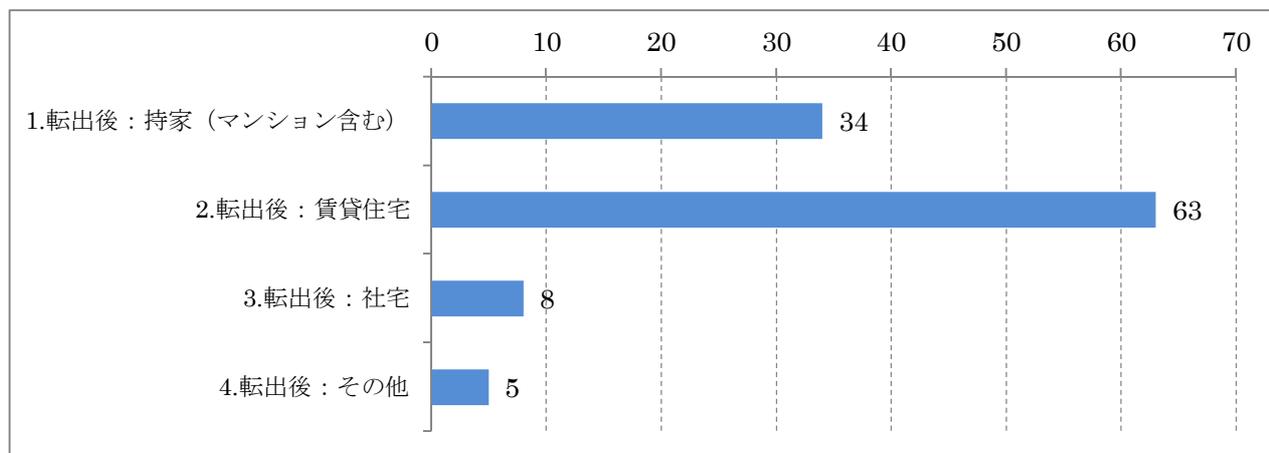
なお、転出前に賃貸住宅と回答した53名のうち22名は、転出後の住宅状況を持家と回答している。また、問2で高根沢町内での転出と回答した24名のうち、約4割(10名)が転出後の住宅状況を持家としている。よって、高根沢町に優良で適正な価格の住宅供給があれば、需要は十分に見込まれるものと思われる。

一方で、年齢別で見ると、「転出後：持家」と回答した20代(49)は9名で、30代(39)では17名となっており、前問の「町についての不満」でも見られたように、土地価格に起因して、転出しているものと思われる。

(転出前)



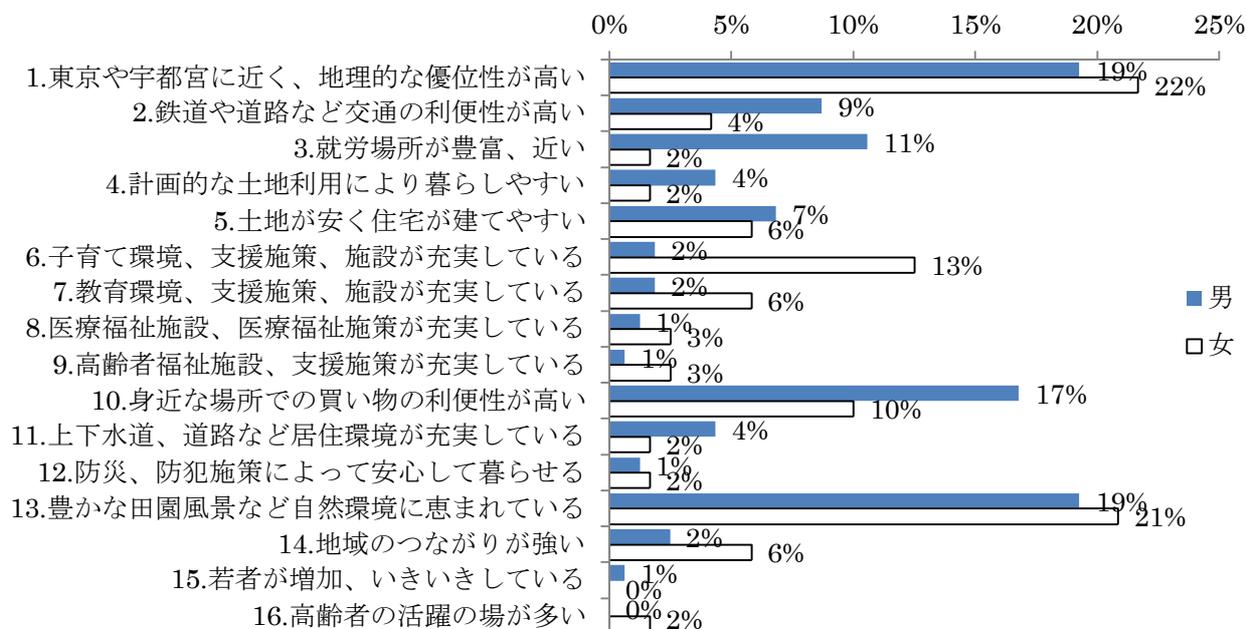
(転出後)



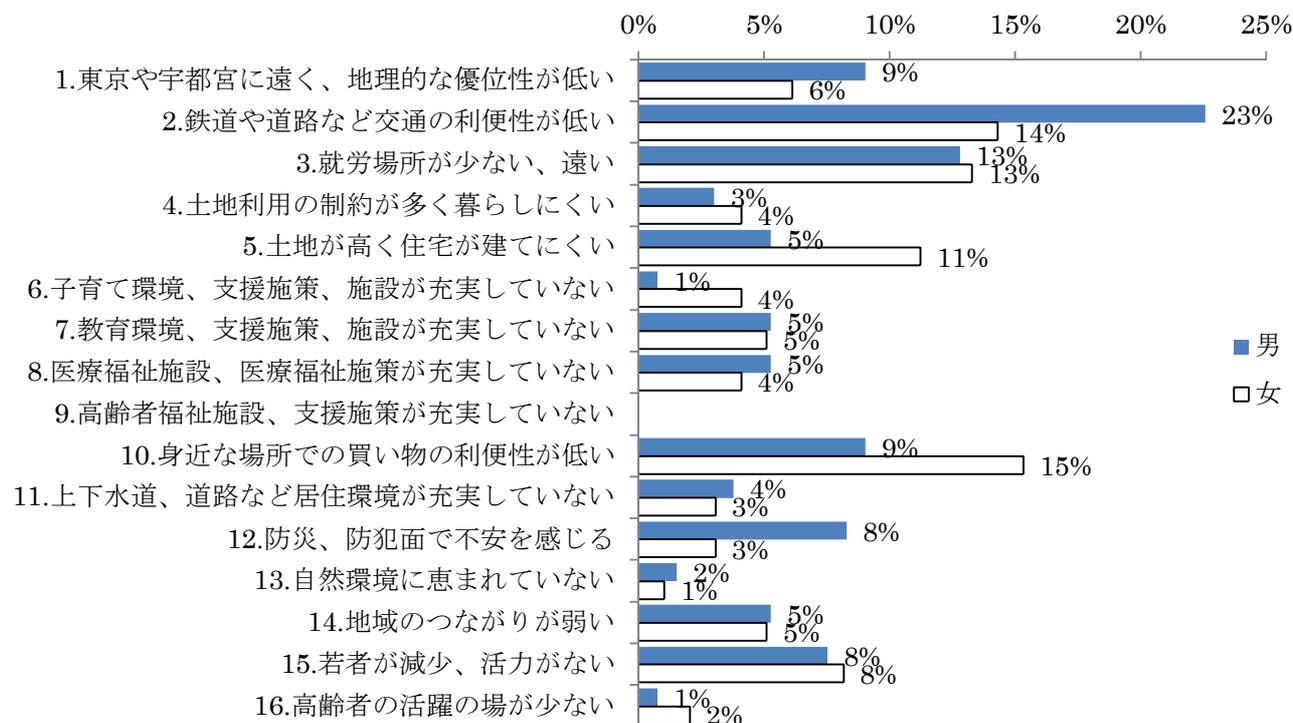
7. 転出者アンケートクロス集計

男女属性別に整理すると下図表の通り

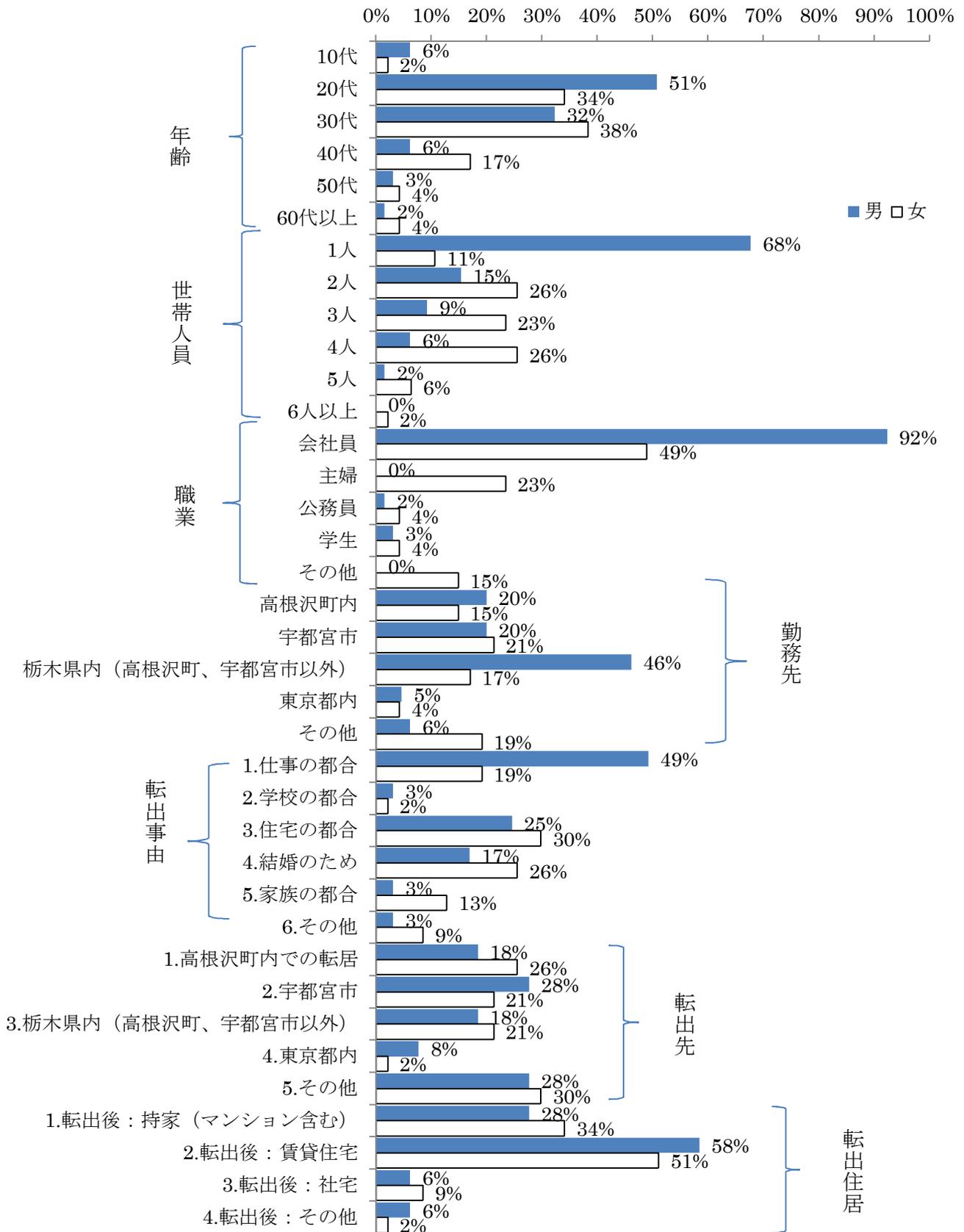
図表 高根沢の魅力



図表 高根沢の不満



図表 男女属性別・年齢・世帯人員・職業・勤務先・転出理由、転出先、転出住居



高根沢町人口移動に関するアンケート調査

転出・転居

転出される皆様へ

このアンケート調査は、高根沢町の今後のまちづくりの参考資料とするため、人口動態を調査・分析するためのものです。調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力をお願いいたします。

なお、「無記名方式」のため、個人が特定されることはありません。また、お答えいただいた内容については、統計的な処理・分析を行うこと以外に、他の目的で使用することは一切ありません。

| 質問項目 | 選択肢（該当するものを○で囲んでください） |
|---|--|
| 問1. 転出の理由 | 1. 仕事の都合（就職、転勤、退職など） 2. 学校の都合 3. 住宅の都合（住宅購入、住み替えなど） 4. 結婚のため 5. 家族の都合 6. その他（ ） |
| 問2. 転出先 | 1. 高根沢町内での転居 2. 宇都宮市 3. 栃木県内（高根沢町、宇都宮市以外） 4. 東京都内 5. その他（ ） |
| 問3. 高根沢町について <u>魅力と感じる点を3つ お選びください</u> | 1. 東京や宇都宮に近く、地理的な優位性が高い 2. 鉄道や道路など交通の利便性が高い 3. 就労場所が豊富、近い 4. 計画的な土地利用により暮らしやすい 5. 土地が安く住宅が建てやすい 6. 子育て環境、支援施策、施設が充実している 7. 教育環境、支援施策、施設が充実している 8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実している 9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実している 10. 身近な場所での買い物の利便性が高い 11. 上下水道、道路など居住環境が充実している 12. 防災、防犯施策によって安心して暮らせる 13. 豊かな田園風景など自然環境に恵まれている 14. 地域のつながりが強い 15. 若者が増加、いきいきしている 16. 高齢者の活躍の場が多い |
| 問4. 高根沢町について <u>不満と感じる点を3つ お選びください</u> | 1. 東京や宇都宮に遠く、地理的な優位性が低い 2. 鉄道や道路など交通の利便性が低い 3. 就労場所が少ない、遠い 4. 土地利用の制約が多く暮らしにくい 5. 土地が高く住宅が建てにくい 6. 子育て環境、支援施策、施設が充実していない 7. 教育環境、支援施策、施設が充実していない 8. 医療福祉施設、医療福祉施策が充実していない 9. 高齢者福祉施設、支援施策が充実していない 10. 身近な場所での買い物の利便性が低い 11. 上下水道、道路など居住環境が充実していない 12. 防災、防犯面で不安を感じる 13. 自然環境に恵まれていない 14. 地域のつながりが弱い 15. 若者が減少、活力がない 16. 高齢者の活躍の場が少ない |
| 問5. 転出前と転出後の 住宅の状況をお聞かせ ください | ② 転出前 1. 持家（マンション含む） 2. 賃貸住宅 3. 社宅 4. その他 ② 転出後 1. 持家（マンション含む） 2. 賃貸住宅 3. 社宅 4. その他 |

以下、差支えない範囲でお教えてください

| | | | | | | | |
|---|----------------|-------|------------|-------------------|-----|-----|-------|
| 1 | 年齢 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 |
| 2 | 性別 | 男性 | 女性 | | | | |
| 3 | 世帯人数（本人含む） | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 6人以上 |
| 4 | 配偶者の有無 | 有 | 無 | | | | |
| 5 | 子供の有無 | 有（ | 人） | 無 | | | |
| 6 | 職業 （パートを含む） | 会社員 | 自営業 | 農林水産業 | 主婦 | 公務員 | |
| | | 学生 | 無職（退職者を含む） | その他（ | | | ） |
| 7 | 勤務先（通勤先） | 高根沢町内 | 宇都宮市 | 栃木県内（高根沢町、宇都宮市以外） | | | |
| | | 東京都内 | その他 | | | | |

高根沢町の今後の発展のために
ご意見をお聞かせください

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

高根沢町定住人口増加対策協議会委員 名簿

(50音順、敬称略)

| | 部門 | 所 属 | 職 名 | 氏 名 |
|----|-----|-----------------------|---------------|-------|
| 1 | 官公庁 | 高根沢町議会 | 建設産業 常任委員長 | 梅村達美 |
| 2 | 民間 | 高根沢町人権擁護委員会 | 会 長 | 加藤淑江 |
| 3 | 学術 | 宇都宮大学大学院工学研究科 | 助 教 | 佐藤栄治 |
| 4 | 学術 | 宇都宮大学教育学部 | 教 授 | 陣内雄次 |
| 5 | 民間 | 特定非営利活動法人 次世代たかねざわ | 理 事 | 田代喜美子 |
| 6 | 産業 | 高根沢町経済懇話会 | 会 長 | 東原正記 |
| 7 | 民間 | 高根沢町志民活動サポートセンター | 会 員 | 福田隆史 |
| 8 | 産業 | 高根沢町農業士会 | 会 長 | 古郡康雄 |
| 9 | 民間 | 高根沢町区長会 | 会 長 | 牧 恒男 |
| 10 | 官公庁 | 高根沢町 夢咲くまちづくり推進課 | 課 長 | 牧野雄一 |
| 11 | 金融 | 栃木銀行宝積寺支店 | 支店長 | 益子康之 |
| 12 | 官公庁 | 高根沢町議会 | 副議長 | 横須賀忠利 |

